



オリジナル取扱説明書

牽引式草刈機

GHS 1500 Drive SmartCut

GHS 1800 Drive SmartCut

GHS 2100 Drive SmartCut



SmartLearning



機械の識別データをここに記入してください。識別データは銘板に記載されています。

目次

1	本取扱説明書について	1	4.4.7	安全チェーン	22
1.1	著作権	1	4.5	警告マーク	23
1.2	使用している記号	1	4.5.1	警告マークの位置	23
1.2.1	警告および信号文字	1	4.5.2	警告マークの構成	24
1.2.2	その他の注記	2	4.5.3	警告マークの説明	25
1.2.3	操作指示	2	4.6	機械の詳細情報	30
1.2.4	列挙	3	4.6.1	集草タンクの充填レベル	30
1.2.5	図中の位置番号	4	4.6.2	ローター状態点検	31
1.2.6	方向情報	4	4.6.3	油圧ホースラインの割り当て	31
1.3	関連文書	4	4.6.4	油圧バルブの機能	32
1.4	デジタル版の取扱説明書	4	4.6.5	クラッチ滑り点検	32
1.5	ご意見をお待ちしております	4	4.6.6	許容最高速度	32
2	安全性と責任	5	4.7	銘板と CE マーク	33
2.1	基本的な安全上の注意事項	5	4.7.1	機械の銘板と CE マーク	33
2.1.1	取扱説明書の意味	5	4.7.2	牽引バーの銘板	34
2.1.2	安全な運転組織	5	4.8	スレッドバック	34
2.1.3	危険の認識と回避	10	4.9	道路走行用の照明と識別	35
2.1.4	安全な作業と機械の安全な取り扱い	12	4.10	下部牽引バー	36
2.1.5	安全なメンテナンスと変更	13	4.11	フロントローラー	36
2.2	安全ルーチン	16	4.12	運転時間カウンタ	36
3	使用目的	17	4.13	電気油圧制御	37
4	製品の説明	18	4.14	通気フード	37
4.1	機械の概要	18	4.15	フェンダー	38
4.2	機械の機能	19	4.16	草刈ツール	38
4.3	オプション装備	19	4.16.1	草刈リブレード	38
4.4	保護装置	19	4.16.2	ウィングブレード	38
4.4.1	牽引バー固定装置	19	4.16.3	スカリファイブレード	39
4.4.2	安全チェーン	20	4.17	操作エレメント	39
4.4.3	デフレクターブラケット	20	4.17.1	刈高さ設定用クランク	39
4.4.4	振り子フラップ	21	4.17.2	油圧バルブ	40
4.4.5	ベルトドライブ保護カバー	21	4.17.3	電気油圧制御用の操作ボタン	40
4.4.6	集草タンクの安全装置	21	4.18	ハイリフト排出	41
			5	技術データ	42
			5.1	寸法	42
			5.2	集草タンクの容量	42
			5.3	草刈機	43

5.3.1	刈量	43	6.8.1	走行安全用留め具を、カバーフラップとハスプフラップから取り外す	71
5.3.2	草刈ツール	43	6.8.2	タイヤ空気圧の点検	71
5.4	タイヤ	43	6.8.3	ブレードとブレードホルダーを点検する	71
5.4.1	タイヤ寸法	43	6.8.4	ブレードを選択する	72
5.4.2	タイヤ空気圧	43	6.8.5	スカリファイ用のブレード装備を選択する	75
5.5	許容接続カテゴリ	44	6.8.6	ブレードを変更または交換する	76
5.6	理想的な作業速度	44	6.8.7	刈高さを設定する	80
5.7	トラクターの性能特性	44	6.8.8	フロントローラーを設定する	83
5.8	騒音発生データ	45	6.8.9	マルチングのために機械を設定する	86
5.9	走行可能な斜面	45	6.8.10	硬い地面で収集するために、機械を設定する	88
6	機械の準備	46	6.9	道路走行用に機械を準備	90
6.1	走行安全用留め具を取り外す	46	7	機械を使用	92
6.2	トラクターの適合性を点検する	47	7.1	機械を、標準油圧システムで使用する	92
6.2.1	必要なトラクター特性を計算	47	7.1.1	草刈りを開始する	92
6.2.2	許容 DC 値と実際の DC 値を比較する	49	7.1.2	草刈りを終了する	93
6.2.3	トラクター PTO の保護装置を点検する	50	7.1.3	マルチング	94
6.3	許容積載重量を計算	50	7.1.4	スカリファイ（かき起こし）	94
6.4	牽引バーの準備をする	51	7.1.5	標準油圧システムで集草タンクを空にする	95
6.4.1	上部牽引バーを調整する	51	7.2	機械を、電気油圧制御で使用する	96
6.4.2	下部牽引バーを調整する	53	7.2.1	草刈りを開始する	96
6.5	プロペラシャフトの機械への取り付け	55	7.2.2	草刈りを終了する	98
6.6	機械の連結	56	7.2.3	マルチング	98
6.6.1	不正使用に対する保護を取り外す	56	7.2.4	スカリファイ（かき起こし）	99
6.6.2	トラクターを機械に近づける	57	7.2.5	集草タンクを、電気油圧制御で空にする	99
6.6.3	標準油圧システムの油圧ホースラインを連結する	57	8	機械の使用停止	102
6.6.4	照明の電圧供給を連結する	59	8.1	使用後に機械を置く	102
6.6.5	電気油圧制御を連結する	61	8.1.1	輪止めを取り付ける	102
6.6.6	機械を上部牽引バーと連結する	64	8.1.2	プロペラシャフトの連結解除	102
6.6.7	機械を下部牽引バーと連結する	65	8.1.3	安全チェーンを外す	103
6.6.8	安全チェーンを固定する	66	8.1.4	機械と上部牽引バーを連結解除する	104
6.6.9	プロペラシャフトの連結	66	8.1.5	機械と下部牽引バーを連結解除する	104
6.6.10	輪止めを取り外す	67	8.1.6	トラクターを機械から離します	105
6.7	集草タンクの下降時間を点検および設定する	68	8.1.7	照明の電圧供給を連結解除する	105
6.7.1	下降時間をチェックする	68	8.1.8	油圧ホースラインの連結解除	106
6.7.2	下降時間を設定する	69			
6.8	機械の使用準備	71			

8.1.9	電気油圧制御を連結解除する	106
8.1.10	不正使用に対する保護を取り付ける	108
8.2	機械の長期間停止や冬季保管の準備をする	109

9 機械の修理 **110**

9.1	機械のメンテナンス	110
9.1.1	メンテナンススケジュール	110
9.1.2	ドライブベルトを点検する	111
9.1.3	油圧ホースラインの点検	111
9.1.4	ギアボックスのオイルレベルを点検する	112
9.2	機械の潤滑	113
9.2.1	潤滑ポイント概要	114
9.3	機械の清掃	117

10 機械輸送の準備をする **118**

10.1	機械の積載	118
10.1.1	クレーンで機械を積載する	118
10.1.2	機械をラッシング	119

11 機械の廃棄 **121**

12 付録 **122**

12.1	ねじの締め付けトルク	122
12.2	関連文書	123

13 索引 **124**

13.1	用語集	124
13.2	インデックス	125

本取扱説明書について

1

CMS-T-00000081-J.1

1.1 著作権

CMS-T-00012308-A.1

抜粋を含む、いかなる形式のものであれ、転載や翻訳、複製には、AMAZONEN-WERKE の書面による承認が必要です。

1.2 使用している記号

CMS-T-005676-G.1

1.2.1 警告および信号文字

CMS-T-00002415-A.1

警告は、三角形の安全記号と信号文字が付いた、垂直バーで示されています。信号文字の "危険" と "警告"、"注意" は、差し迫った危険の度合いを示し、次の意味があります：



危険

- ▶ 身体の一部を失うような重傷や死亡をもたらす可能性がある、大きな差し迫った危険を示します。



警告

- ▶ 重傷や死亡をもたらす可能性がある、中程度の危険を示します。



注意

- ▶ 軽度から中程度の負傷をもたらす可能性がある、低い危険を示します。

1.2.2 その他の注記

CMS-T-00002416-A.1



重要

- ▶ 機械損傷のリスクを示します。



環境に関する注記

- ▶ 環境汚染のリスクを示します。



注記

使用上のヒントや最適な使用のための注記を示します。

1.2.3 操作指示

CMS-T-00000473-E.1

1.2.3.1 番号が付いた操作指示

CMS-T-005217-B.1

特定の順番で実行する必要がある操作は、番号付きの操作指示として記載されています。所定の操作順を守らなければなりません。

例：

1. 操作指示 1
2. 操作指示 2

1.2.3.2 操作指示と結果

CMS-T-005678-B.1

操作指示の結果は、矢印で示されます。

例：

1. 操作指示 1
- ➡ 操作指示 1 の結果
2. 操作指示 2

1.2.3.3 別の操作指示

CMS-T-00000110-B.1

別の操作指示の前には、「あるい/は」という言葉が付きます。

例：

1. 操作指示 1

または

別の操作指示

2. 操作指示 2

1.2.3.4 操作が 1 つだけである操作指示

CMS-T-005211-C.1

操作が 1 つだけの操作指示には番号ではなく、矢印がついています。

例：

▶ 操作指示

1.2.3.5 順序なしの操作指示

CMS-T-005214-C.1

特定の順番に従う必要のない操作指示は、矢印を付けて箇条書きされています。

例：

▶ 操作指示

▶ 操作指示

▶ 操作指示

1.2.3.6 工場での作業

CMS-T-00013932-B.1



工場での作業

- ▶ 表示された保守作業は、農業技術と安全技術、環境技術の面で十分な設備がある専門工場で、適切な訓練を受けた専門スタッフによって行われなければなりません。

1.2.4 列挙

CMS-T-000024-A.1

順番が重要ではない列挙は、黒丸を付けて箇条書きされています。

例：

- ポイント 1
- ポイント 2

1.2.5 図中の位置番号

CMS-T-000023-B.1

文中に挿入された番号、例えば **1** は、横の図の位置番号を示します。

1.2.6 方向情報

CMS-T-00012309-A.1

特に明記しない限り、方向はすべて進行方向に向かったものです。

1.3 関連文書

CMS-T-00000616-B.1

他の該当する書類のリストが、付録にあります。

1.4 デジタル版の取扱説明書

CMS-T-00002024-B.1

デジタル版の取扱説明書と E ラーニングは、AMAZONE ウェブサイトのインフォポータルでダウンロードできます。

1.5 ご意見をお待ちしております

CMS-T-000059-D.1

読者の皆様、弊社では定期的に説明書をアップデートしております。よりユーザー本位の説明書に改良していくため、皆様からのご意見は大変参考になります。皆様のご意見をお手紙やファックス、電子メールでお寄せください。

AMAZONEN-WERKE H. Dreyer SE & Co. KG
Technische Redaktion
Postfach 51
D-49202 Hasbergen
Fax: +49 (0) 5405 501-234
E-Mail: tr.feedback@amazone.de

CMS-I-00000638

安全性と責任

2

CMS-T-00004601-D.1

2.1 基本的な安全上の注意事項

CMS-T-00004604-D.1

2.1.1 取扱説明書の意味

CMS-T-00006180-A.1

取扱説明書の遵守

取扱説明書は重要な文書であり、機械の一部です。これは使用者のためのもので、安全関連の情報が含まれています。安全なのは、取扱説明書に記載されている手順だけです。取扱説明書を遵守しないと、重傷や死亡に至る可能性があります。

- ▶ 機械を初めて使用する前に、安全に関する章を全て読んで、内容を遵守してください。
- ▶ さらに、作業前に取扱説明書の対応する箇所を読んで、内容を遵守してください。
- ▶ 取扱説明書は、保管してください。
- ▶ 取扱説明書は、閲覧できる状態にしておいてください。
- ▶ 取扱説明書は、次のユーザーに引き渡してください。

2.1.2 安全な運転組織

CMS-T-00002524-D.1

2.1.2.1 作業員の資格

CMS-T-00002525-A.1

2.1.2.1.1 機械で作業する全作業員の要件

CMS-T-00002529-A.1

機械を不適切に使用する場合、負傷事故や死亡事故の恐れがあります。不適切な使用による事故を防ぐため、機械で作業する各作業者は、次の最小要件を満たす必要があります：

- 作業員は身体的、精神的に機械を制御できる状態であること。
- 作業員は本取扱説明書の枠内における機械での作業を確実に実行できること。

- 作業員は、その作業の枠内で機械の機能を理解し、作業の危険を見分け、回避できること。
- 作業員は本取扱説明書の内容を理解しており、本取扱説明書によって伝えられる情報を実行に移せること。
- 作業員は車両の安全な運転に精通していること。
- 道路走行のために、作業員は交通関連規則を知っており、定められた走行許可を保有していること。

2.1.2.1.2 資格レベル

CMS-T-00002526-A.1

機械を用いた作業を行うには、次の資格レベルが必要です：

- 自治体技術または農業の専門家
- 自治体技術または農業の補助員

本取扱説明書に記載されている作業は、原則として資格レベル「自治体技術または営農の補助員」を持つ人が行えます。

2.1.2.1.3 自治体技術または農業技術の専門家

CMS-T-00002527-A.1

自治体技術または農業の専門家は、芝生地や緑地を維持するために、この機械を使用します。彼らは、特定の目的のために、この機械の使用を決定します。

自治体技術または農業の専門家は、基本的に芝生地や緑地を維持するための機械の操作に精通しており、必要に応じて自治体技術または農業の補助員に、機械の使用方法を指導します。彼らは、自治体向け機械の、個々の簡単な修理とメンテナンス作業を、自ら行えます。

自治体技術または農業の専門家とは、例えば次のような人々です：

- 自治体技術の分野で、職業訓練を受けた専門家。
- 例えば包括的な経験知識を持つ、経験による専門家。
- 大学での教育または専門学校での職業訓練を受けた農業経営者。
- 例えば農場を受け継いだり、包括的な経験知識を持つ、経験による農業経営者。
- 自治体の依頼を受けて働く請負業者。

作業の例：

- 自治体技術または農業の補助員への安全指導。

2.1.2.1.4 自治体技術および農業の補助員

CMS-T-00002528-A.1

自治体技術および農業の補助員は、専門家や農業経営者の依頼を受けて、機械を使用します。彼らは、専門家または農業経営者から機械の使用方法を指導され、専門家または農業経営者との作業契約に従って、独立して労働します。

自治体技術および農業の補助員とは、例えば次のような人々です：

- 自治体や請負業者、サービス提供者の従業員
- 季節労働者と補助作業員
- 自治体技術の専門家になるべく職業訓練中の者
- 職業訓練中である見習いの農業経営者
- トラクターの運転手など、農業経営者の従業員
- 農業経営者の家族

作業の例：

- 機械の運転
- 刈り深さを設定する

2.1.2.2 操作場所と同乗者

CMS-T-00002530-B.1

同乗者

同乗者は、機械の動作によって落下し、ひかれ、重傷を負ったり死亡したりする恐れがあります。跳ね上がる物体が同乗者に当たり、同乗者が負傷する恐れがあります。

- ▶ 機械の上に誰も同乗させないでください。
- ▶ 移動中の機械に誰も乗ることがないようにしてください。

2.1.2.3 子供に対する危険

CMS-T-00002531-A.1

子供に対する危険

子供は危険を判断できず、予測がつかない行動をとります。これにより子供は特に危険にさらされます。

- ▶ 子供を近づけないでください。
- ▶ アプローチするか、機械動作を作動させる場合、危険エリアに子供がいないことを必ず確認してください。

2.1.2.4 運転安全性

CMS-T-00005215-B.1

2.1.2.4.1 技術的に問題のない状態

CMS-T-00014396-A.1

適切に準備された機械のみを使用

本取扱説明書に基づいて適切に準備されていなければ、機械の運転安全性は保証されません。これにより事故が発生し、重傷事故や死亡事故が生じる恐れがあります。

- ▶ 本取扱説明書に従って機械の準備をしてください。

機械の破損による危険

機械の破損により、機械の運転安全性が損なわれ、事故が生じる恐れがあります。これにより重傷事故や死亡事故の恐れがあります。

- ▶ **破損が疑われたり、確認された場合：**
機械を固定してください。
- ▶ 安全に関連する破損は、直ちにに取り除いてください。
- ▶ 本取扱説明書に従って破損を取り除きます。
- ▶ **自分では本取扱説明書に従って破損を取り除けない場合：**
資格を有する専門工場で、破損を取り除いてもらってください。

技術限界値を遵守

機械の技術限界値を遵守しないと、事故が発生し、人が重傷を負ったり死亡する恐れがあります。さらに機械が破損する恐れがあります。技術限界値は技術データに記載されています。

- ▶ 技術限界値を遵守してください。

2.1.2.4.2 保護装置

CMS-T-00005219-A.1

保護装置は正しく機能する状態に保ってください

保護装置が欠落していたり、破損していたり、誤って取り付けられていたり、取り外されていると、機械パーツによって人が重傷を負ったり死亡する恐れがあります。

- ▶ 少なくとも毎日 1 回は、機械に損傷がないか、適切に取り付けられているか、保護装置が機能するか点検してください。
- ▶ **保護装置が正しく取り付けられ、機能しているか疑わしい場合は、**
資格を有する専門工場に依頼して保護装置を点検させてください。
- ▶ 機械で作業をする前には、保護装置が適切に取り付けられ、正しく機能することを必ず確認してください。
- ▶ 破損した保護装置は新品に交換します。

2.1.2.4.3 個人用保護具

CMS-T-00005216-A.1

個人用保護具

個人用保護具の着用は、安全のための重要な要素です。個人用保護具が欠落していたり、不適切である場合には、健康を損なう危険や負傷する危険が高まります。例えば個人用保護具には次のものがあります：作業用手袋、作業靴、保護服、呼吸保護具、防音保護具、フェイスガードおよび保護めがね

- ▶ 割り当てられる作業ごとに個人用保護具を定め、保護具を準備してください。
- ▶ 正常な状態であり、有効な保護を提供する個人用保護具だけを使用してください。
- ▶ サイズなど、個人用保護具を該当者に適合させてください。
- ▶ 作業物質、種子、肥料、植物保護剤および洗剤についてのメーカーの注記を遵守してください。

適切な服を着用

ルーズな服を着用していると、回転するパーツに挟まれたり巻き込まれる危険や、突き出る部分に引っかかる危険が高まります。これにより重傷事故や死亡事故の恐れがあります。

- ▶ 体にフィットしない、ルーズな服は着用しないでください。
- ▶ リング、チェーンなどのアクセサリは絶対に着用しないでください。
- ▶ 長髪の方は、ヘアネットを着用してください。

2.1.2.4.4 警告マーク

CMS-T-00005217-A.1

警告マークは内容を読み取れる状態に保ちます

機械にある警告マークは、危険箇所の危険を警告しており、機械の安全装備の重要な構成要素です。警告マークが欠けている場合、重傷事故や死亡事故のリスクが高まります。

- ▶ 汚れがある警告マークは清掃してください。
- ▶ 破損して、識別できなくなった警告マークはすぐに新しいものに交換してください。
- ▶ 定められた警告マークを交換パーツに取り付けてください。

2.1.3 危険の認識と回避

CMS-T-00004603-A.1

2.1.3.1 機械の危険源

CMS-T-00002654-B.1

動き続ける機械コンポーネントによる危険

ドライブを OFF にした後も機械コンポーネントが動き続け、深刻な負傷や死亡に至る可能性があります。

- ▶ 機械に近づくのは、動き続ける機械コンポーネントが静止するまで待ってください。
- ▶ 静止した機械コンポーネントにのみ触れてください。

圧力がかかった液体

高圧下にある漏れ出た油圧油が皮膚から体内に入り、重傷をもたらすことがあります。ピンの頭サイズの穴でも、重傷事故を起こす恐れがあります。

- ▶ 油圧ホースラインを連結解除したり、損傷がないか点検する前に、油圧システムの圧力を抜きます。
- ▶ 圧力システムが破損していると思われる場合、資格を有する専門工場に依頼して圧力システムを点検してください。
- ▶ 絶対に漏れを素手で探さないでください。
- ▶ 身体と顔を、漏れ発生箇所に近づけないでください。
- ▶ 液体が体内に入り込んだ場合には、ただちに医師の診察を受けてください。

2.1.3.2 危険エリア

CMS-T-00004602-A.1

機械の危険エリア

危険エリアには、次の主な危険があります：

作業による機械と装置の動き。

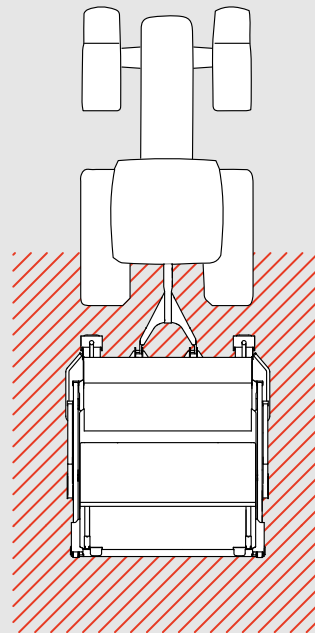
油圧で上昇させた機械パーツは、不意にゆっくり下降する恐れがあります。

不意に動き出した機械。

機械の内部、あるいは機械から飛び出す物質または異物。

危険エリアに注意を払わない場合、重傷事故や死亡事故の恐れがあります。

- ▶ 現場にいる人に、機械の危険エリアから離れるように指示してください。
- ▶ エンジンとドライブは、危険エリアに誰もいない場合にのみ、オンにしてください。
- ▶ 危険エリアに立ち入る人がいる場合には、エンジンとドライブをすぐにオフにしてください。
- ▶ 危険エリア内に誰も立ち入っていない場合にのみ、機械を移動させてください。
- ▶ 草刈機を走行位置から作業位置にする場合と、作業位置から走行位置にする場合は、現場にいる人に危険エリアから立ち去るように指示してください。
- ▶ 機械の危険エリアで作業する場合は、機械を固定してください。



CMS-I-00000973

2.1.4 安全な作業と機械の安全な取り扱い

CMS-T-00005220-B.1

2.1.4.1 機械の連結

CMS-T-00002320-D.1

機械をトラクターに連結

機械をトラクターに正しく連結しないと、重大事故が生じる危険があります。

トラクターと機械の間の連結点には、挫傷や切断の危険があります。

- ▶ 機械をトラクターに連結したり、トラクターから連結解除する場合は、十分に注意してください。
- ▶ 機械の連結と輸送には、必ず適切なトラクターを使用してください。
- ▶ 機械をトラクターに連結する場合、トラクターの接続装置が機械の要件を満たしていることを確認してください。
- ▶ 機械は規則に従ってトラクターに連結します。

2.1.4.2 走行安全性

CMS-T-00006605-A.1

道路や圃場での走行時の危険

トラクターに取り付けられた機械やトラクターで牽引されている機械、フロントバラスト、リアバラストは、トラクターの走行挙動と操舵力および制動力に影響を及ぼします。走行特性は、運転状態、充填または積載状態、および地面によっても異なります。ドライバーが走行特性の変化を考慮しない場合、事故が生じる場合があります。

- ▶ トラクターの操舵力と制動力が常に十分に発揮されるようにしてください。
- ▶ トラクターは、トラクターと取り付けた機械の指定されている制動減速度を守れなければなりません。
走行開始前に、ブレーキが正しく作動するか確認してください。
- ▶ 十分な操舵力を確保するためには、常にトラクターの自重の 20 % 以上が、トラクター前輪軸にかかっていなければなりません。
必要に応じてフロントバラストを使用してください。
- ▶ フロントバラストとリアバラストは、必ず所定の固定箇所に、規則通りに固定してください。
- ▶ 取り付けられたり牽引された機械の積載荷重を計算して、これを遵守してください。
- ▶ トラクターの許容軸荷重および許容支持荷重を遵守してください。
- ▶ 牽引装置と牽引バーの許容支持荷重を遵守してください。
- ▶ 機械を取り付けたり牽引しているトラクターは、常に完全に制御できる状態で運転してください。そのためには、あなた個人の能力、路面・交通・視界・天候の諸条件、さらにはトラクターの走行特性および取り付けた機械の影響を考慮に入れてください。

道路走行用に機械を準備

道路走行用に機械を正しく準備しない場合、道路交通で重大な事故が生じる恐れがあります。

- ▶ 道路走行用の照明と識別が機能するか点検してください。
- ▶ 機械から目立つ汚れを取り除いてください。
- ▶ 「道路走行用に機械を準備」の章の指示に従ってください。

監視されずに置かれた状態

不十分に固定され、監視されない状態で置かれているトラクターと、連結された機械は、現場の人や遊んでいる子供にとって危険です。

- ▶ **機械から離れる前に、**
トラクターと機械を停止してください。
- ▶ トラクターと機械を固定してください。

2.1.5 安全なメンテナンスと変更

CMS-T-00002658-G.1

2.1.5.1 機械の変更点

CMS-T-00002659-A.1

設計変更は権限を有する場合のみ可能

設計変更や拡張により、機械の機能や運転安全性が損なわれる恐れがあります。これにより重傷事故や死亡事故の恐れがあります。

正式な型式承認を得ている車両は、当該承認により指定された状態でなければなりません。有効な型式承認もしくはドイツ道路交通法に基づく道路交通の承認を得た車両に取り付けられている装置と装備の場合も同様です。これらの装置や装備も当該承認により指定された状態でなければなりません。

- ▶ 設計変更や拡張は、必ず資格を有する専門工場で実施してください。
- ▶ 設計変更をする場合には、機械の許容軸負荷、許容ドロアー荷重および許容総重量を遵守してください。
- ▶ **国内および国際規制に準拠して型式承認が有効であり続けるようにするために、**
AMAZONE が承認した改装パーツ、交換パーツおよび特殊装備だけを使用してください。

2.1.5.2 機械での作業

機械での作業開始前に機械を必ず停止

機械が停止していない場合、パーツが不意に動くか、機械が動く恐れがあります。これにより重傷事故や死亡事故の恐れがあります。

- ▶ 持ち上げられている物に対して、またはその下で作業を行わなければならない場合、物を下げるか、油圧式または機械式のロック装置で物を固定してください。
- ▶ ドライブをすべてオフにしてください。
- ▶ パーキングブレーキをかけてください。
- ▶ とりわけ斜面では、機械が動き出さないように、さらに輪止めで固定します。
- ▶ イグニッションキーを抜き取って、携帯してください。
- ▶ 後置されたパーツが停止し、高温のパーツが冷めるまで待ちます。

修理作業

とりわけ安全に関連するコンポーネントでの、不適切な修理作業は、運転安全性を損ないます。これにより事故が発生し、重傷事故や死亡事故が生じる恐れがあります。安全に関連するコンポーネントには、油圧コンポーネントや電気コンポーネント、フレーム、バネ、牽引連結器、車軸およびアクスルサスペンション、可燃物質のタンクおよびラインなどが含まれます。

- ▶ 機械を設定、修理、あるいは清掃する前に、機械を固定してください。
- ▶ 本取扱説明書に従って、機械を保守してください。
- ▶ 本取扱説明書で説明されている作業だけを実行してください。
- ▶ "工場での作業"と表示された保守作業は、農業技術と安全技術、環境技術の面で十分な設備がある専門工場で、適切な訓練を受けた専門スタッフに依頼してください。
- ▶ フレームやシャシー、機械の接続装置に対して、溶接や穿孔、鋸による切断、研削、分離は絶対に行わないでください。
- ▶ 安全に関連するコンポーネントは、決して加工しないでください。
- ▶ 既存の穴の上に穿孔しないでください。
- ▶ 定められたメンテナンス間隔ですべてのメンテナンス作業を実行してください。

持ち上げられた機械パーツ

持ち上げられた機械パーツは、意図せずに下降して、人が押し潰されたり死亡する恐れがあります。

- ▶ 持ち上げられた機械パーツの下に、決して留まらないでください。
- ▶ 上昇させた機械パーツに対して、あるいはその下で作業を実行しなければならない場合、機械パーツを下げるか、上昇させた機械パーツを機械的な支持装置または油圧式のロック装置で固定してください。

溶接作業による危険

とりわけ安全に関連するコンポーネントやその近くでの、不適切な溶接作業により、機械の運転安全性が損なわれる恐れがあります。これにより事故が発生し、重傷事故や死亡事故が生じる恐れがあります。安全に関連するコンポーネントには、油圧コンポーネントおよび電気コンポーネント、フレーム、バネ、3 点式取付用フレームや牽引バー、ヒッチブロック、牽引連結器、ドローレールといったトラクターへの接続装置、そして車軸およびアクスルサスペンション、可燃物質のタンクおよびラインなどが含まれます。

- ▶ 安全に関連するコンポーネントの溶接作業は、適切な許可を与えられた作業員がいる、資格を有する専門工場にのみ依頼してください。
- ▶ すべての他のコンポーネントについては、必ず資格を有する作業員に溶接を実施させてください。
- ▶ あるコンポーネントで溶接できるか疑わしい場合：
資格を有する専門工場で確認させてください。
- ▶ 機械で溶接を行う前に：
機械をトラクターから連結解除してください。
- ▶ 以前に液体肥料を散布するために使用された噴霧器の近くでは溶接作業を行わないでください。

2.1.5.3 作業物質

CMS-T-00002661-B.1

不適切な作業物質

AMAZONE の要件に適合しない作業物質（材料や燃料など）により、機械損傷や事故が生じる恐れがあります。

- ▶ 技術データの要件に適合する作業物質を必ず使用してください。

2.1.5.4 特別装備と交換パーツ

CMS-T-00002662-A.1

特別装備と交換パーツ

AMAZONE の要件に該当しない特殊装備と交換パーツにより、機械の運転安全性が損なわれ、事故が発生する恐れがあります。

- ▶ 純正パーツまたは AMAZONE の要件に適合するパーツだけを使用してください。
- ▶ 装備や交換パーツについて質問がある場合には、代理店または AMAZONE に連絡してください。

2.2 安全ルーチン

CMS-T-00004828-A.1

トラクターと機械を固定

トラクターと機械が不意に作動して走り出すことがないように固定されていない場合、トラクターと機械が制御されずに動き出し、人をひき、押しつぶし、衝突して死亡させる恐れがあります。

- ▶ 上昇した機械または上昇した機械パーツを降下させます。
- ▶ 操作装置を操作して、油圧ホースラインの圧力を抜きます。
- ▶ **上昇させた機械の下、またはコンポーネントの下に立ち入る必要がある場合、**
上昇させた機械とコンポーネントが降下しないように、機械的な安全支持装置または油圧式の遮断装置で固定してください。
- ▶ トラクターを停めます。
- ▶ トラクターのパーキングブレーキを引きます。
- ▶ イグニッションキーを抜き取ります。

機械を固定

連結解除後、機械は固定しなければなりません。機械と機械パーツを固定しない場合、挫傷事故や切断事故の危険があります。

- ▶ 機械は、必ず十分な支持力を持つ平坦な場所に置いてください。
- ▶ **油圧ホースラインを無圧にして、トラクターから切り離す前に、**
機械を作業位置にします。
- ▶ エッジが鋭い機械パーツや突き出ている機械パーツに直接人が触れることがないように保護してください。

機械での作業開始前に機械を必ず停止

機械が停止していない場合、パーツが不意に動くか、機械が動く恐れがあります。これにより重傷事故や死亡事故の恐れがあります。

- ▶ 機械に対するあらゆる作業の前に、機械を停止し、機械を固定します。

使用目的

3

CMS-T-00005810-B.1

- この機械は、緑地や施設のメンテナンスにおける、通常使用のみのために設計されています。
- この機械は、技術的要件を満たした牽引バーホルダーを備えるトラクターに取り付ける、自治体作業用機械です。
- この機械は、緑地の草刈りやスカリファイ、刈った植物の収集や細断に適しており、これらの用途を想定しています。また、この機械は、緑地から落ち葉や小枝、ドングリ、栗、その他のゴミを収集するのにも適しています。
- この機械は、公道を走行する場合には、適用される道路交通規則の規定に従わなければなりません。
- 要件を満たす作業員だけが、機械を使用および修理できます。作業員についての要件は、“作業員の資格”の章に記載されています。
- 本取扱説明書は機械の構成要素です。この機械は、本取扱説明書に準拠した使用のみを目的に設計されています。本取扱説明書で説明されていない機械の用途により、重傷事故や死亡事故、および機械の破損や物損事故が生じる恐れがあります。
- ユーザーおよび所有者は、該当する事故防止規定ならびに一般的に知られている安全技術上、労働衛生上、さらに道路交通に関する法律を遵守しなければなりません。
- 特殊な事情における適切な使用についての詳細は、AMAZONE にお尋ねください。
- 使用目的としてあげられたものとは異なる他の使用は、不適切な使用と見なされます。不適切な使用によって生じた損傷については、メーカーの責任はなく、管理責任者だけの責任になります。

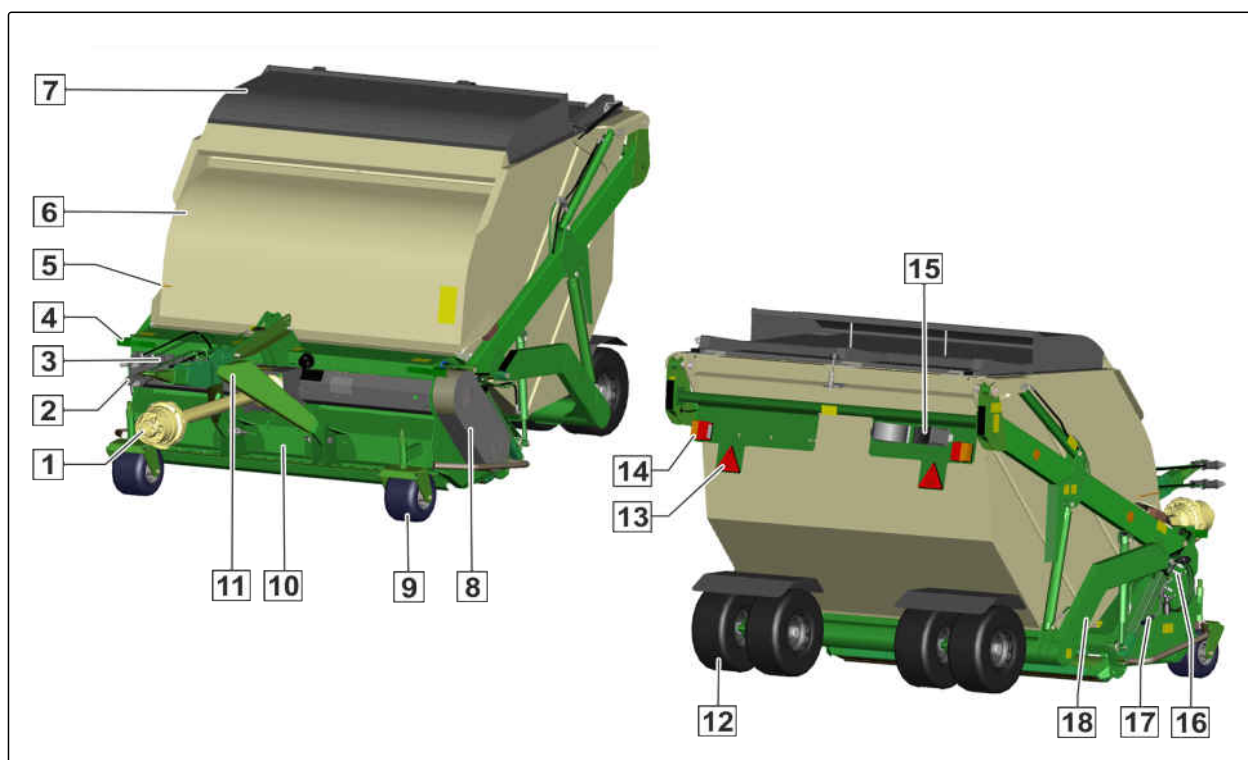
製品の説明

4

CMS-T-00001161-D.1

4.1 機械の概要

CMS-T-00001179-A.1



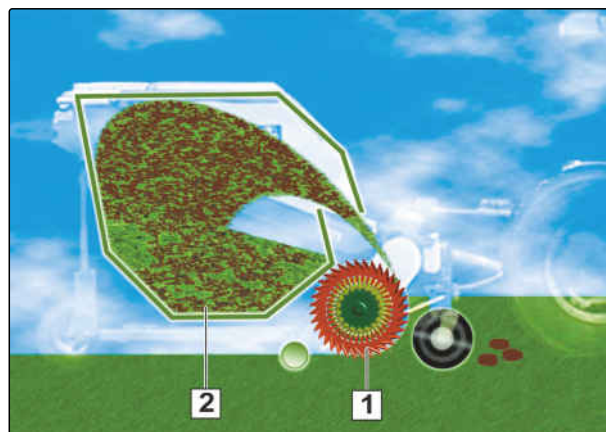
CMS-I-00001088

- | | |
|---------------------|-------------|
| 1 プロペラシャフト | 2 油圧ホースライン |
| 3 油圧ホースラインのホルダー | 4 白色リフレクター |
| 5 集草タンクの充填レベルインジケータ | 6 集草タンク |
| 7 通気フード | 8 ベルトドライブ |
| 9 草刈機のサポートホイール | 10 草刈機 |
| 11 牽引バー | 12 リアタイヤ |
| 13 赤色リフレクター | 14 テールライト |
| 15 輪止め | 16 スレッドパック |
| 17 刈高さの設定 | 18 サポートローラー |

4.2 機械の機能

CMS-T-00003709-A.1

ローター **1** とローターに取り付けられた草刈りブレードが、草刈り時に空気流を生成し、それによって刈草が集草タンク **2** に送られます。



CMS-I-00000993

4.3 オプション装備

CMS-T-00001621-A.1

- 下部牽引バー
- フロントローラー
- 運転時間カウンタ
- 電気油圧制御
- 通気フード
- フェンダー

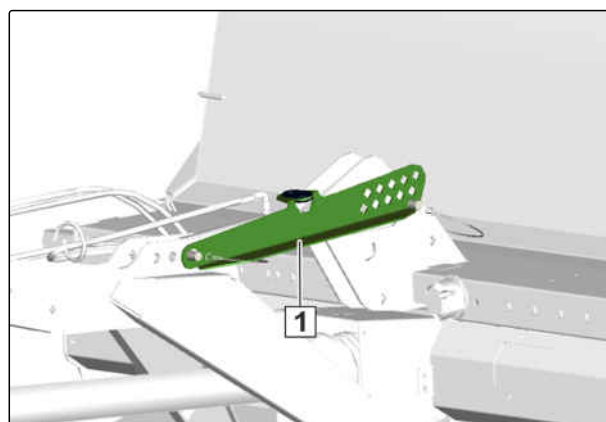
4.4 保護装置

CMS-T-00001196-B.1

4.4.1 牽引バー固定装置

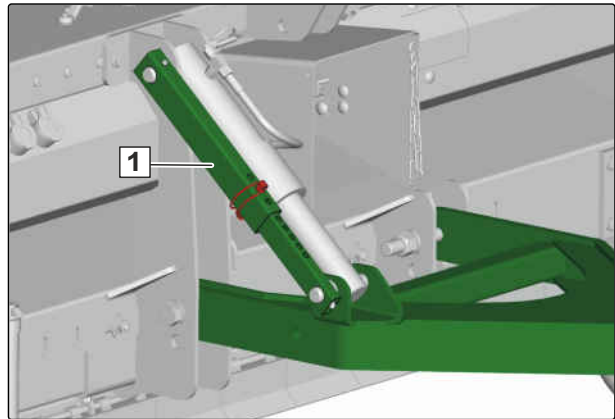
CMS-T-00001709-A.1

安全バー **1** は、機械が連結解除されているときに、上部牽引バーをパーキング位置に固定します。



CMS-I-00001078

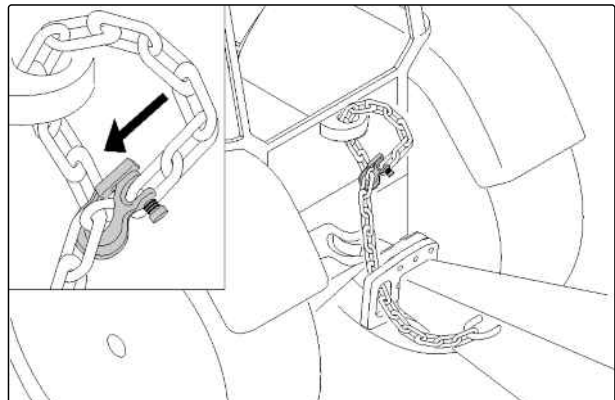
固定パイプ **1** は、機械が連結解除されているときに、下部牽引バーをパーキング位置に固定します。



CMS-I-00003723

4.4.2 安全チェーン

当該国の規則によっては、ブレーキシステムがない機械に、安全チェーンが装備されています。

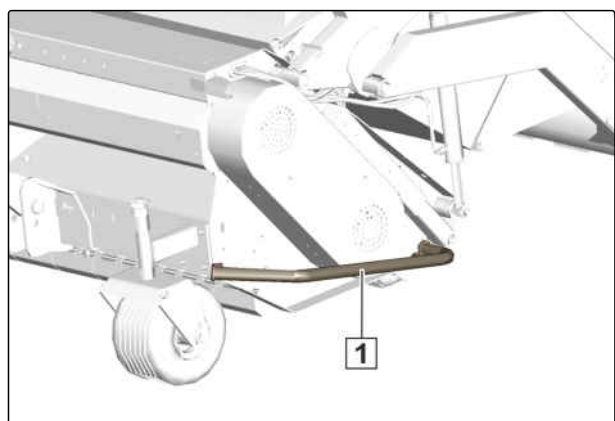


CMS-T-00001425-B.1

CMS-I-00003562

4.4.3 デフレクターブラケット

両側のデフレクターブラケット **1** は、草刈機とベルトドライブが、大きな石やその他の障害物に衝突するのを防ぎます。



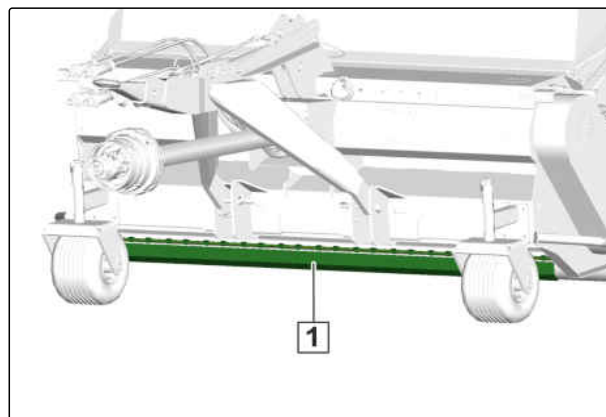
CMS-T-00001197-A.1

CMS-I-00000969

4.4.4 振り子フラップ

CMS-T-00001198-A.1

振り子フラップ **1** は、前方に飛散する異物から、人やトラクターを保護します。

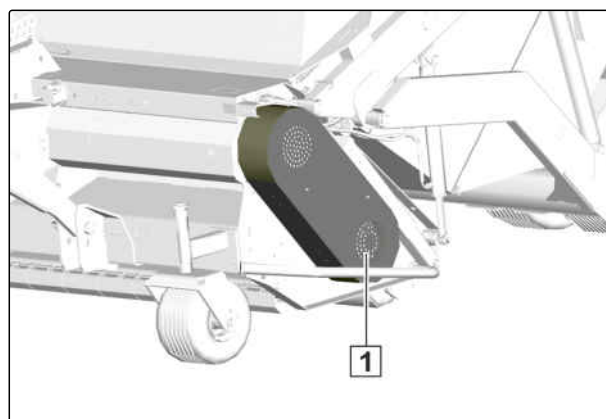


CMS-I-00000970

4.4.5 ベルトドライブ保護カバー

CMS-T-00001199-A.1

ベルトドライブ保護カバー **1** は、ベルトドライブによる怪我を防ぎます。この保護カバーは、ベルトドライブを完全に覆います。

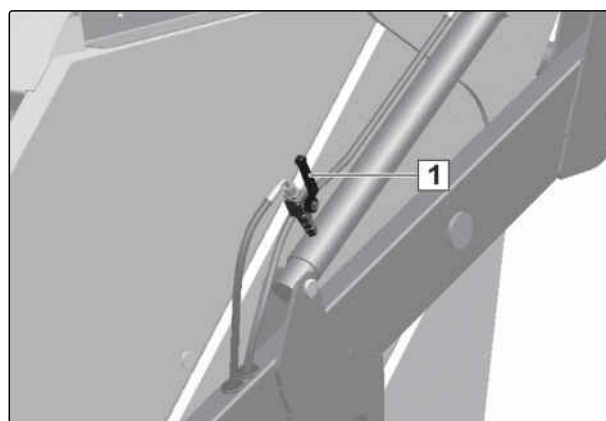


CMS-I-00000966

4.4.6 集草タンクの安全装置

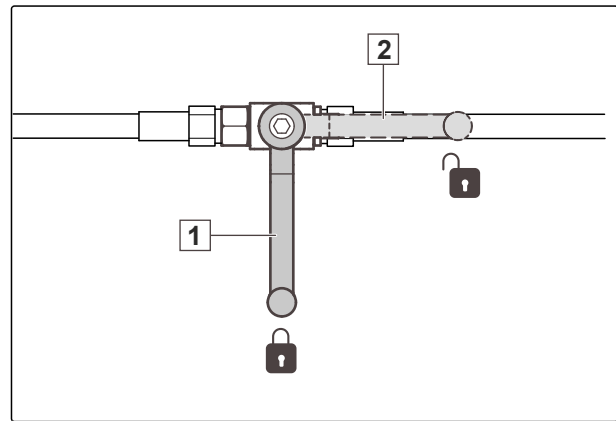
CMS-T-00001200-A.1

ローターのメンテナンス作業やブレードの交換を行う際、集草タンクを上げることができます。集草タンクの安全装置 **1** は、上がった集草タンクが不意に下がるのを防ぎます。



CMS-I-00000971

- 1 油圧バルブは閉じている
- 2 油圧バルブは開いている

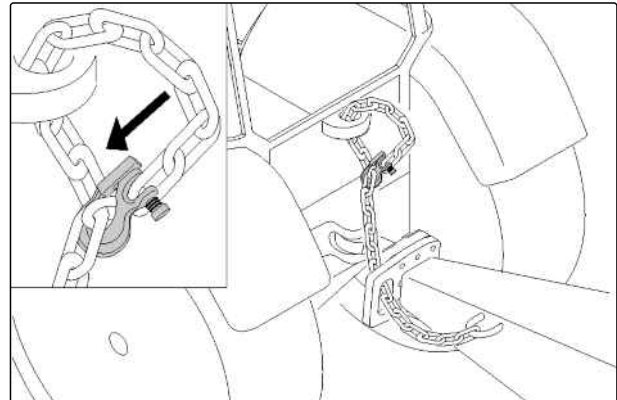


CMS-I-00001022

4.4.7 安全チェーン

当該国の規則によっては、ブレーキシシステムがない機械に、安全チェーンが装備されています。

CMS-T-00001425-B.1



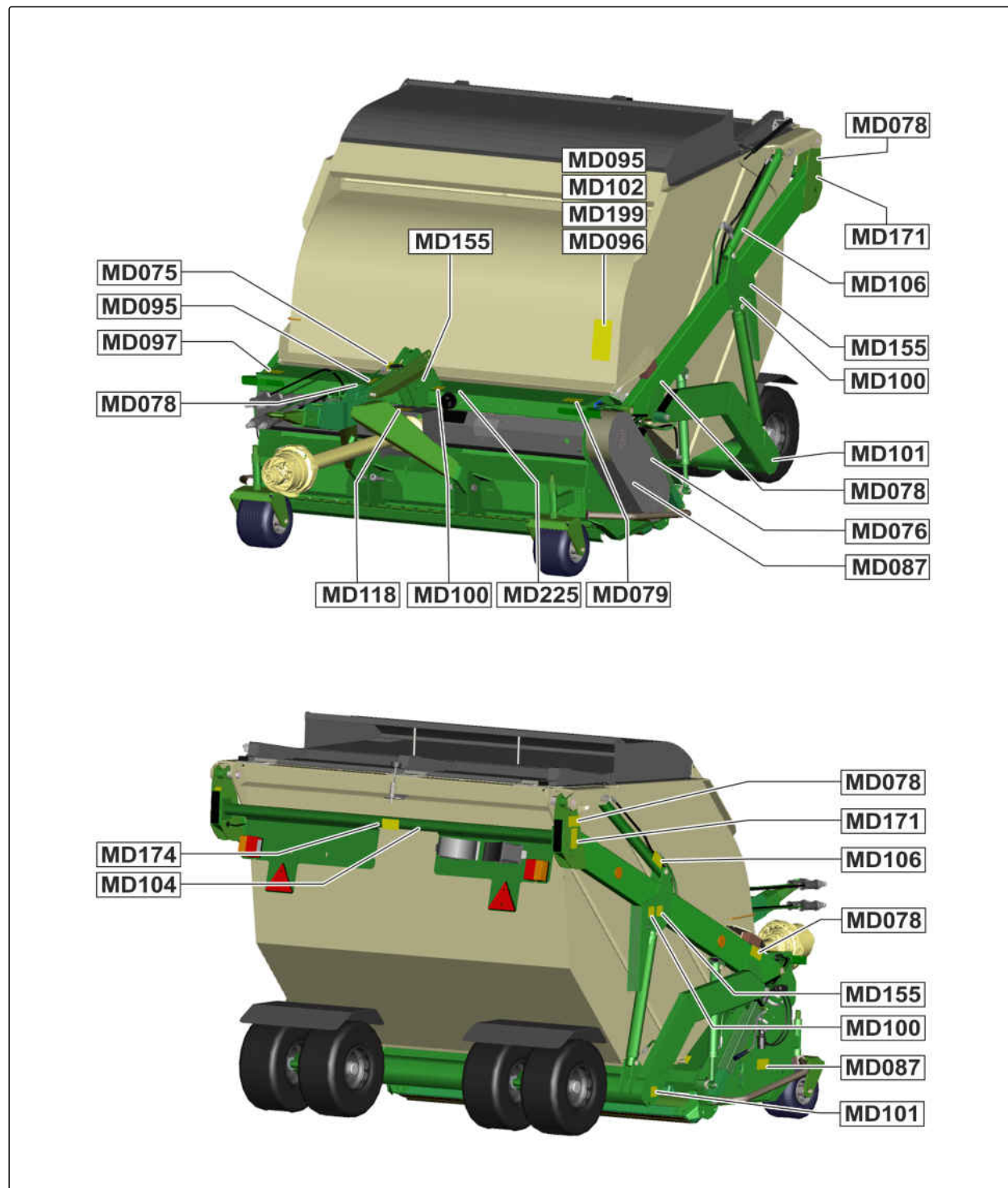
CMS-I-00003562

4.5 警告マーク

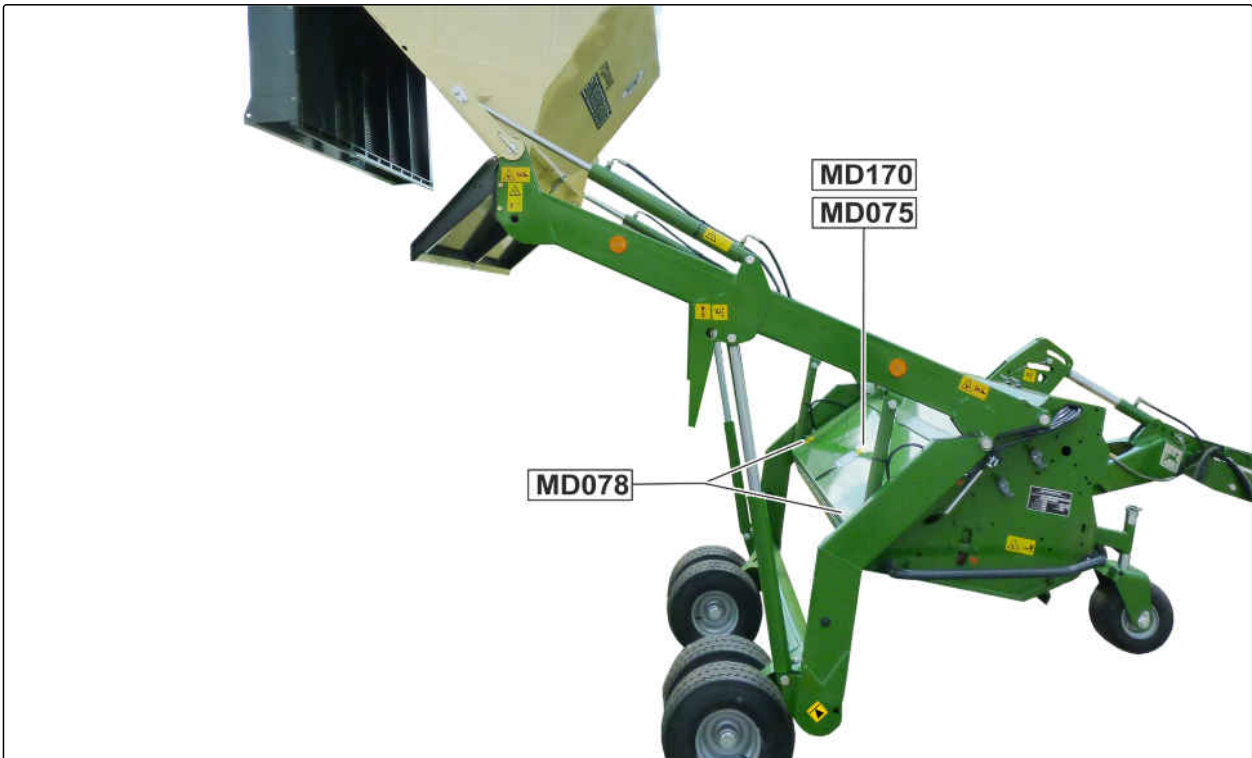
CMS-T-00001180-A.1

4.5.1 警告マークの位置

CMS-T-00003717-A.1



CMS-I-00000988



CMS-I-00002711

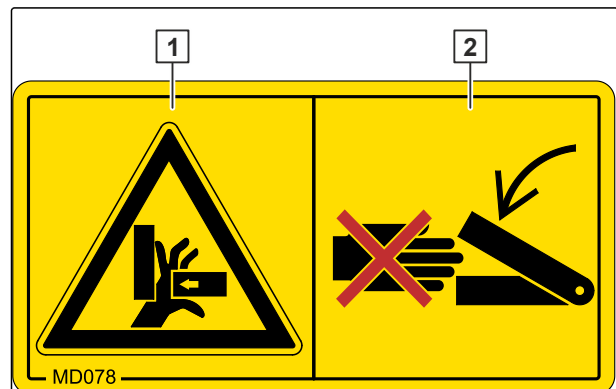
4.5.2 警告マークの構成

CMS-T-000141-B.1

警告マークは、機械の危険箇所を示し、残留リスクについて警告するものです。これらの場所では、たえない危険や予期せぬ危険があります。

警告マークは、次の 2 つの欄で構成されます：

- 欄 **1** は以下を示します：
 - 三角形の安全マークで囲まれた、危険エリアを表す絵
 - 注文番号
- 欄 **2** は危険回避のための指示を示す絵です。



CMS-I-00000416

4.5.3 警告マークの説明

CMS-T-00001181-A.1

MD075

指や手、腕を切断する危険

- ▶ トラクターや機械のエンジンやモーターが作動している間は、危険箇所に近づかないでください。
- ▶ 危険箇所に介入するのは、機械のすべての可動部品が完全に停止するまで待ってください。
- ▶ 危険エリアに人がいないことを確認してください。



CMS-I-00000418

MD076

引き込まれたり巻き込まれる危険

- ▶ トラクターや機械のエンジンやモーターが作動している間は、危険箇所に近づかないでください。
- ▶ トラクターや機械のエンジンやモーターが作動している間は、保護装置を取り外さないでください。
- ▶ 危険エリアに人がいないことを確認してください。

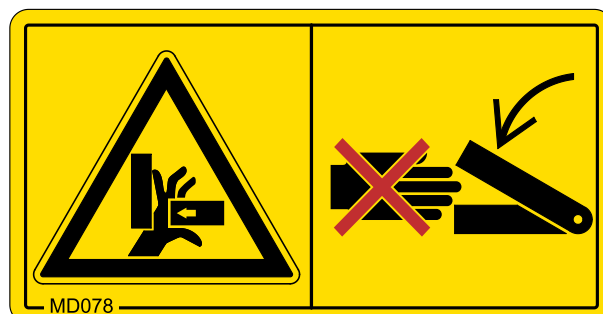


CMS-I-00000419

MD078

指や手が押しつぶされる危険

- ▶ トラクターや機械のエンジンやモーターが作動している間は、危険箇所に近づかないでください。
- ▶ マークされたパーツを手で動かさなければならぬ場合は、押しつぶされる箇所に注意してください。
- ▶ 危険エリアに人がいないことを確認してください。

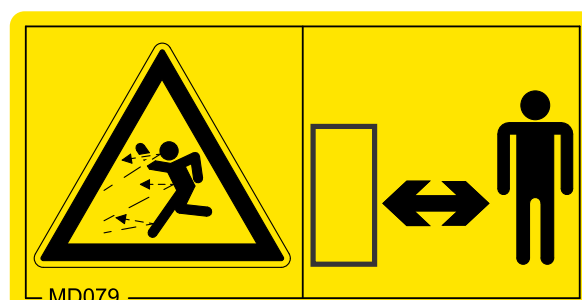


CMS-I-0000074

MD079

飛散する材料による危険

- ▶ トラクターや機械のエンジンやモーターが作動している間は、危険箇所に近づかないでください。
- ▶ 危険エリアに人がいないことを確認してください。

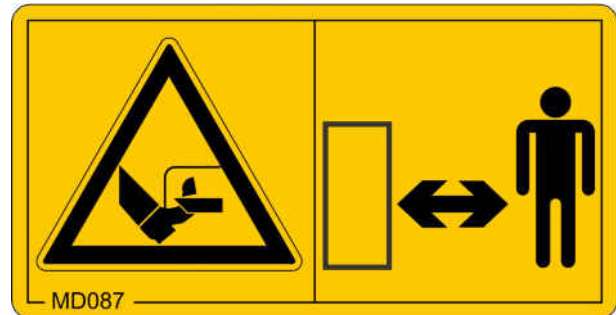


CMS-I-0000076

MD087

切断したり、動く機械部分による危険

- ▶ トラクターや機械のエンジンやモーターが作動している間は、危険箇所に近づかないでください。
- ▶ 危険エリアに人がいないことを確認してください。



CMS-I-000691

MD095

取扱説明書内の注記を守らないことにより事故が生じる恐れ

- ▶ 機械で作業する前に、本取扱説明書を読み、内容を理解してください。



CMS-I-000138

MD096

高圧で流れ出る油圧オイルによる、感染の危険

- ▶ 油圧ホースラインの漏れ箇所は、絶対に手や指で探さないでください。
- ▶ 油圧ホースラインの漏れは、絶対に手や指で塞ごうとしないでください。
- ▶ 油圧オイルによって負傷した場合、ただちに医師の診察を受けてください。

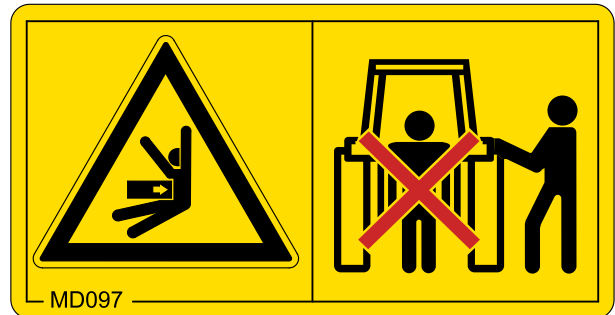


CMS-I-000216

MD097

トラクターと機械の間で押しつぶされる危険

- ▶ トラクター油圧系を操作する前に、トラクターと機械の間のエリアから離れるように周囲の人々に指示してください。
- ▶ トラクター油圧系は、所定の作業場所からのみ操作してください。

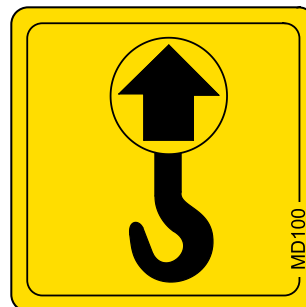


CMS-I-000139

MD100

不適切に取り付けた固定具による事故の危険

- ▶ 固定具は必ずマークが付いている位置に取り付けてください。

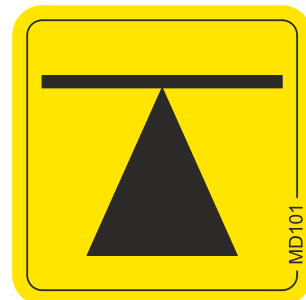


CMS-I-000089

MD101

不適切に取り付けられた昇降装置による、事故の危険

- ▶ 昇降装置は、必ずマークが付いている位置に取り付けてください。



CMS-I-00002252

MD102

機械が不意に始動して走り出すことによる危険

- ▶ 作業を開始する前には必ず、機械が不意に始動して走り出すことのないように固定してください。

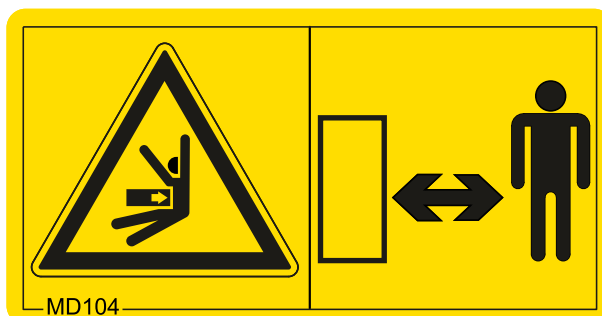


CMS-I-00002253

MD104

機械の旋回部分によって押し潰される危険

- ▶ トラクターのエンジンが動いている間は、機械の旋回部分から十分な安全距離を保ってください。
- ▶ 旋回部分の近くに誰もいないことを確認してください。



CMS-I-00003312

MD106

不意に降下する機械パーツにより、押し潰される危険

- ▶ 危険エリアに立ち入る前に、上昇している機械部分を、油圧式または機械式のロック装置で固定してください。



CMS-I-00000427

MD118

高すぎるドライブ回転数と誤ったドライブシャフト回転方向による、機械損傷の危険

- ▶ 最大ドライブ回転数と機械側ドライブシャフトの回転方向を守ってください。

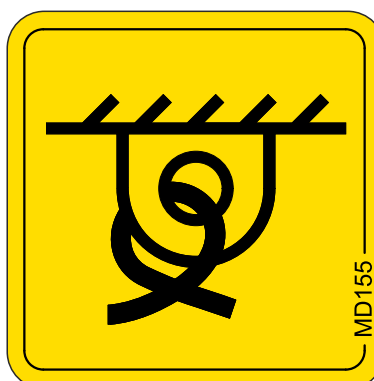


CMS-I-00000433

MD155

不適切に固定された機械を輸送する際の、事故および機械損傷の危険

- ▶ 機械輸送用のラッシングストラップは、必ずマークされたラッシングポイントに取り付けてください。



CMS-I-00000450

MD170

開いた保護装置による危険

- ▶ 機械を運転する前に、保護装置を閉じてください。



CMS-I-00003692

MD171

上昇しているタンクによって、押しつぶされる危険

- ▶ タンクを動かす前に、危険エリアに人がいないことを確認してください。

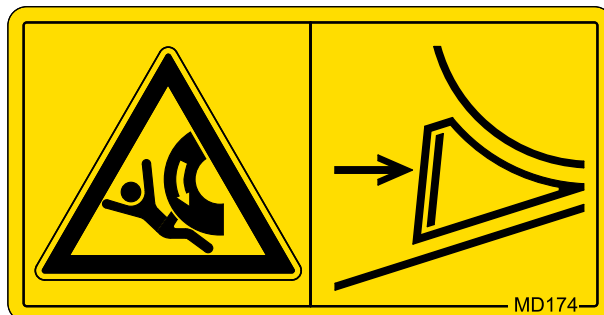


CMS-I-00000469

MD174

固定されていない機械に轢かれる危険

- ▶ 機械が動かないように固定してください。
- ▶ そのために、パーキングブレーキおよび／または輪止めを使用してください。

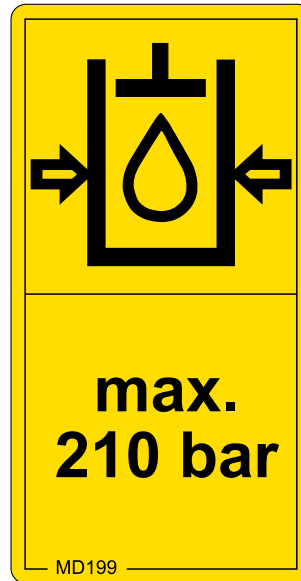


CMS-I-00000458

MD199

油圧システムの圧力が高すぎることによる、事故の危険

- ▶ 機械はトラクター油圧が 210 bar 以下であるトラクターだけに連結してください。

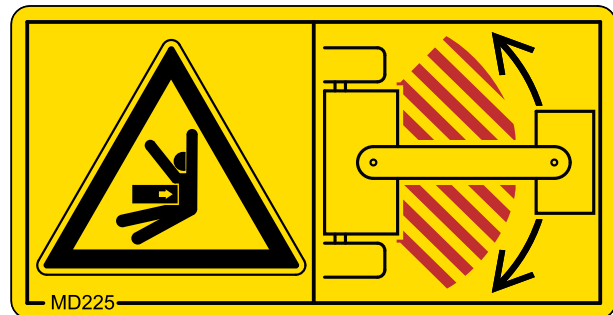


CMS-I-00000486

MD225

トラクターと機械を連結する際に、押しつぶされる危険

- ▶ 危険エリアに人がいないことを確認してください。



CMS-I-00000474

4.6 機械の詳細情報

CMS-T-00001183-A.1

4.6.1 集草タンクの充填レベル

集草タンクの充填レベルを知らせます。

CMS-T-00001184-A.1

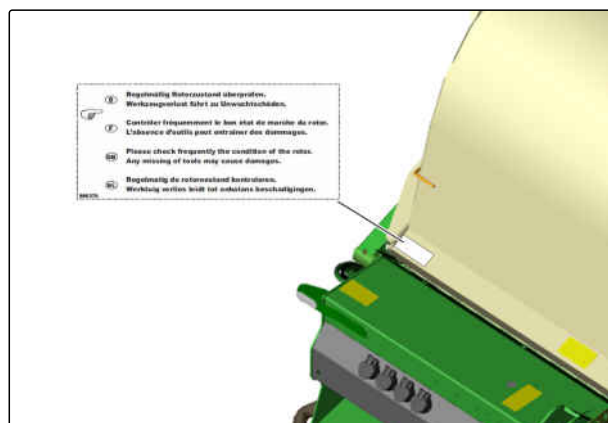


CMS-I-00000985

4.6.2 ローター状態点検

CMS-T-00003703-A.1

定期的なローター状態点検の注意事項。

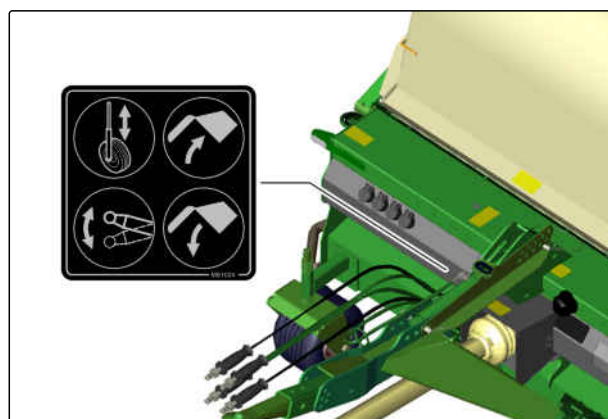


CMS-I-00000984

4.6.3 油圧ホースラインの割り当て

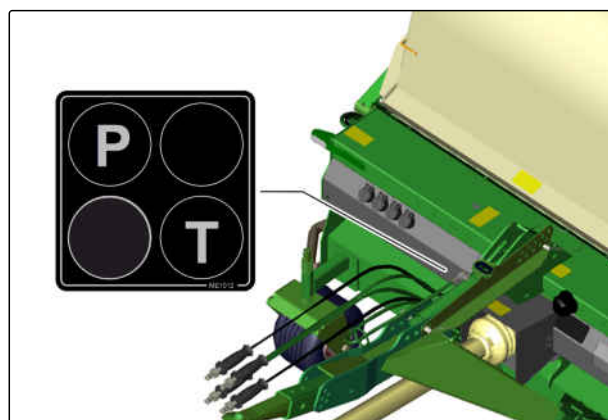
CMS-T-00005144-A.1

標準油圧系統における油圧ホースラインの割り当てに関する情報。



CMS-I-00003698

標準油圧系統における油圧ホースラインの割り当てに関する情報。

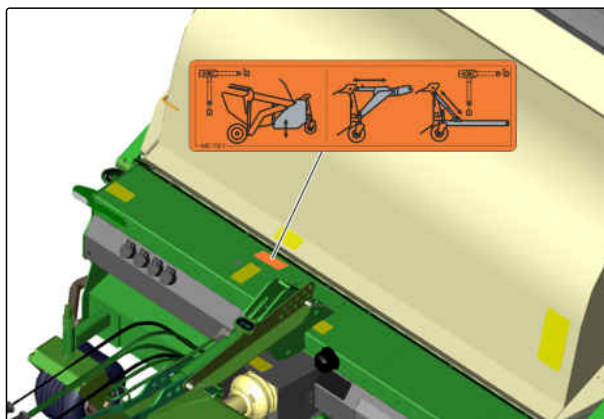


CMS-I-00003697

4.6.4 油圧バルブの機能

CMS-T-00003704-A.1

油圧バルブの機能とレバー位置に関する情報。

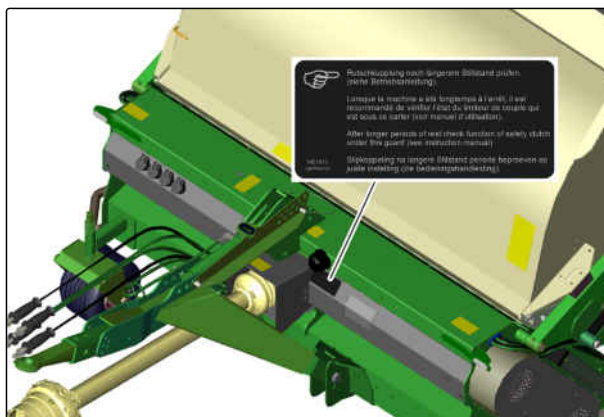


CMS-I-00000982

4.6.5 クラッチ滑り点検

CMS-T-00003706-A.1

長期間停止した後の、クラッチ滑り点検に関する注意事項。



CMS-I-00001021

4.6.6 許容最高速度

CMS-T-00003707-A.1

公道での許容最高速度を示します。

注記

この情報は、使用する国によって異なる場合があります。



CMS-I-00000986

4.7 銘板と CE マーク

CMS-T-00005811-A.1

4.7.1 機械の銘板と CE マーク

CMS-T-00005812-A.1

銘板 **1** と CE マーク **2** は、識別のために機械に取り付けられています。

機械の正面右側には、車両識別番号 **3** も刻印されています。



CMS-I-00001015

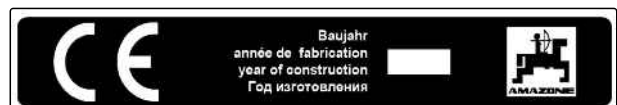
銘板の記載事項：

- 車両識別番号
- 機械識別番号
- 製品名
- 基本重量 (kg)
- 許容支持荷重 (kg)
- 許容軸荷重 (kg)
- 許容システム圧力 (bar)
- 許容総重量 (kg)
- 工場
- モデルイヤー

CE マークと製造年



CMS-I-00003689



CMS-I-00000512

4.7.2 牽引バーの銘板

CMS-T-00005813-A.1

銘板 **1** は、識別のために牽引バーに取り付けられています。



CMS-I-00001086

銘板の記載事項：

- メーカー
- 名称
- タイプ
- 検査マーク
- 製造年
- 被牽引車の許容総重量 (kg)
- 許容最高速度 (km/h)
- 許容支持荷重 (kg)
- DC 値 (kN)



CMS-I-00001085

4.8 スレッドパック

CMS-T-00001776-E.1

スレッドパック内には次のものがあります：

- ドキュメント
- ツール



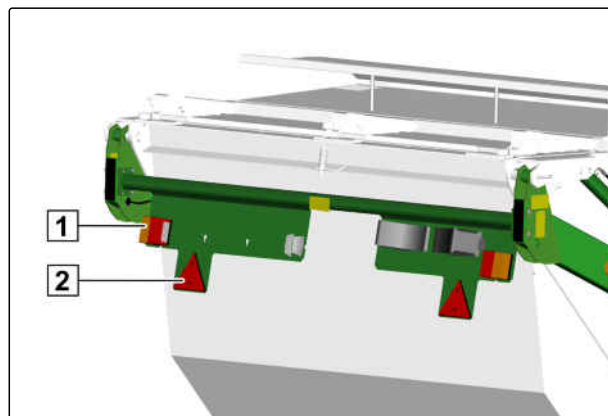
CMS-I-00002306

4.9 道路走行用の照明と識別

CMS-T-00001185-B.1

道路走行用の照明と識別、後方用

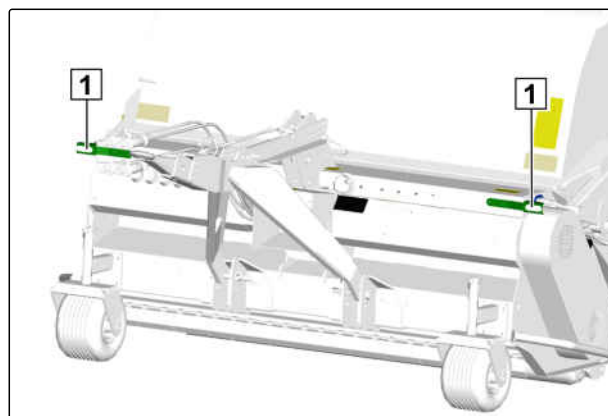
- 1 テールライトとブレーキライト、ターンインジケータ。
- 2 赤色リフレクター



CMS-I-00000990

前方の識別

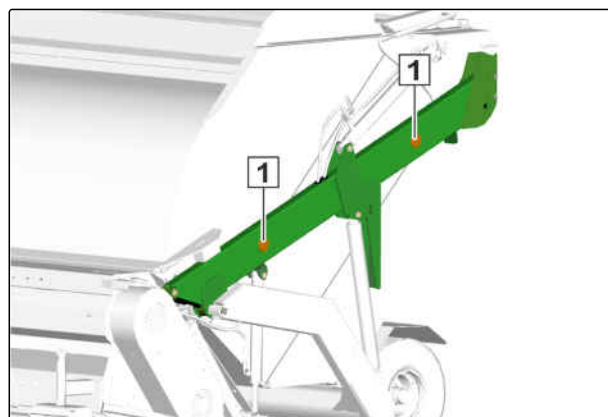
- 1 白色リフレクター



CMS-I-00000991

サイドの識別

- 1 オレンジ色リフレクター

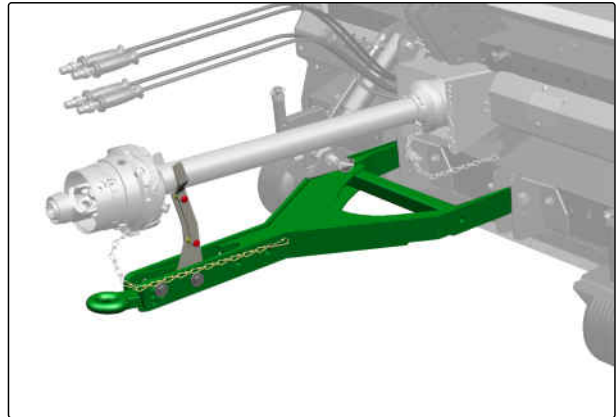


CMS-I-00000989

4.10 下部牽引バー

CMS-T-00004667-A.1

この機械は、下部牽引バーで、トラクターのスイングドローバーに連結されます。

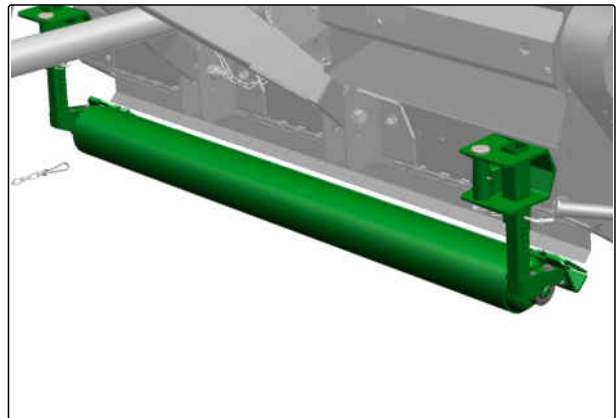


CMS-I-00001001

4.11 フロントローラー

CMS-T-00001625-A.1

フロントローラーは、不整地でのスカリファイに使用されます。フロントローラーは、フロントステアリングホイールのホルダーに取り付けられます。



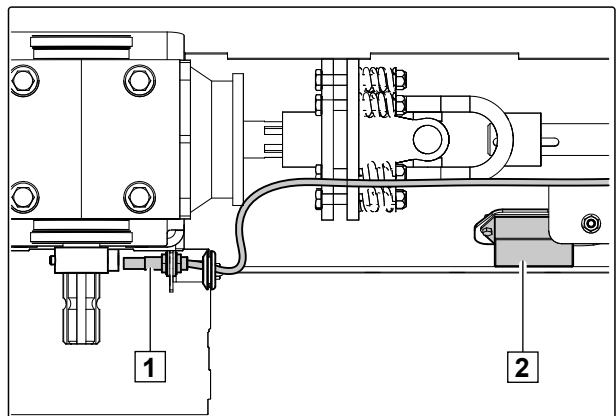
CMS-I-00000994

4.12 運転時間カウンタ

CMS-T-00001626-A.1

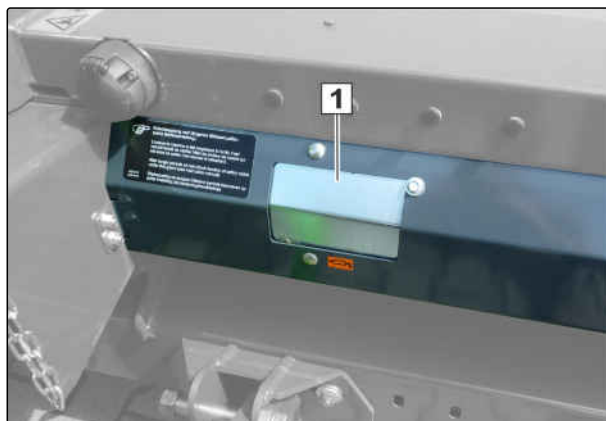
運転時間カウンタは、プロペラシャフトが回転すると、運転時間をカウントします。

運転時間は、センサー **1** によってドライブギアボックスに記録され、表示装置 **2** に出力されます。



CMS-I-00001000

運転時間カウンタは、カバー **1** を開けると、読み取ることができます。

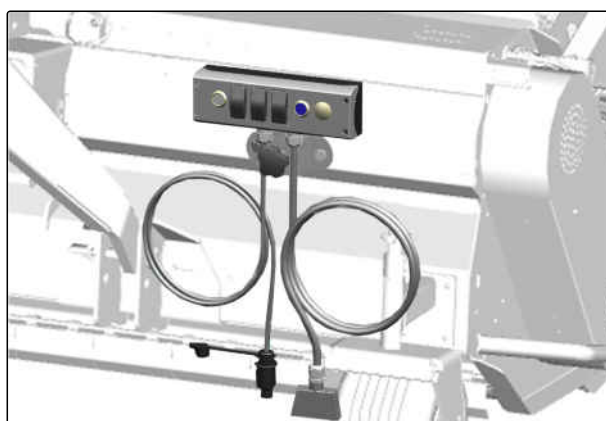


CMS-I-00003737

4.13 電気油圧制御

CMS-T-00001195-A.1

リモコンを使用すると、2本の油圧ホースラインと追加の電気接続だけで機械を操作できます。リモコンは、トラクターの運転キャビン内のホルダーに取り付けられます。



CMS-I-00000996

4.14 通気フード

CMS-T-00001623-A.1

通気フードは、空気と草刈り粉塵を後方に送ります。

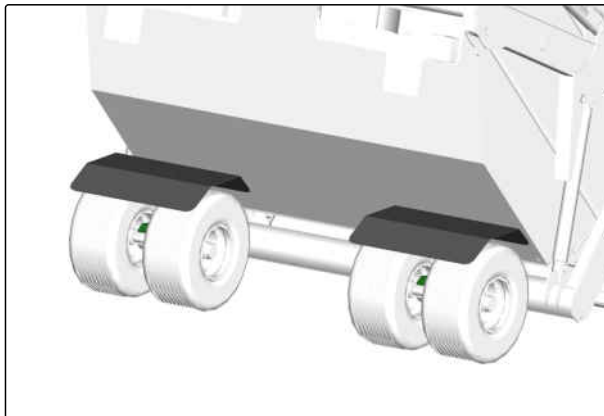


CMS-I-00000995

4.15 フェンダー

CMS-T-00001624-A.1

フェンダーは、運転中または道路走行中に、後輪によって跳ね上げられる物体から、機械とその周囲を保護します。



CMS-I-00000999

4.16 草刈ツール

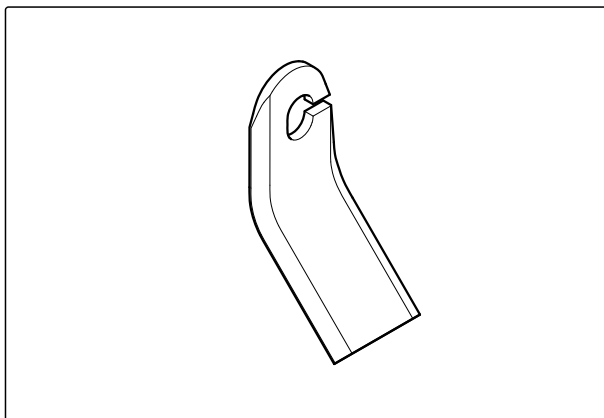
CMS-T-00001187-C.1

4.16.1 草刈リブレード

CMS-T-00001188-C.1

草刈リブレードは、両面加工されているため、片面が摩耗したら裏返すことができます。

草刈リブレードは、様々な使用範囲やブレード組み合わせに適しています、以下のページを参照 72。

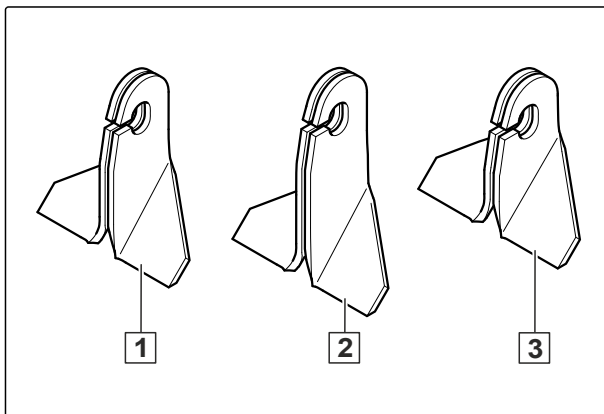


CMS-I-00001003

4.16.2 ウィングブレード

CMS-T-00005959-C.1

- 1 ウィングブレード ロング H77
- 2 ウィングブレード エクストラロング H88
- 3 ウィングブレード ショート H60



CMS-I-00004310

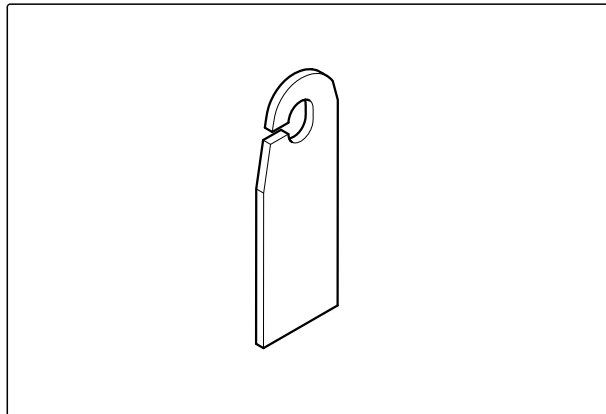
ウィングブレードは、様々な使用範囲やブレード組み合わせに適しています、以下のページを参照 72。

4.16.3 スカリファイブレード

CMS-T-00001193-D.1

スカリファイブレードには、厚さが 2 mm と 3 mm のものがあります。

スカリファイブレードは、様々な使用範囲やブレード組み合わせに適しています、以下のページを参照 72。



CMS-I-00001002

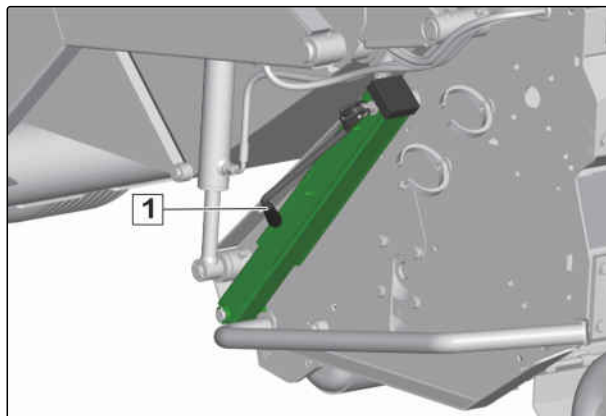
4.17 操作エレメント

CMS-T-00003711-A.1

4.17.1 刈高さ設定用クランク

CMS-T-00003712-A.1

刈高さ設定クランク **1** は、草刈機の右側にあります。このクランクにより、草刈機の刈高さを中央で設定できます。

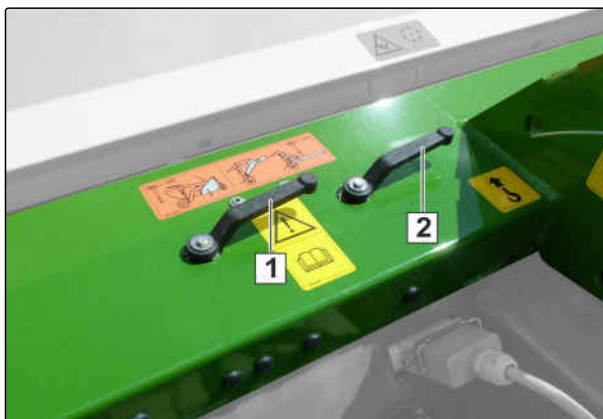


CMS-I-00002714

4.17.2 油圧バルブ

CMS-T-00003713-A.1

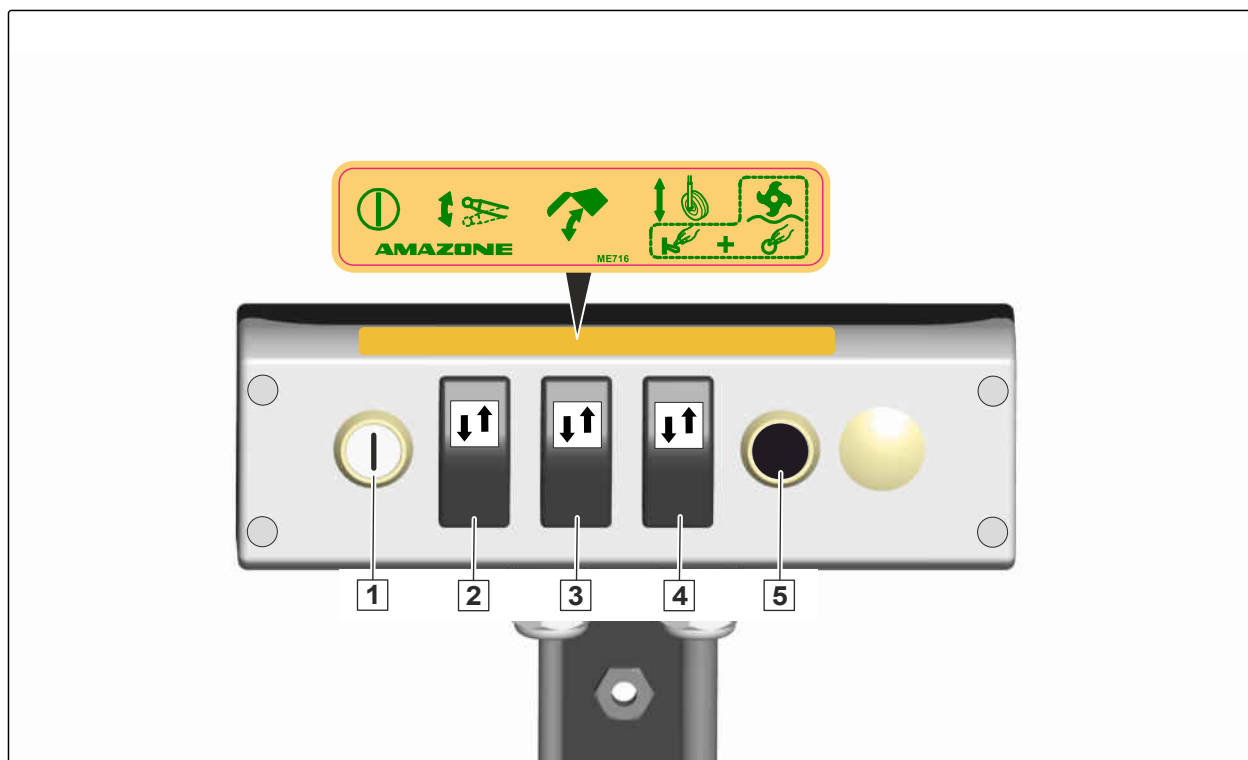
- 1 草刈機を上下したり、ロックするための油圧バルブ。
- 2 牽引バーを介して、機械を上下したり、ロックするための油圧バルブ。



CMS-I-00003373

4.17.3 電気油圧制御用の操作ボタン

CMS-T-00003714-A.1



CMS-I-00003374

- 1 電気油圧制御の ON/OFF を切り替えるための操作ボタン。
- 2 牽引バーを介して、機械前部を上げ下げするための操作ボタン。
- 3 集草タンクを上げ下げするための操作ボタン。
- 4 機械後部を上げ下げするための操作ボタン。
- 5 2つの操作ボタン 4 と 5 を同時に押すことで、機械のフロート位置をアクティブにするための操作ボタン。

フロート位置とは、前部サポートホイールとサポートローラーによって、草刈機が地面をガイドすることを意味します。後輪が行うのは、左右ホイールの地面凹

凸の補正とサポート機能のみです。牽引バーも、フロート位置にあります。

他の操作ボタンを押すと、直ちにフロート位置は自動的に OFF になります。機械の油圧は、輸送モードに切り替わります。

操作中に操作ボタンを放すと、油圧ブロックがロックされ、機械は現在の位置に留まります。

4.18 ハイリフト排出

CMS-T-00004669-B.1

最大 2.3 m のハイリフト排出により、トラックやトレーラーに素早く積み込むことができます。



CMS-I-00003324

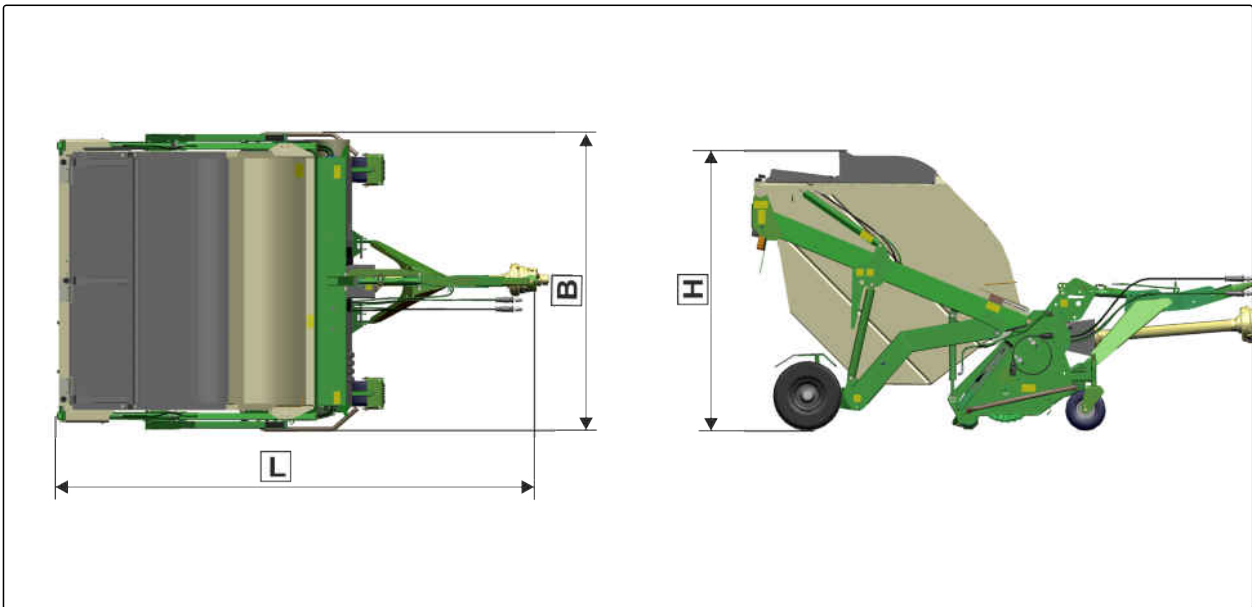
技術データ

5

CMS-T-00003683-B.1

5.1 寸法

CMS-T-00003685-B.1



CMS-I-00003325

マーク		GHS Drive 1500	GHS Drive 1800	GHS Drive 2100
L	全長	3.65 m	3.65 m	3.65 m
H	全高	1.9 m	1.9 m	1.9 m
B	全幅	1.9 m	2.2 m	2.5 m

5.2 集草タンクの容量

CMS-T-00003687-B.1

GHS Drive 1500	GHS Drive 1800	GHS Drive 2100
2,500 l	3,000 l	3,500 l

5.3 草刈機

CMS-T-00003699-B.1

5.3.1 刈量

CMS-T-00003688-B.1

	GHS Drive 1500	GHS Drive 1800	GHS Drive 2100
刈高さ	最大 80 mm	最大 80 mm	最大 80 mm
刈幅	1.5 m	1.8 m	2.1 m

5.3.2 草刈ツール

CMS-T-00003700-B.1



注記

ツール数量の情報は、同じ草刈ツールを備える
100% 装備を指します。

	GHS Drive 1500	GHS Drive 1800	GHS Drive 2100
草刈りブレード	166 枚	198 枚	230 枚
スカリファイブレード 2 mm/3 mm	83 枚	99 枚	115 枚
ウィングブレード ロング H77、シリーズ	83 ペア	99 ペア	115 ペア
ウィングブレード ショー ト H60	83 ペア	99 ペア	115 ペア
ウィングブレード エクス トラロング H88	83 ペア	99 ペア	115 ペア

5.4 タイヤ

CMS-T-00003701-B.1

5.4.1 タイヤ寸法

CMS-T-00003689-A.1

	GHS Drive 1500	GHS Drive 1800	GHS Drive 2100
草刈機サポートホイール	11 x 7 - 4	11 x 7 - 4	11 x 7 - 4
リアタイヤ	18.5 x 8.50-8	18.5 x 8.50-8	18.5 x 8.50-8

5.4.2 タイヤ空気圧

CMS-T-00003702-B.1

	GHS Drive 1500	GHS Drive 1800	GHS Drive 2100
草刈機サポートホイール	2 bar	2 bar	2 bar
リアタイヤ	3.4 bar	3.4 bar	3.4 bar

5.5 許容接続カテゴリ

CMS-T-00003698-A.1

上部牽引バー	ルネットアイ D40
下部牽引バー	ルネットアイ D50

5.6 理想的な作業速度

CMS-T-00003696-B.1

5-12 km/h

5.7 トラクターの性能特性

CMS-T-00003697-B.1

エンジン出力		
GHS Drive 1500	GHS Drive 1800	GHS Drive 2100
最小 50 PS／最大 100 PS	最小 60 PS／最大 120 PS	最小 70 PS／最大 130 PS

電気系統	
バッテリー電圧	12 V
照明用電気ソケット	7 極
電気油圧制御用ソケット	3 極、15 A

油圧系統	
最大作業圧力	210 bar
トラクターポンプ出力	150 bar で 15 l/min 以上
電気油圧制御用トラクターポンプ出力	210 bar で最大 40 l/min
フリーオイルリターン流	最大リターン流圧力 1.5 bar
機械の油圧オイル	HLP68 DIN51524 この油圧オイルは、市場に流通しているあらゆるトラクターのコンビ型油圧オイル回路に適しています。
制御装置	標準油圧系統： 2x 単動式および 1x 複動式 電気油圧制御： 1x 単動式およびタンクへのリターン流

5.8 騒音発生データ

CMS-T-00003690-A.1

作業場における放出音圧レベルは 98 dB(A) です。この値は、運転時にキャabinを閉じた状態で、トラクタ一運転手の耳元で測定しました。

規制 2000/14/EC に基づいた、音響パワーレベルの値 : $L_{wA} = 115 \text{ dB(A)}$

放出音圧レベルの高さは、基本的に使用する車両により異なります。

5.9 走行可能な斜面

CMS-T-00003691-A.1

傾斜を横断		
進行方向で左側	15 %	
進行方向で右側	15 %	

斜面を上昇および下降		
傾斜を上昇	15 %	
傾斜を下降	15 %	

機械の準備

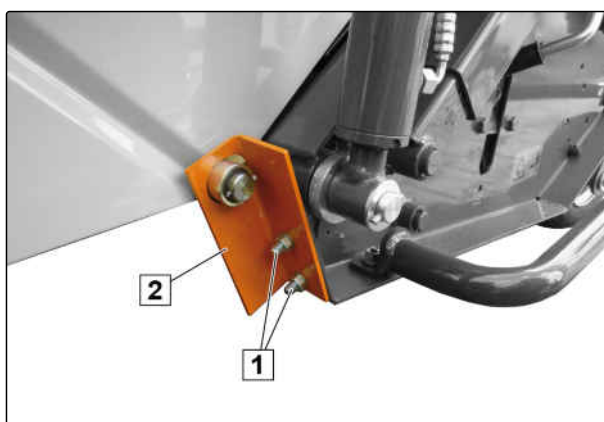
6

CMS-T-00015489-A.1

6.1 走行安全用留め具を取り外す

CMS-T-00001658-A.1

1. 左側と右側のねじ **1** を外します。
2. 左側と右側の走行安全用留め具 **2** を取り外します。
3. 走行安全用留め具とねじは、次に機械を輸送するときのために保管します。



CMS-I-00001032

4. 左側と右側の安全テープ **1** を取り外します。



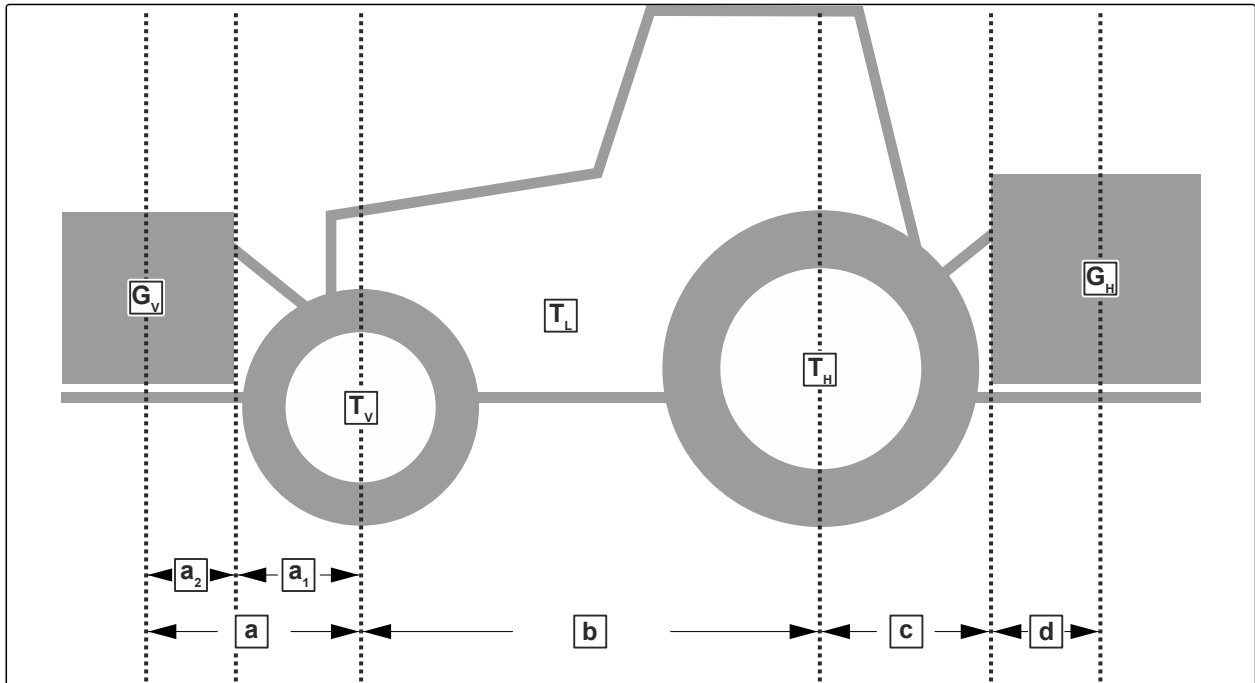
CMS-I-00001031

6.2 トラクターの適合性を点検する

CMS-T-00001660-B.1

6.2.1 必要なトラクター特性を計算

CMS-T-00000063-F.1



CMS-I-00000581

名称	単位	説明	検出された値
T_L	kg	トラクターの自重	
T_V	kg	搭載型機械またはバラストなしの、運転準備が整ったトラクターの前輪軸荷重	
T_H	kg	搭載型機械またはバラストなしの、運転準備が整ったトラクターの後輪軸荷重	
G_V	kg	フロント側に取り付けた機械またはフロントバラストの総重量	
G_H	kg	リア側に取り付けた機械またはリアバラストの許容総重量	
a	m	フロント側に取り付けた機械またはフロントバラストの重心と、前輪軸の中心の間の距離	
a_1	m	前輪軸中央とリフトアーム接続部中央の間の距離	
a_2	m	重心の距離：フロント側に取り付けた機械またはフロントバラストの重心と、リフトアーム接続部中心の間の距離	
b	m	軸距	
c	m	後輪軸中央とリフトアーム接続部中央の間の距離	
d	m	重心の距離：下側リンク連結点の中心と、トラクターの後部に取り付けた機械またはリアバラストの重心の間の距離。	

6 | 機械の準備

トラクターの適合性を点検する

1. 最小フロントバラストを計算します。

$$G_{Vmin} = \frac{G_H \cdot (c + d) - T_V \cdot b + 0,2 \cdot T_L \cdot b}{a + b}$$

$$G_{Vmin} = \underline{\hspace{2cm}}$$

$$G_{Vmin} = \underline{\hspace{2cm}}$$

CMS-I-00000513

2. 実際の前輪軸荷重を計算します。

$$T_{Vtat} = \frac{G_V \cdot (a + b) + T_V \cdot b - G_H \cdot (c + d)}{b}$$

$$T_{Vtat} = \underline{\hspace{2cm}}$$

$$T_{Vtat} = \underline{\hspace{2cm}}$$

CMS-I-00000516

3. トラクターと機械の組み合わせの実際の合計重量を計算します。

$$G_{tat} = G_V + T_L + G_H$$

$$G_{tat} = \underline{\hspace{2cm}}$$

$$G_{tat} = \underline{\hspace{2cm}}$$

CMS-I-00000515

4. 実際の後輪軸荷重を計算します。

$$T_{Htat} = G_{tat} - T_{Vtat}$$

$$T_{Htat} = \underline{\hspace{2cm}}$$

$$T_{Htat} = \underline{\hspace{2cm}}$$

CMS-I-00000514

- メーカー指定の2本のトラクタータイヤのタイヤ負荷能力を検出します。
- 検出した値を以下の表にメモします。



重要

過剰な負荷のための機械損傷による事故の危険

- ▶ 算出した負荷が、許容負荷以下であることを確認してください。

	計算に基づく実際の値			トラクターの取扱説明書に基づく許容値			2本のトラクタータイヤ用のタイヤ負荷能力	
最小フロントバラスト		kg	≤		kg		-	-
総重量		kg	≤		kg		-	-
前輪軸荷重		kg	≤		kg	≤		kg
後輪軸荷重		kg	≤		kg	≤		kg

6.2.2 許容 DC 値と実際の DC 値を比較する

CMS-T-00004867-B.1

名称	説明
T	支持荷重を含む、トラクターの許容総重量 (t)
C	機械の許容軸重の合計 (t)

- D_c 値を計算します。
- 算出された D_c 値が、機械とトラクターの接続装置の銘板に記載されている D_c 値以下であるか点検します。

$$D_c = 9,81 \cdot \frac{T \cdot C}{T + C}$$

$$D_c = 9,81 \cdot \frac{\text{ } \cdot \text{ }}{\text{ } + \text{ }}$$

$$D_c = \text{ }$$

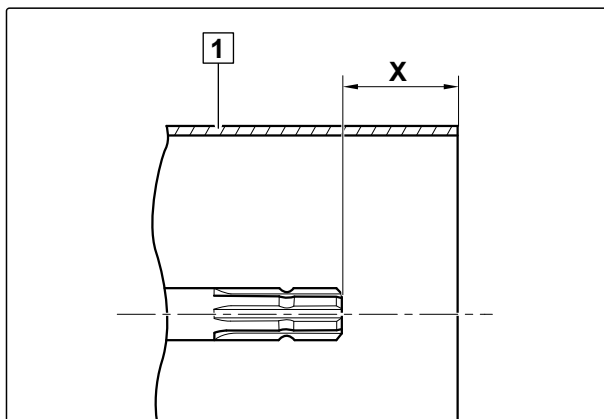
CMS-I-00003582

6.2.3 トラクター PTO の保護装置を点検する

CMS-T-00001661-A.1

トラクターの保護装置 **1** は、PTO の端と付属のアダプターをカバーしていなければなりません。

- ▶ 保護装置のカバレッジ "X" を点検します。



CMS-I-00001034

6.3 許容積載重量を計算

CMS-T-00005960-A.1



警告

積載重量超過による事故の危険

積載重量を超過すると、機械が損傷したり、トラクターの運転動作が制御不能になる可能性があります。

- ▶ 機械の積載重量を入念に検出してください。
- ▶ 機械の積載重量は絶対に超過しないでください。

最大積載重量 = 許容総重量 - 基本重量

1. 許容総重量を銘板から読み取ります。

2. **基本重量を得るには、**
銘板から基本重量を読み取ります。

または

空の機械の重さを量ります。

3. 積載重量を計算します。

6.4 牽引バーの準備をする

CMS-T-00005183-D.1

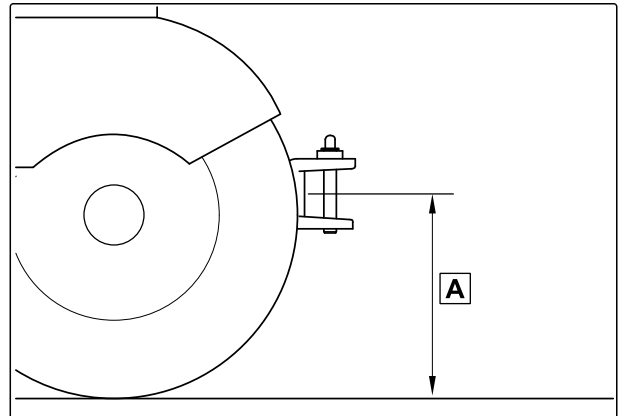
6.4.1 上部牽引バーを調整する

CMS-T-00005961-D.1

6.4.1.1 必要な牽引バーの高さを調べる

CMS-T-00001668-B.1

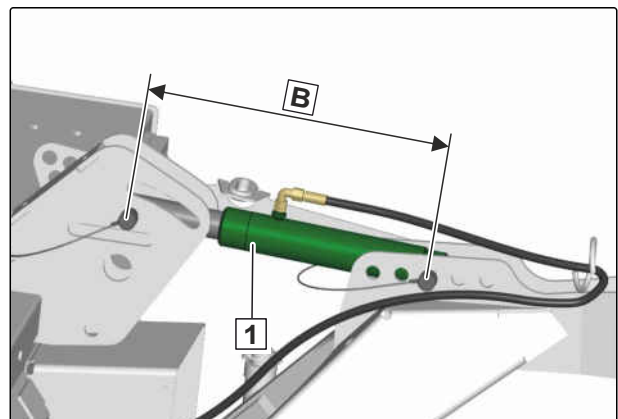
1. トラクターと機械を平らな場所に置きます。
2. トラクターで、ストレートドローバーの中心から地面までの高さ **A** を測定します。



CMS-I-00003328

3. 油圧シリンダー **1** を半分伸ばした状態で、牽引バーの高さを測定します。

➔ 油圧シリンダーを半分伸ばした状態でのボルト間隔 **B** は、約 545 mm です。

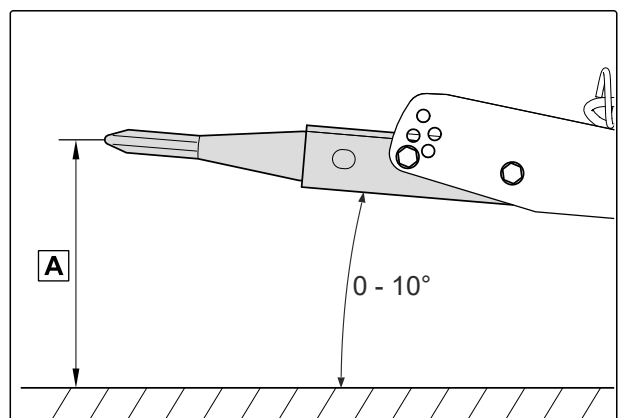


CMS-I-00004109

4. 牽引バーの高さ **A** を測定し、トラクターのストレートドローバーの高さと比較します。

➔ トラクターのストレートドローバーの高さと同じなら、牽引バーの高さは正しいことになります。

➔ 高さが正しければ、ルネットアイは 0 ~ 10° 上向きに傾いていなければなりません。



CMS-I-00004326

6.4.1.2 上部牽引バーの高さを調整する

CMS-T-00005962-D.1

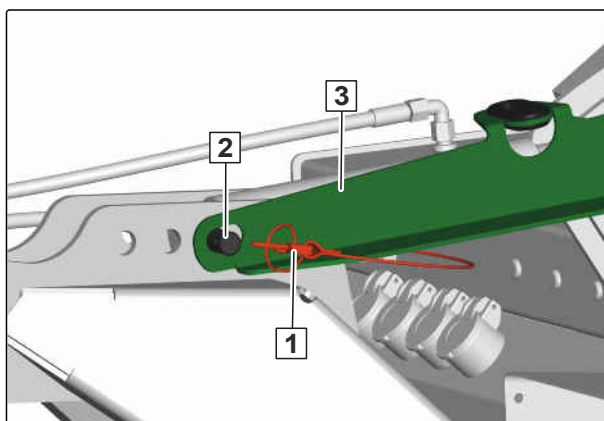


注意

重い牽引バーによる、負傷の危険

- ▶ 牽引バーの上げ下げには、クレーンまたは適切な吊り上げツールを使用してください。
- ▶ 十分な耐荷重のある固定具を使用してください。
- ▶ 牽引バーをサポートするために、サポート要素を使用してください。

1. 牽引バーの高さ調整は、油圧シリンダーを半分伸ばした状態で行います。
2. クレーンまたは適切な吊り上げツールを使用して、牽引バーが下がらないように固定します。
3. リンチピン **1** を、ピン **2** から抜き取ります。
4. 安全バー **3** を、ピンから引き抜きます。
5. ピンをリンチピンで固定してください。



CMS-I-00004324

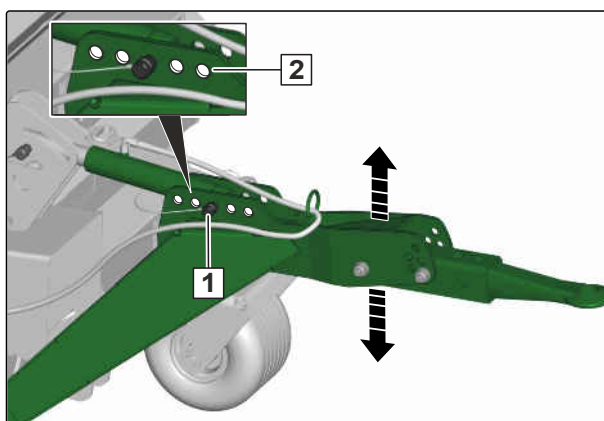


注意

牽引バーを設定する際に、押しつぶされる危険

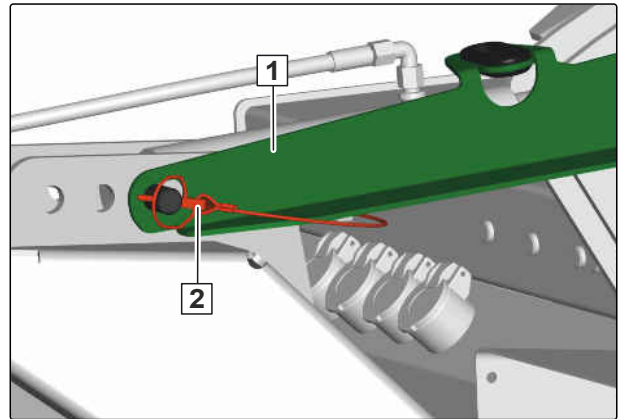
- ▶ 牽引バーを上下する際に、油圧シリンダーと穴パターンホルダーの間に手を入れないでください。

6. ピン **1** を引き出します。
7. 牽引バーを必要な高さまで上下します。
8. ボルトを使用して、油圧シリンダーを穴パターン **2** に留めます。



CMS-I-00004325

9. 安全バー **1** を、ピンに押し込みます。
10. ピンをリンチピン **2** で固定してください。
11. クレーンまたは吊り上げツールを取り外します。

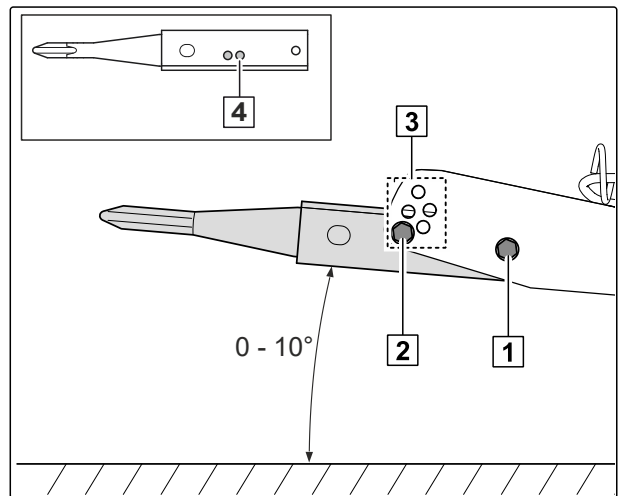


CMS-I-00004323

12. ルネットアイの傾きをチェックします。
➡ ルネットアイは、 0° ~ 10° 上向きに設定されていなければなりません。
13. ルネットアイの傾きを調整する必要がある場合：
ねじ **1** を緩めます。

14. ねじ **2** を外します。

15. 穴パターン **3** を用いて、ルネットアイを必要な傾きに設定し、ねじ **2** で固定します。



CMS-I-00004327

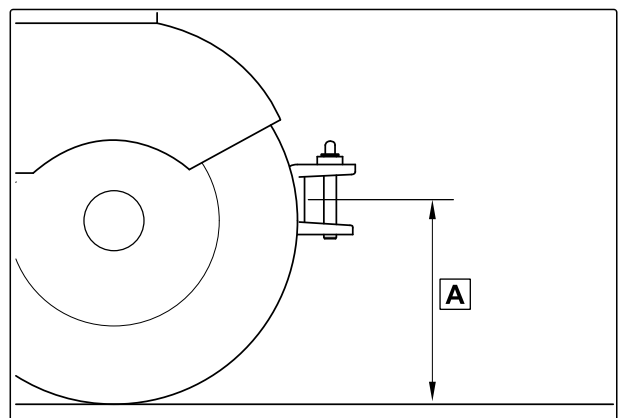
16. 必要な傾きを達成できない場合：
ルネットアイを、 180° 回転して取り付けます。

- ➡ そうすると、穴 **4** が下を向きます。

17. ねじを、210 Nm で締めます。

6.4.2 下部牽引バーを調整する

1. トラクターと機械を平らな場所に置きます。
2. トラクターで、スイングドローバーの中心から地面までの寸法 **A** を測定します。

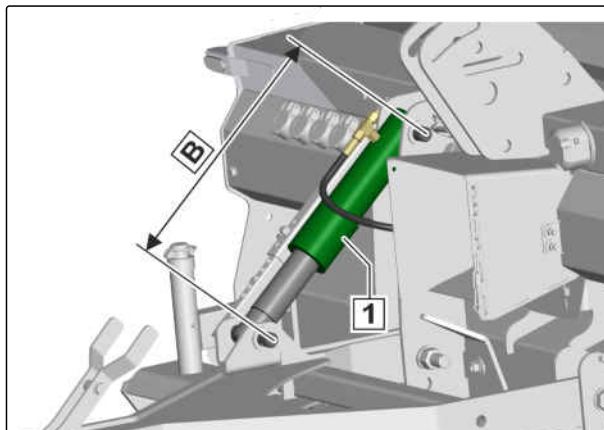


CMS-I-00003328

6 | 機械の準備 プロペラシャフトの準備

- 油圧シリンダー **1** を半分伸ばした状態で、牽引バーの寸法を測定します。

➡ 油圧シリンダーを半分伸ばした状態での間隔 **B** は、約 430 mm です。



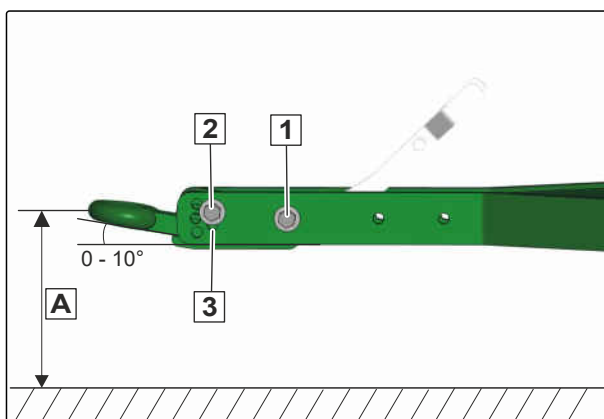
CMS-I-00004108

- 牽引バーの寸法 **A** を測定します。寸法を、トラクターの寸法と比較します。

- 牽引バーの高さを調整する必要がある場合：ねじ **1** を緩めます。

- ねじ **2** を外します。

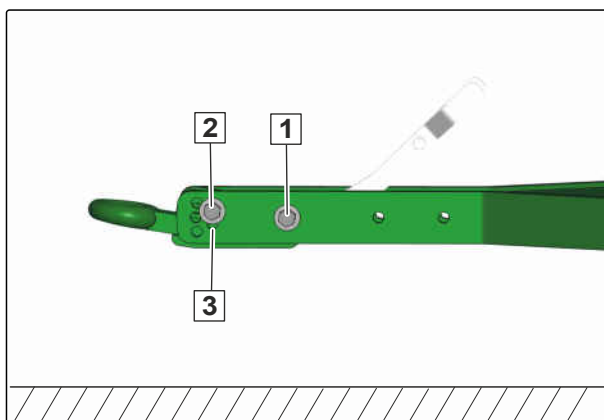
- ルネットアイをトラクターの測定寸法 **A** に合わせ、穴 **3** によって 0 ~ 10° 上向きになるように調整します。



CMS-I-00003699

- 牽引バーを、ねじ **2** で、穴 **3** の 1 つに固定します。

- ねじ **1** と **2** を 210 Nm で締めます。



CMS-I-00003722

6 プロペラシャフトの準備

CMS-T-00015288-A.1



工場での作業

- プロペラシャフトの長さを調整します。
- プロペラシャフトを取り付けます。

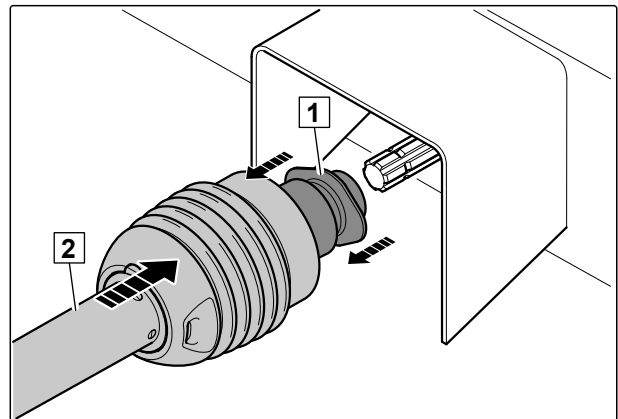
6.5 プロペラシャフトの機械への取り付け

CMS-T-00001665-B.1

注記

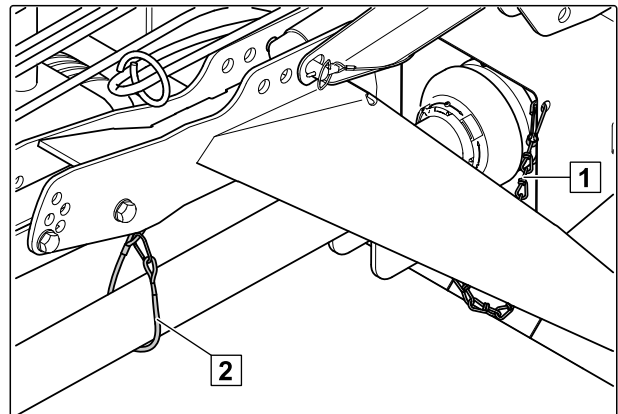
プロペラシャフトのトラクター記号は、トラクター側の接続を示します。

1. 機械のドライブシャフトをクリーニングして、グリースを塗ります。
2. プロペラシャフト保護パーツが機能することを確認します。
3. プロペラシャフトの取扱説明書に従います。
4. プルスリーブ **1** を引き戻します。
5. カチッと音を立てて嵌まるまで、プロペラシャフト **2** をドライブシャフトに押し込みます。



CMS-I-00001041

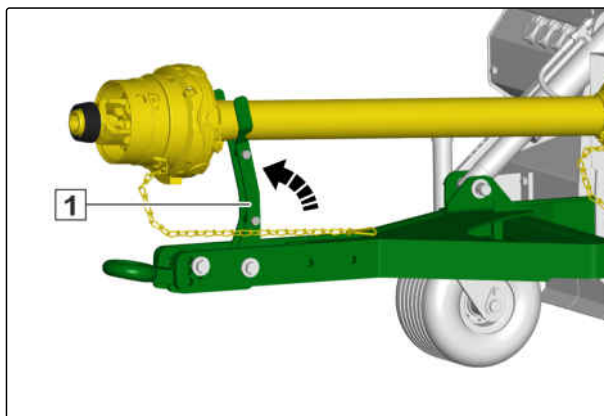
6. 保持ロープ **2** を用いて、プロペラシャフトをパーキング位置にセットします。
7. 固定チェーン **1** を、機械に取り付けます。



CMS-I-00001042

下部牽引バーを備える機械の場合：

8. プロペラシャフトを持ち上げて、保持します。
 9. サポート **1** を上に起こします。
 10. プロペラシャフトをサポートに載せます。
- ➡ プロペラシャフトは、パーキング位置にあります。



CMS-I-00003701

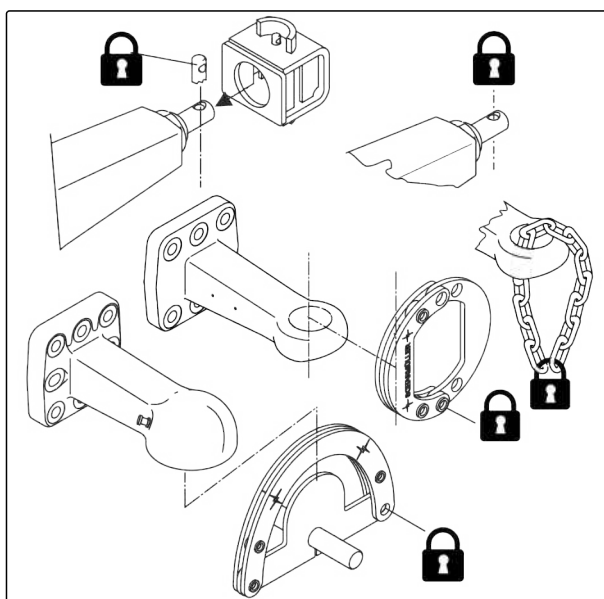
6.6 機械の連結

CMS-T-00001700-E.1

6.6.1 不正使用に対する保護を取り外す

CMS-T-00005089-B.1

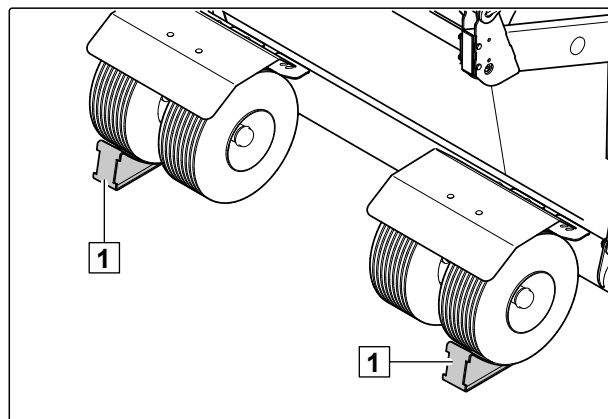
1. 南京錠を外します。
2. 不正使用に対する保護を、牽引装置から取り外します。



CMS-I-00003534

6.6.2 トラクターを機械に近づける

1. 2つの輪止め **1** を用いて、機械の外側後輪を固定します。

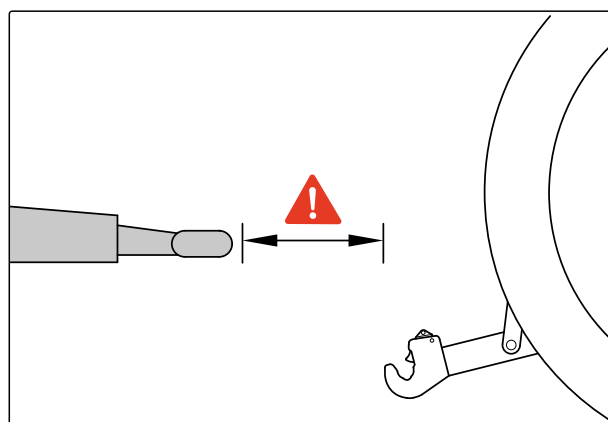


CMS-T-00005824-A.1

CMS-I-00001046

供給ラインを問題なく接続できるように、トラクターと機械の間に十分なスペースを確保する必要があります。

2. 十分な距離を確保できる位置まで、トラクターを機械に近づけます。
3. トラクターを固定します。イグニッションキーを抜きます。

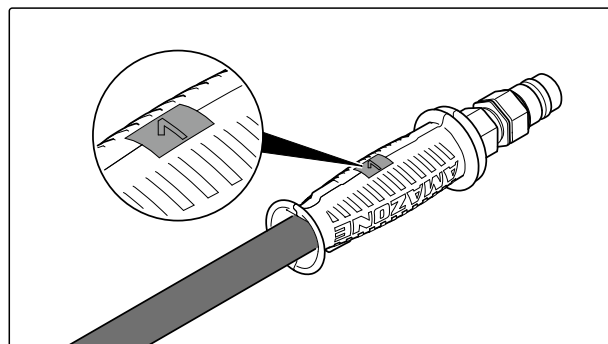


CMS-I-00004119

6.6.3 標準油圧系統の油圧ホースラインを連結する

すべての油圧ホースラインは、グリップを備えています。グリップのカラーマークには、数字または文字が記載されています。このマークには、トラクター制御装置の圧力ラインの各油圧機能が割り当てられています。このマークについて、機械には該当する油圧機能を識別するためのフォイルが貼り付けられています。

油圧機能に応じて、トラクター制御装置は様々な操作モードで使います：



CMS-T-00001694-C.1

CMS-I-00000121

操作モード	機能	記号
ラッチ式	恒常的な油圧油循環	
ばね復帰式	アクションが実行されるまでの油圧油フロー	
フロート式	トラクター制御装置内の自由な油圧油フロー	

マーク		機能		トラクター制御装置	
緑色		機械後部	上げる 下げる	単動式	
黄色		集草タンク	空にするために 傾ける	複動式	
			閉じる		
ナチュラル色		牽引バーを介して機械を 草刈機	上げる 下げる	単動式	



警告

最悪の場合死に至る、負傷の危険

油圧ホースラインを正しく接続しないと、油圧機能にエラーが生じる可能性があります。

- ▶ 油圧ホースラインを連結する際には、油圧プラグの色付きマークに注意してください。



重要

熱すぎる油圧オイルによる機械損傷

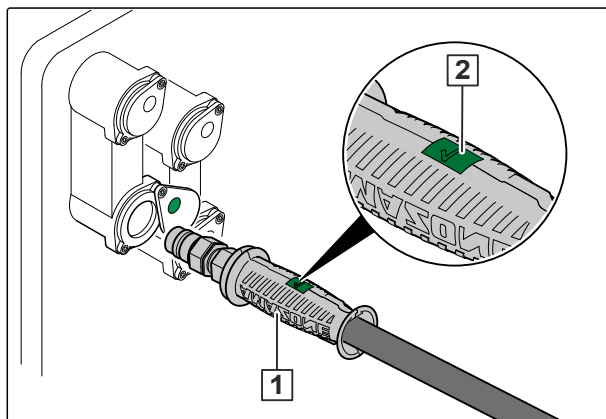
小型オイルタンクと接続して大きな流量を供給すると、油圧オイルの温度上昇が速まります。

- ▶ オイルタンクの容量は、流量の2倍以上なければなりません。
- ▶ 温度が高くなりすぎる場合、専門工場でオイルクーラーを取り付ける必要があります。

1. トラクターと機械の間の油圧系統を、トラクター制御装置で無圧にします。
2. 油圧プラグを清掃します。

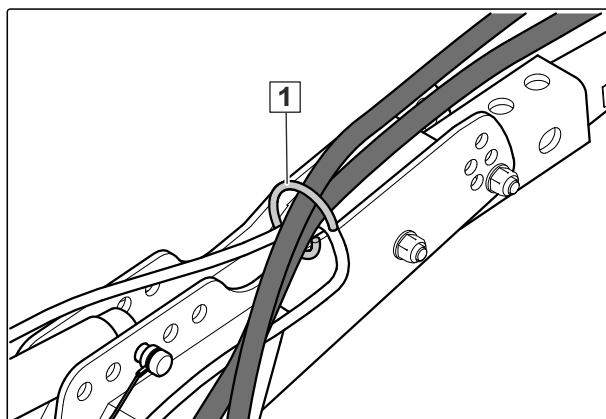
3. 油圧ホースライン **1** を、マーク **2** に従って、トラクターの油圧ソケットと連結します。

➡ 油圧プラグがカチッという音とともにロックされます。



CMS-I-00001045

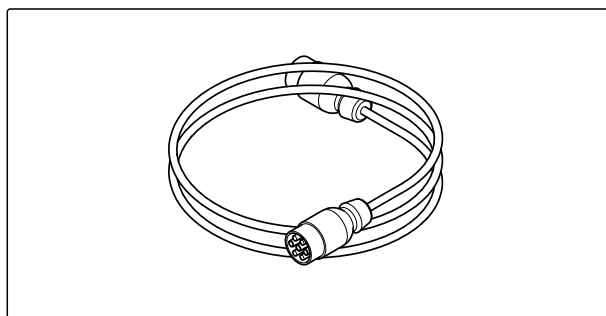
4. 機械が上部牽引バーを備えている場合：油圧ホースラインをガイド **1** に通します。
5. 動きの自由度が十分にあって、擦れる箇所が生じないように、油圧ホースラインを敷設します。



CMS-I-00001063

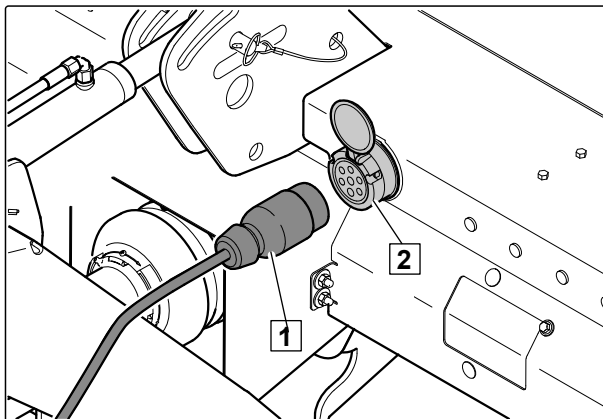
6.6.4 照明の電圧供給を連結する

1. 接続には付属の 7 極ケーブルのみを使用します。



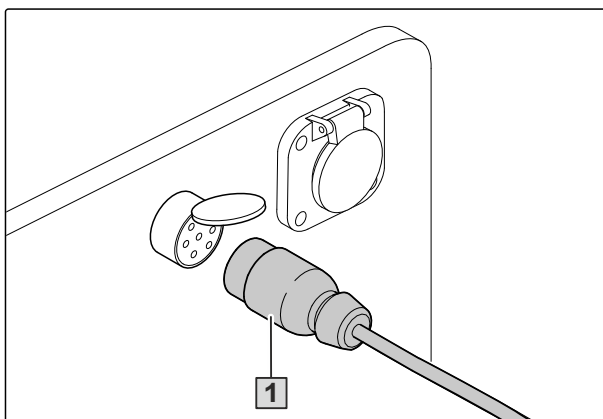
CMS-I-00001061

2. プラグ **1** を、機械のソケット **2** に差し込みます。



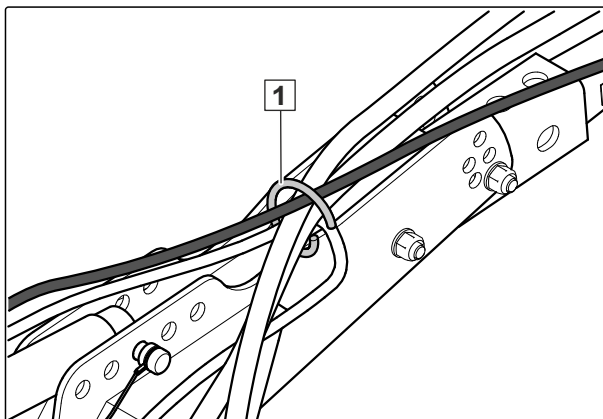
CMS-I-00001060

3. 電圧供給用プラグ **1** を、トラクターに差し込みます。



CMS-I-00001048

4. 機械が上部牽引バーを備えている場合 :
ケーブルをガイド **1** に通します。
5. ケーブルは、動く余裕が十分にあって、摩擦箇所が生じないように配置します。
6. 機械の照明装置の機能を点検します。



CMS-I-00001059

6.6.5 電気油圧制御を連結する

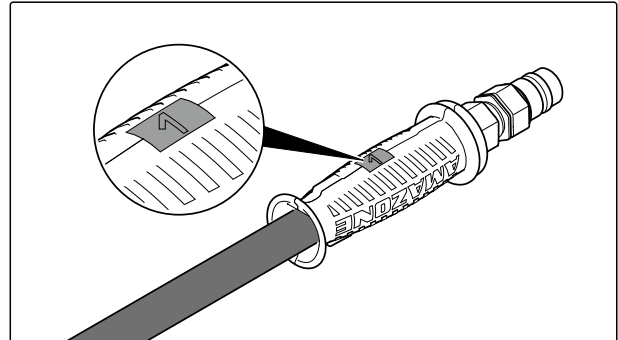
CMS-T-00001710-B.1

6.6.5.1 油圧ホースラインの連結

CMS-T-00001740-B.1

すべての油圧ホースラインは、グリップを備えています。グリップのカラーマークには、数字または文字が記載されています。このマークには、トラクター制御装置の圧カラインの各油圧機能が割り当てられています。このマークについて、機械には該当する油圧機能を識別するためのフォイルが貼り付けられています。

油圧機能に応じて、トラクター制御装置は様々な操作モードで使用します：



CMS-I-00000121

操作モード	機能	記号
ラッチ式	恒常的な油圧油循環	
ばね復帰式	アクションが実行されるまでの油圧油フロー	
フロート式	トラクター制御装置内の自由な油圧油フロー	

マーク		機能	トラクター制御装置	
赤色		油圧オイル 順流	恒常的な油圧油循環	
赤色		無圧の油圧オイルリターン流	オイルタンク	



警告

最悪の場合死に至る、負傷の危険

油圧ホースラインを正しく接続しないと、油圧機能にエラーが生じる可能性があります。

- ▶ 油圧ホースラインを連結する際には、油圧プラグの色付きマークに注意してください。



重要

不十分な油圧油逆流による機械破損

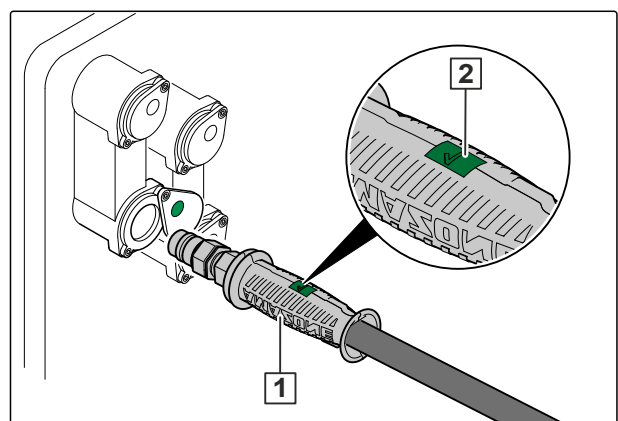
- ▶ 無圧の油圧油逆流には、DN16 以上のサイズのラインのみを使用してください。
- ▶ 逆流ラインは短いものを選択してください。
- ▶ 無圧の油圧油逆流を、所定のカップリングに連結してください。
- ▶ **機械の装備に応じて：**
漏出油ラインを、所定のカップリングに連結してください。
- ▶ 一緒に納品されたカップリングスリーブを、無圧の油圧油逆流に取り付けてください。

1. トラクターと機械の間の油圧系統を、トラクター制御装置で無圧にします。
2. カップリングスリーブ **1** を、トラクターの無圧オイルリターン流に取り付けます。



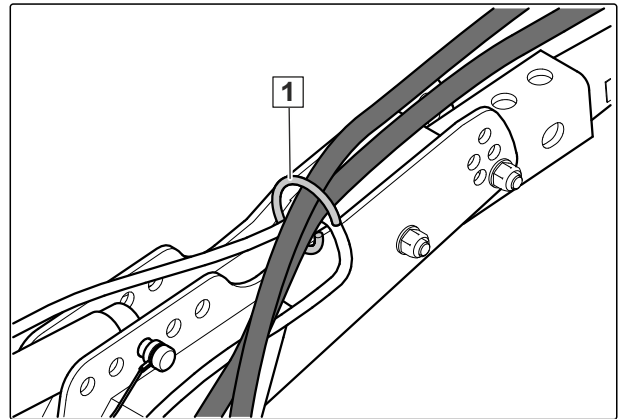
CMS-I-00003358

3. 油圧プラグを清掃します。
 4. 油圧ホースライン **1** を、マーク **2** に従って、トラクターの油圧ソケットと連結します。
- ➡ 油圧プラグがカチッという音とともにロックされます。



CMS-I-00001045

5. 機械が上部牽引バーを備えている場合：
油圧ホースラインをガイド **1** に通します。
6. 油圧ラインは、動く余裕が十分にあって、摩擦箇所が生じないように配置します。

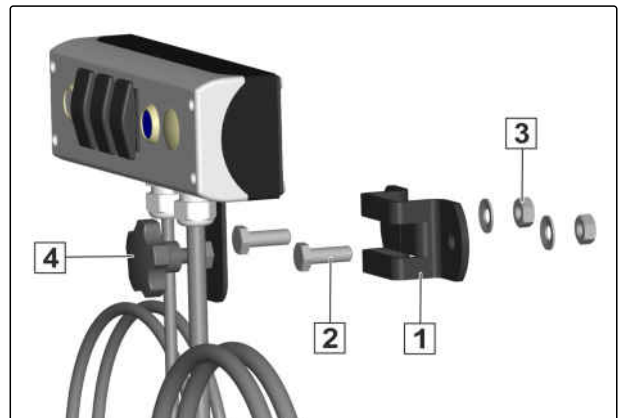


CMS-I-00001063

6.6.5.2 リモコンを連結する

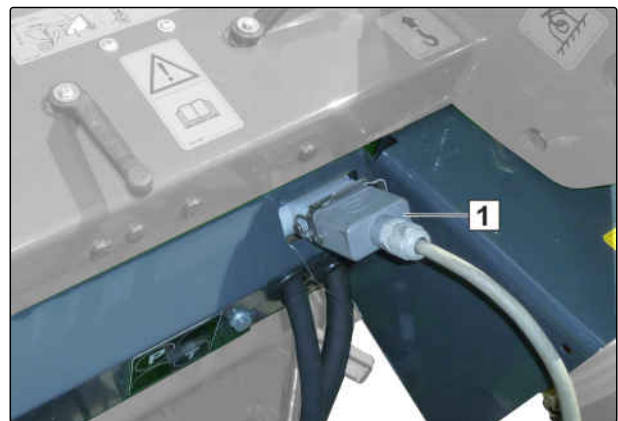
CMS-T-00004724-B.1

1. ねじ **2** とワッシャー、ナット **3** を用いて、トラクターのキャビンに、ホルダー **1** を取り付けます。
2. リモコンをホルダーに挿入します。
3. リモコンを、ねじ **4** で固定します。



CMS-I-00003360

4. プラグ **1** を、機械に差し込みます。



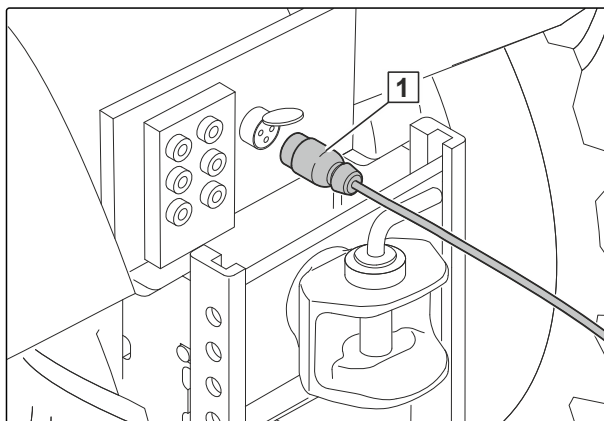
CMS-I-00003359



注記

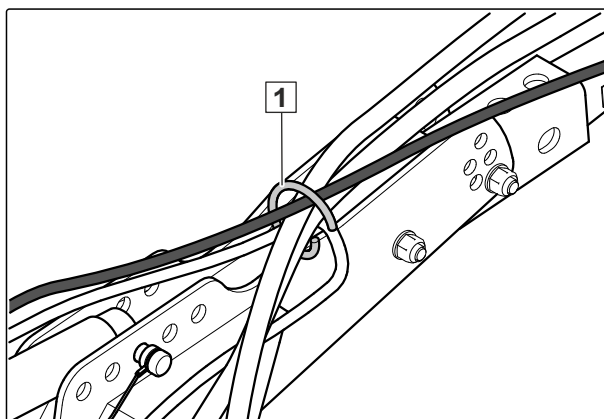
電圧供給用の 3 極ソケットがトラクターにない場合は、ソケット付きの追加ケーブルを AMAZONE から購入できます。

5. 電圧供給用の 3 極プラグ **1** を、トラクターに差し込みます。



CMS-I-00003724

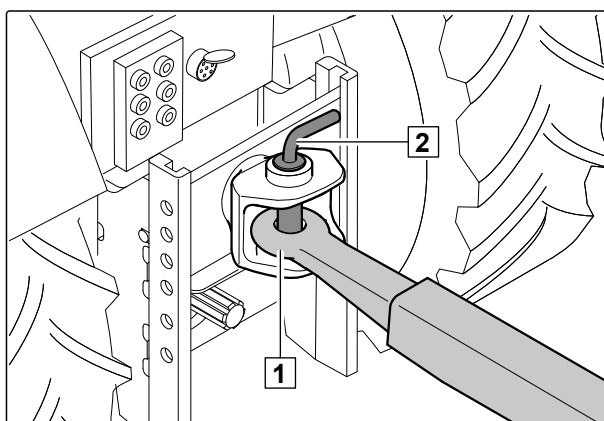
6. 機械が上部牽引バーを備えている場合：両方のケーブルを、ガイド **1** に通します。
7. ケーブルは、動く余裕が十分にあって、摩擦箇所が生じないように配置します。



CMS-I-00001059

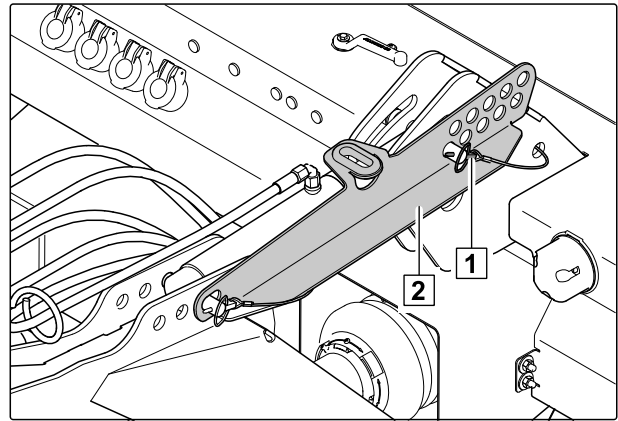
6.6.6 機械を上部牽引バーと連結する

1. トラクターのカップリングボルトを引きます。
2. トラクターを機械に近づけます。
3. 機械のルネットアイ **1** を、カップリングボルト **2** で、ストレートドローバーに固定します。



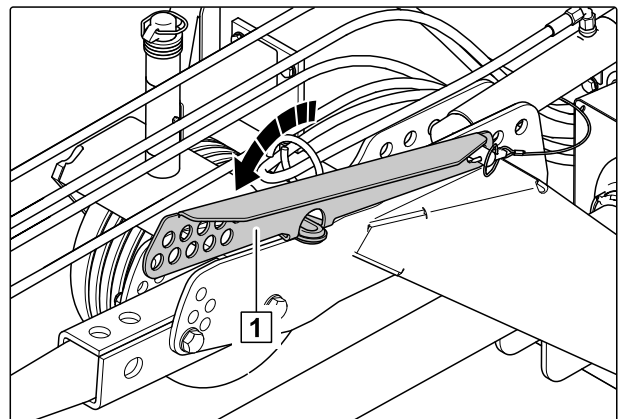
CMS-I-00001047

4. リンチピン **1** を抜き取ります。
5. 安全バー **2** を、横方向にピンから引き抜きます。
6. ピンにリンチピンを差し込んで、固定します。



CMS-I-00001062

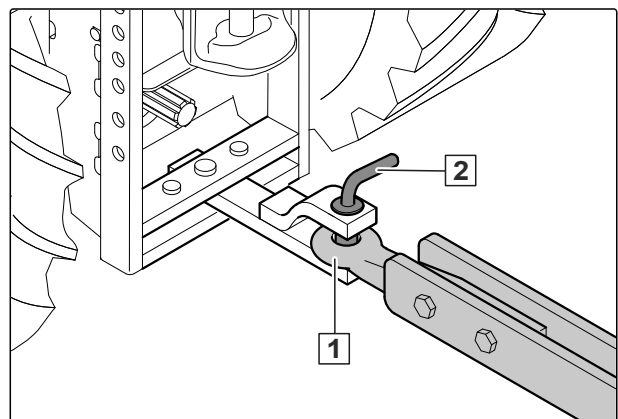
7. 安全バー **1** を、前方に完全に倒します。
- ➡ 安全バーは、牽引バーの上に接していなければなりません。
 - ➡ 油圧シリンダーが、牽引バーをフロート位置に維持できるようになりました。



CMS-I-00001067

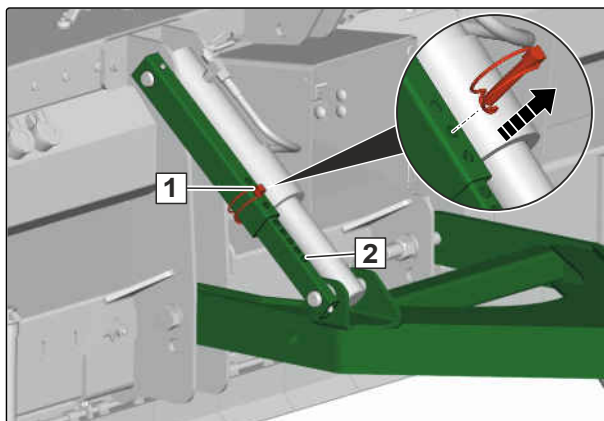
6.6.7 機械を下部牽引バーと連結する

1. トラクターのカップリングボルトを引きます。
2. トラクターを機械に近づけます。
3. 機械のルネットアイ **1** を、カップリングボルト **2** でスイングドローパーに固定します。



CMS-I-00004123

4. リンチピン **1** を抜きます。
 5. リンチピンを、インナーパイプの下位置 **2** に挿入して、固定します。
- ➡ 油圧シリンダーが、牽引バーをフロート位置に維持できるようになりました。



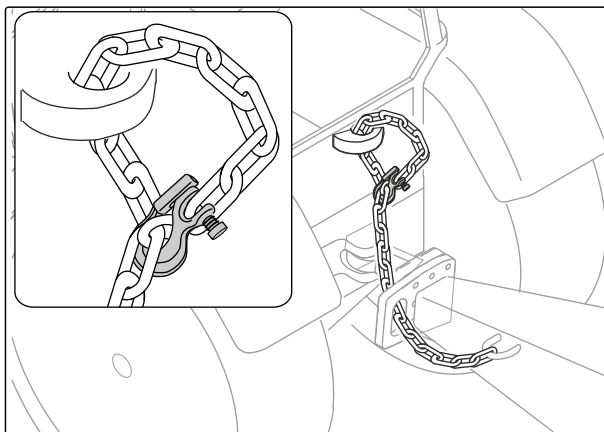
CMS-I-00003700

6.6.8 安全チェーンを固定する

CMS-T-00004293-D.1

当該国の規則によっては、機械に安全チェーンが装備されています。

- ▶ 安全チェーンを、トラクターに適切に取り付けます。

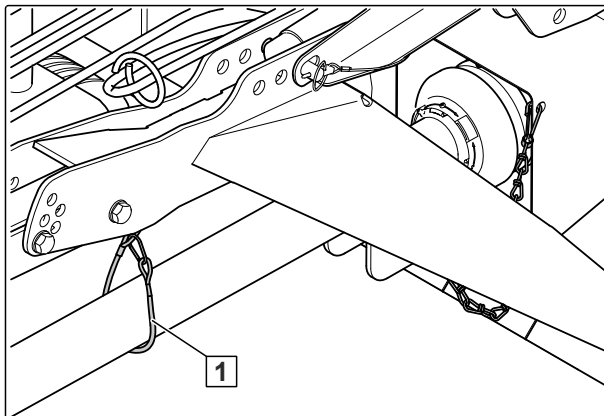


CMS-I-00007814

6.6.9 プロペラシャフトの連結

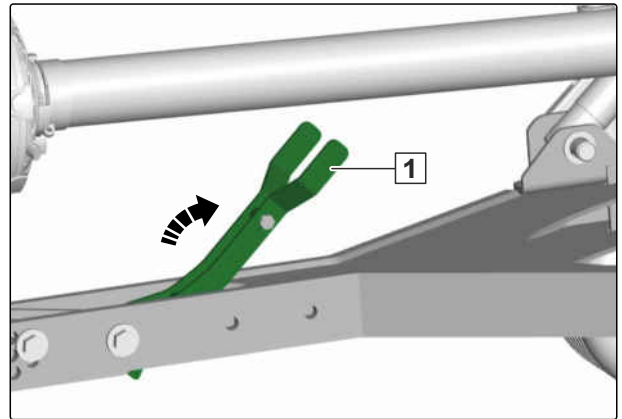
CMS-T-00001715-C.1

1. 機械が上部牽引バーを備えている場合：プロペラシャフトを持ち上げて、保持します。
2. プロペラシャフトの保持ロープ **1** を取り外します。
3. 保持ケーブルを、牽引バーにしっかりと固定します。



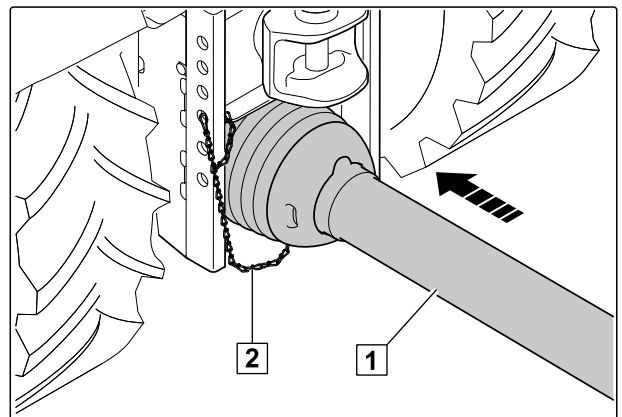
CMS-I-00003736

4. 機械が下部牽引バーを備えている場合：
プロペラシャフトを持ち上げて、保持します。
5. サポート **1** を後ろに倒します。



CMS-I-00003702

6. プロペラシャフト **1** をトラクター PTO に押し込みます。
7. カチッと音を立ててロックがかかるまで押します。
8. 安全チェーン **2** をトラクターに取り付けます。



CMS-I-00001070

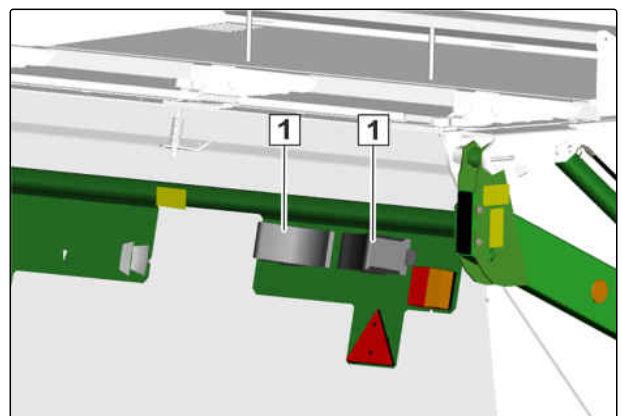
6.6.10 輪止めを取り外す

CMS-T-00001696-A.1

注記

常に輪止めを携行します。

1. ホイールから輪止めを外します。
2. カチッと音を立てて嵌まるまで、輪止め **1** をホルダーに押し込みます。



CMS-I-00001064

6.7 集草タンクの下降時間を点検および設定する

CMS-T-00015490-A.1

6.7.1 下降時間をチェックする

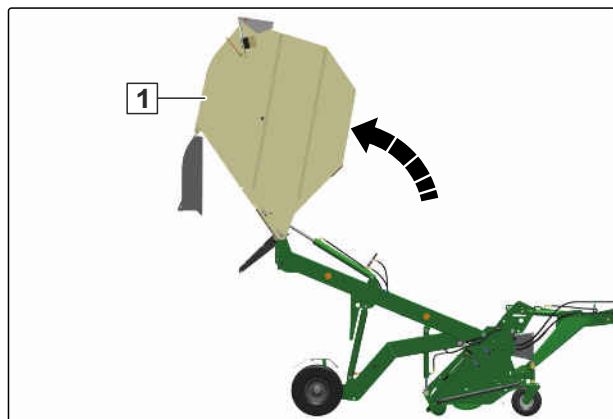
CMS-T-00004831-D.1



注記

集草タンクの下降時間は、工場出荷時に、トラクターポンプ出力 16 l/min で 10 秒に設定されています。

1. 機械を連結します。
2. トラクターと機械を、平坦な場所に置きます。
3. トラクターと機械が動き出さないように、輪止めで固定します。
4. トラクターを動作温度にします。
5. 集草タンク **1** を、地面近くでの排出の終了位置に達するまで上げます。



CMS-I-00004266

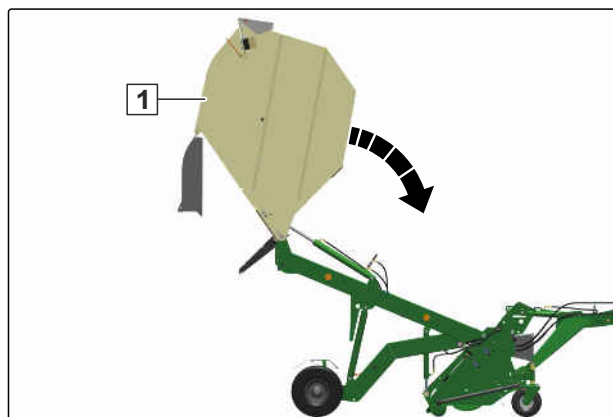


重要

集草タンクを速く下げすぎることによる機械の損傷

速く下げすぎると、集草タンクが損傷する可能性があります。

- ▶ トラクターのポンプ性能に合わせて、下降時間を設定してください。
- ▶ トラクターを変更する際は、下降時間をチェックしてください。



CMS-I-00004265

6. 集草タンク **1** を下げて、下降時間をチェックします。

➡ 下降時間は、少なくとも 10 秒なければなりません。

7. 必要に応じて、下降時間を設定します、以下のページを参照 69。

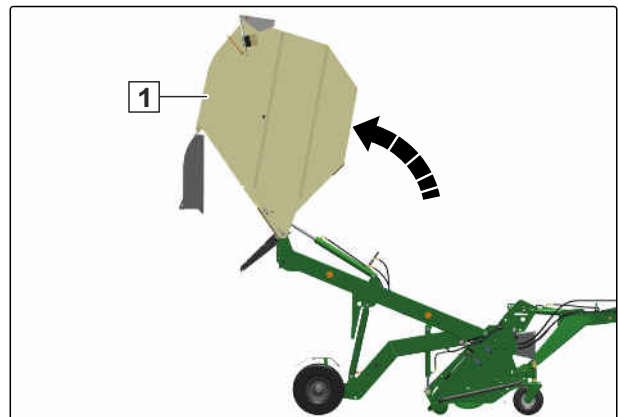
6.7.2 下降時間を設定する

CMS-T-00005908-C.1

注記

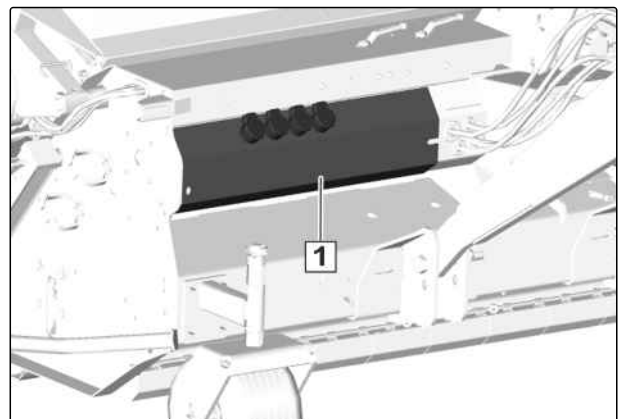
設定は、温かい油圧オイルを用いて行う必要があります。

1. 機械を連結します。
2. トラクターと機械を、平坦な場所に置きます。
3. トラクターと機械が動き出さないように、輪止めで固定します。
4. トラクターを動作温度にします。
5. 集草タンク **1** を、地面近くでの排出の終了位置に達するまで上げます。



CMS-I-00004266

6. カバー **1** を取り外します。



CMS-I-00003421

6 | 機械の準備

集草タンクの下降時間を点検および設定する

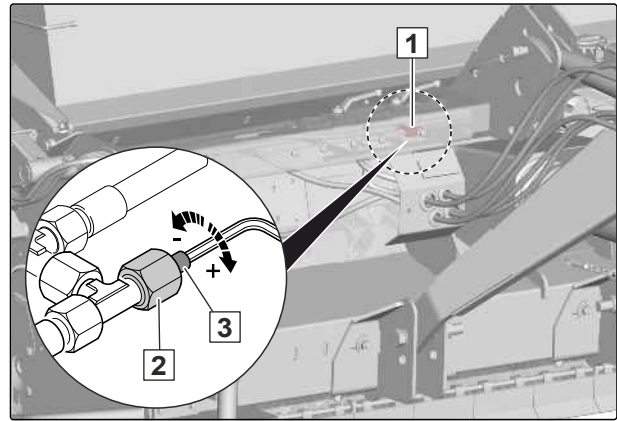
下降スロットル **1** の設定を行います。

7. ユニオンナット **2** を緩めます。

8. 下降時間を短くするには：
設定ねじ **3** を、時計回りに回します。

または

下降時間を長くするには：
設定ねじ **3** を、反時計回りに回します。



CMS-I-00003420

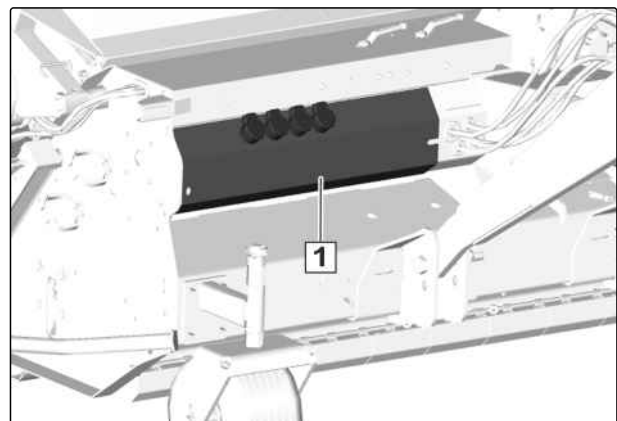
9. 集草タンクを下げて、下降時間をチェックします。

➡ 下降時間は、少なくとも 10 秒なければなりません。

10. 必要に応じて、下降時間を改めて設定し、チェックします。

11. ユニオンナットを締めます。

12. カバー **1** を取り付けます。



CMS-I-00003421

6.8 機械の使用準備

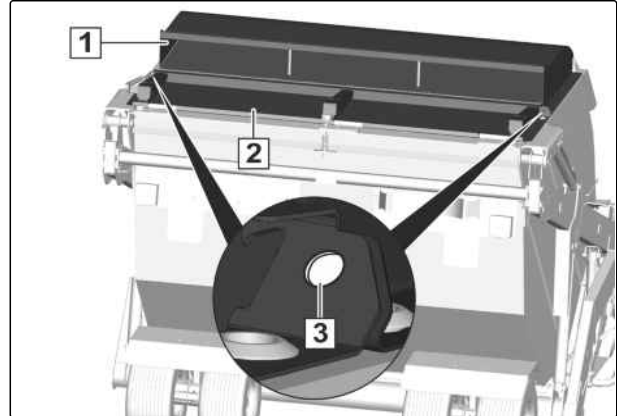
CMS-T-00015491-A.1

6.8.1 走行安全用留め具を、カバーフラップとハスプフラップから取り外す

CMS-T-00005212-A.1

走行安全用留め具は、牽引輸送する際に、ハスプフラップが意図せず開くのを防ぎます。

1. 走行安全用留め具が、カバーフラップ **1** とハスプフラップ **2** の穴 **3** にあるか点検します。
2. 走行安全用留め具を取り外します。



CMS-I-00003741

6.8.2 タイヤ空気圧の点検

CMS-T-00002541-E.1



注記

必要なタイヤ空気圧は、技術データに記載されています。タイヤ空気圧が異なると、運転動作に悪影響を及ぼします。

1. 6本のタイヤすべてのタイヤ空気圧を点検します。
2. 必要に応じて、タイヤ空気圧を修正します。

6.8.3 ブレードとブレードホルダーを点検する

CMS-T-00005190-B.1



警告

トレーリングローター

引き込まれる危険と切り傷を負う危険

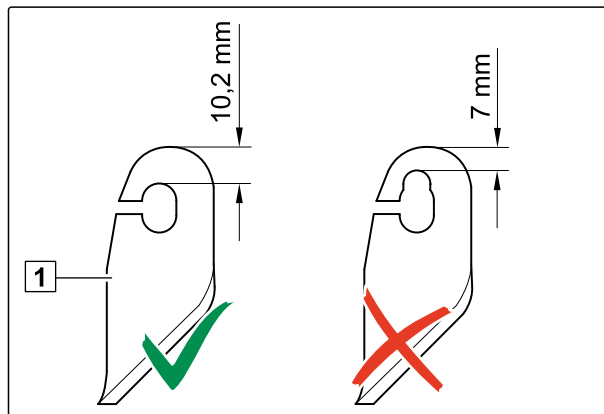
- ▶ ローターと切削工具が動いている間は、ローター保護カバーを閉めたままにしてください。



必要条件

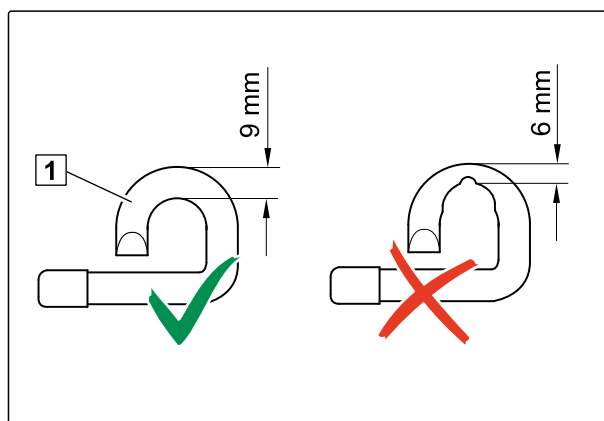
☑ PTO ドライブが OFF になっています。

1. ブレード交換時と同様に、ローター保護カバーを開けます、以下のページを参照 76。
2. ブレード **1** の摩耗を点検します。
3. 吊り下げ部分の摩耗寸法が 7 mm 未満の場合：
ブレードを交換します。



CMS-I-00002442

4. ブレードホルダー **1** の摩耗を点検します。
5. 吊り下げ部分の摩耗寸法が 6 mm 未満の場合：
ブレードホルダーを交換します。
6. ブレードホルダーのねじ接続がしっかりしているか点検します。
7. ブレード交換時と同様に、ローター保護カバーを閉めます、以下のページを参照 76。



CMS-I-00002443

6.8.4 ブレードを選択する

CMS-T-00015492-A.1

使用範囲に応じて、ローターに適切なブレードが装備されていなければなりません。次の表は、どの装備によって、非常に良好な作業結果が達成されるかを示しています。

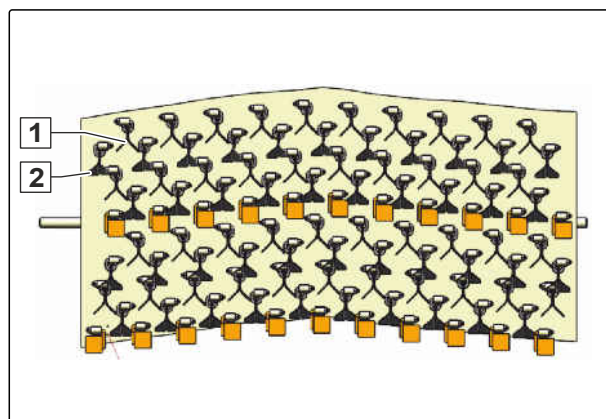
図は、草刈りブレード **1** とウィングブレード H77 **2** が付いた標準装備です。

用途		100% 草刈り ブレードリバー シブル	50% 草刈りブ レードリバー シブル + 50% ウィング ブレードロン グ H77 表面 加工	100% ウィン グブレードロ ング H77 表 面加工	100% ウィン グブレードエ クストラロン グ H88 表面 加工	100% スカリ ファイブレード
						
花草原および 有機草原の草 刈り	乾燥した状態					
	湿った状態					
芝刈り、公園 整備	乾燥した状態					
	湿った状態					
ゴルフ場や芝 生、競技場の 手入れ	乾燥した状態					
	湿った状態					
刈り込みと芝 生の手入れ						
パドックの手 入れ						
落ち葉拾い	乾燥した状態					
	湿った状態					
1 工程でスカ リファイと収 集を行う						
ゴルフ場や運 動場、芝地の スカリファイ						

用途		100% 草刈 リブレード & スカリフ アイブレード 組み合わせ	50% 草刈リ ブレード & スカリファイ ブレード 組み合わせ + 50% ウィン グブレード ロング H77 表面加工 & スカリファイ ブレード 組み合わせ	100% ウィ ングブレード H60 表面 加工 & ス カリファイ ブレード 組 み合わせ	100% ウィ ングブレード ロング H77 表面加 工 & スカ リファイブ レード 組み 合わせ	使用範囲に応じての、ウィ ングブレードまたは草刈 リブレードと組み合わせ た、スカリファイブレード の厚さの選択	
						スカリファイ ブレード 2 mm	スカリファイ ブレード 3 mm
							
花草原およ び有機草原 の草刈り	乾燥した状 態						✓
	湿った状態						✓
芝刈り、公 園整備	乾燥した状 態						✓
	湿った状態						✓
ゴルフ場や 芝生、競技 場の手入れ	乾燥した状 態					✓	
	湿った状態					✓	
刈り込みと 芝生の手入 れ						✓	
パドックの 手入れ							✓
落ち葉拾い	乾燥した状 態						✓
	湿った状態						✓
1 工程でス カリファイ と収集を行 う							✓
ゴルフ場や 運動場、芝 地のスカリ ファイ						✓	

用途	100% 草刈りブレード & スカリファイブレード 組み合わせ	50% 草刈りブレード & スカリファイブレード 組み合わせ + 50% ウィングブレード ロング H77 表面加工 & スカリファイブレード 組み合わせ	100% ウィングブレード H60 表面加工 & スカリファイブレード 組み合わせ	100% ウィングブレード ロング H77 表面加工 & スカリファイブレード 組み合わせ	使用範囲に応じたの、ウィングブレードまたは草刈りブレードと組み合わせた、スカリファイブレードの厚さの選択	
					スカリファイブレード 2 mm	スカリファイブレード 3 mm
	●●● = 非常に良い結果 ●● = 良い結果					

- ▶ 使用目的に応じたブレードを、ローターに装備します。



CMS-I-00003725

6.8.5 スカリファイ用のブレード装備を選択する

CMS-T-00005200-C.1



重要

各種スカリファイブレードによる機械の損傷

ローターのアンバランス

- ▶ ローターには、1 種類のスカリファイブレードのみを装着してください。
- ▶ 使用範囲に応じて、適切なブレードの組み合わせと配置に注意してください。

スカリファイは、広スカリファイと狭スカリファイに区別されます。

- 広スカリファイ、ブレード間隔 51 mm。
- 狭スカリファイ、ブレード間隔 17 mm。

1. 広スカリファイ：

スカリファイブレード **1** を、51 mm 間隔で取り付けます、以下のページを参照 76。

➡ これにより、草土を傷つけすぎずに、深い作業が可能になります。

2. 装着する際には、1 列目のマーク **2** に注意します。

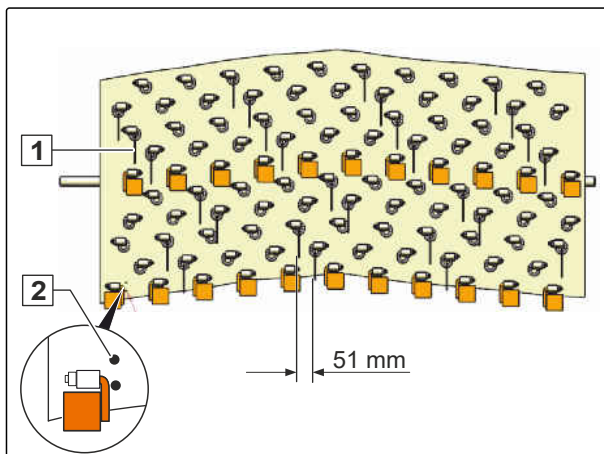
広スカリファイのサンプル図：

- GHS 1500 **1**
 - GHS 1800 **2**
 - GHS 2100 **3**
3. 幅 3 mm または 2 mm のスカリファイブレードの取り付けを行います、以下のページを参照 76。
4. 狭スカリファイ：
ローターのすべてのフックねじに、スカリファイブレードを取り付けます。

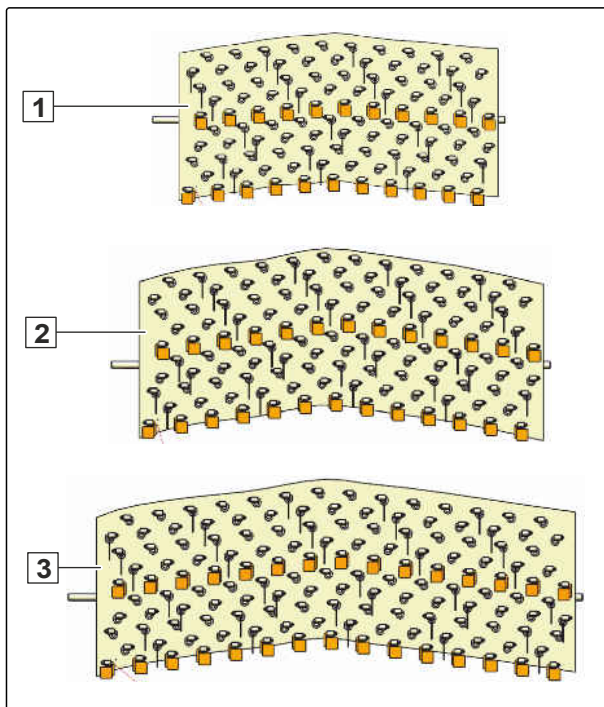


注記

狭スカリファイは、比較的強力で、春季にコケの繁茂した芝生を再生させるのに適しています。



CMS-I-00003727



CMS-I-00003726

6.8.6 ブレードを変更または交換する

CMS-T-00004716-B.1



警告

集草タンクを上げると、転倒の危険があります

- ▶ 集草タンクは、固くて平らな場所でのみ上げてください。
- ▶ 決して傾斜地や傾いた状態で、集草タンクを上げないでください。



必要条件

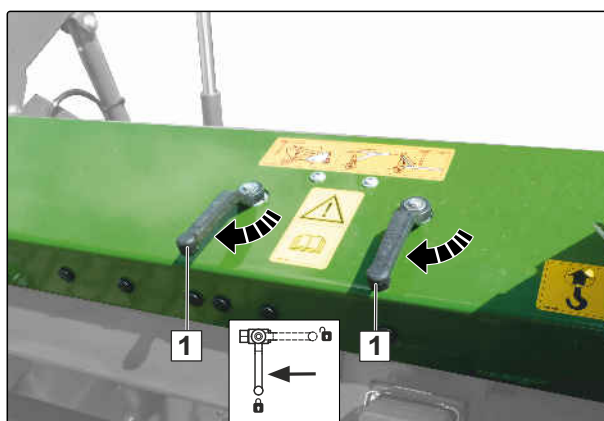
☑ PTO ドライブが OFF になっています。

1. 集草タンク **1** を完全に空にします。
2. 集草タンクを、ハイリフト排出の終了位置まで上げて、空にします。



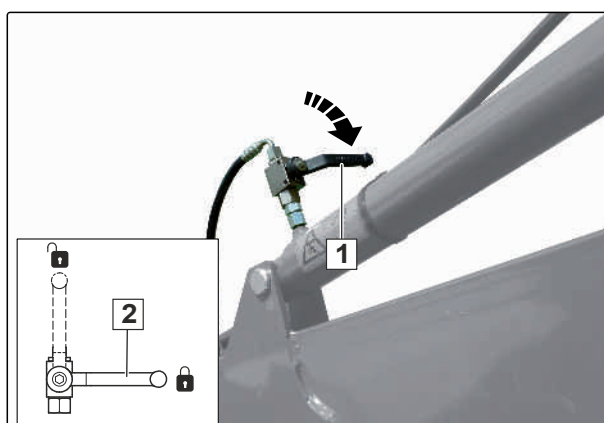
CMS-I-00003341

3. 油圧バルブ **1** を閉じます。



CMS-I-00003356

4. 集草タンクが無制御に下降しないように固定するには：
油圧バルブ **1** を **2** 位置に回します。



CMS-I-00003343

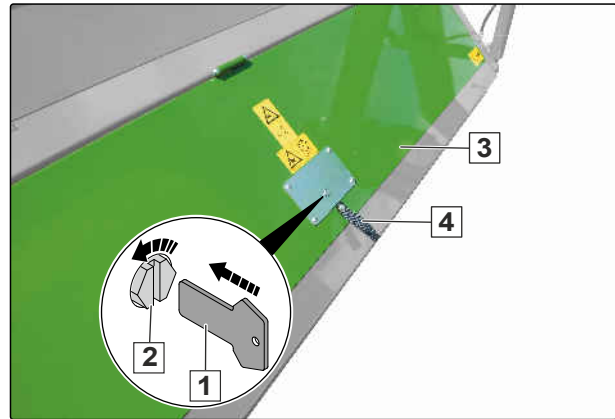


警告

トレーリングローター

引き込まれる危険と切り傷を負う危険

- ▶ ローターと切削工具が動いている間は、ローター保護カバーを閉めたままにしてください。



CMS-I-00003344

5. 専用キー **1** またはマイナスドライバーを用いて、ロック **2** を左に回します。
- ➔ ローター保護カバー **3** のロックが解除されました。
6. ローター保護カバーを、保持タブ **4** のところで、完全に上に起こします。

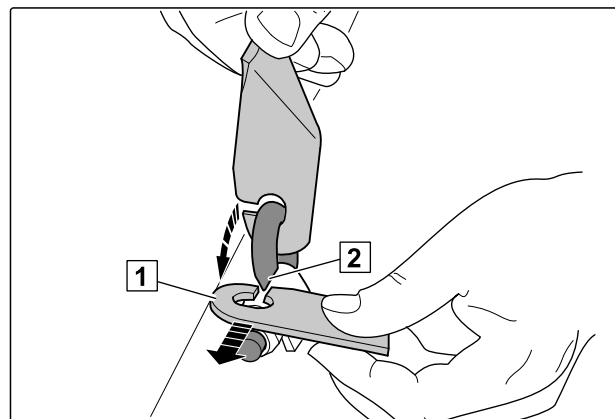


重要

不適切なブレードの装着またはブレードの不適切な装着による機械の損傷

ローターのアンバランスと機械の振動

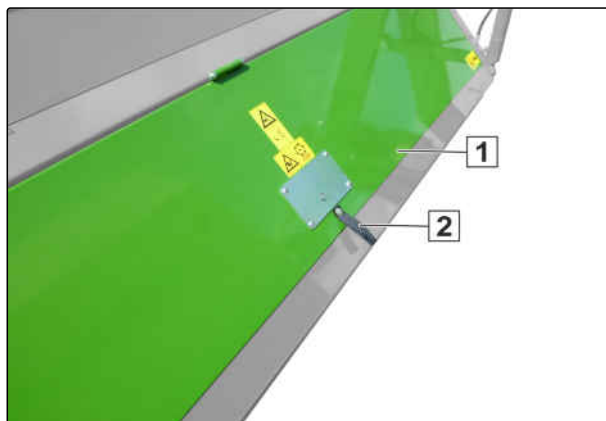
- ▶ 使用範囲に応じたブレードを選んでください。
- ▶ ローターには、必ず指定された数のブレードを装着してください。
- ▶ ブレードを、正しい位置に取り付けてください。
- ▶ 摩耗限界に注意してください。
- ▶ 磨耗したブレードは、交換してください。



CMS-I-00002324

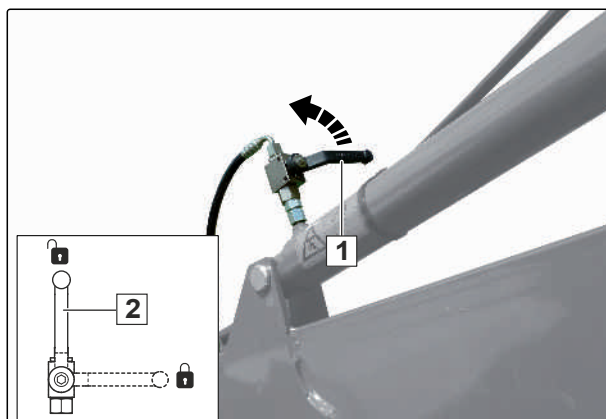
7. ブレード **1** を、ホルダーの尖った部分 **2** に向かって旋回します。
8. ブレードを 90 度回転させ、開いている側で、尖った部分を取り外します。
9. 別のブレードまたは新しいブレードを、開いている側で、尖った部分に挿入し、ブレードをホルダー上に旋回します。

10. ローター保護カバー **1** の保持タブ **2** を掴んで閉じます。
11. ローター保護カバーをロックに押し込みます。
➡ 音を立てて、ロックがかかります。
12. ローター保護カバーが確実にロックされているか点検します。



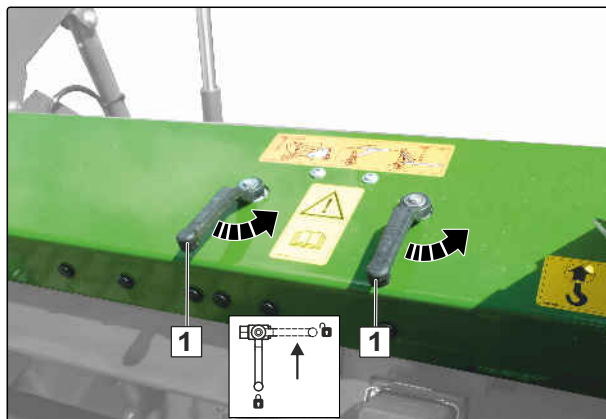
CMS-I-00003345

13. 集草タンクのロックを解除するには：
油圧バルブ **1** を **2** 位置に回します。



CMS-I-00003342

14. 油圧バルブ **1** を開きます。
15. トラクターを始動します。
16. 集草タンクを完全に下げます。



CMS-I-00003728

6.8.7 刈高さを設定する

CMS-T-00004721-B.1



必要条件

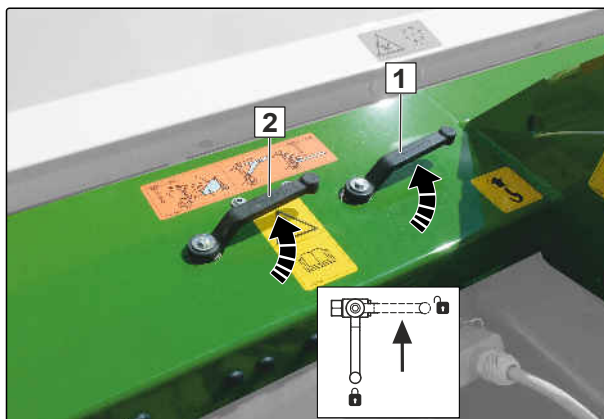
- ☑ PTO ドライブが OFF になっています。

1. 牽引バー **1** の油圧バルブを開きます。
2. 草刈機 **2** の油圧バルブを開きます。



注記

牽引バーの油圧シリンダーと草刈機の油圧シリンダーは、並列に接続されています。両方の油圧バルブが開くと、牽引バーと草刈機の油圧シリンダーが同時に作動します。



CMS-I-00003367

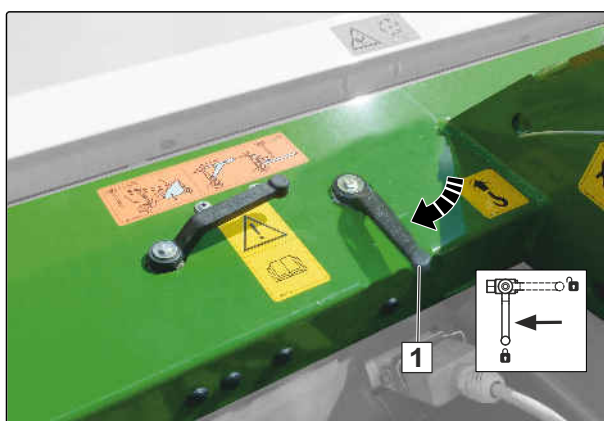
3. 牽引バー **1** を用いて、機械を持ち上げます。

➡ 草刈機も同時に上昇します。



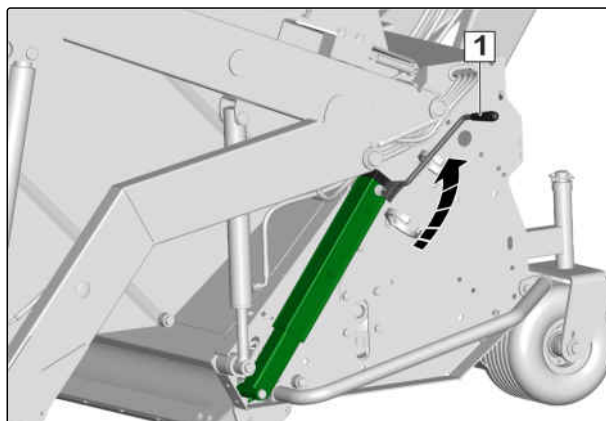
CMS-I-00003353

4. 牽引バーの油圧バルブを閉じます。



CMS-I-00004243

5. クランク **1** を上へ旋回します。



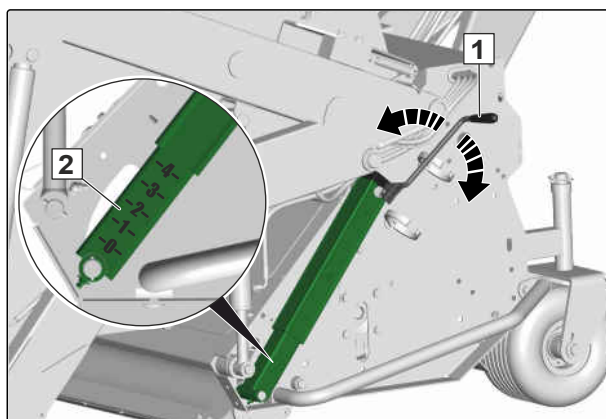
CMS-I-00003348

6. 刈高さを上げるには：
クランク **1** を反時計回りに回します。

または

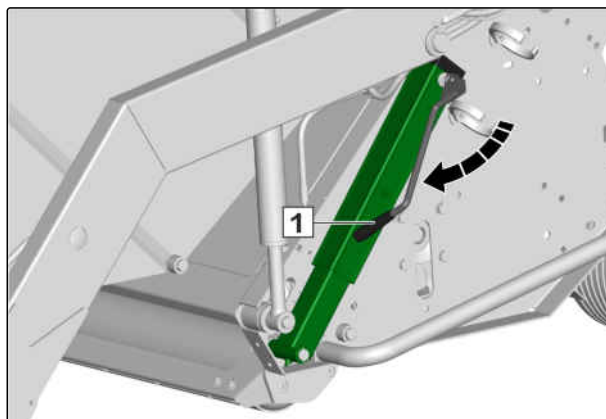
刈高さを下げるには：
クランクを時計回りに回します。

- ➡ 設定した刈高さが、目盛り **2** に表示されます。



CMS-I-00003349

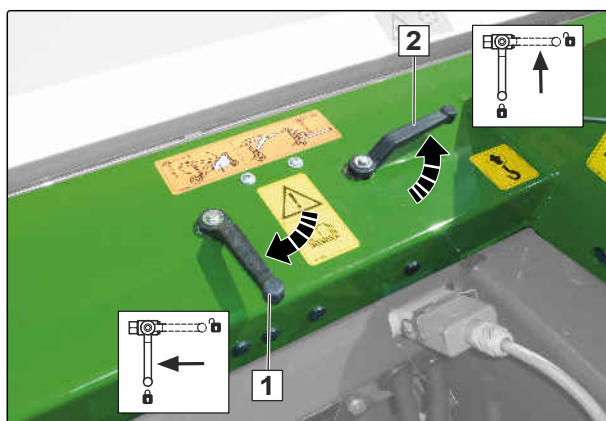
7. クランク **1** を下へ旋回します。



CMS-I-00003347

8. 草刈機 **1** の油圧バルブを閉じます。

9. 牽引バー **2** の油圧バルブを開きます。



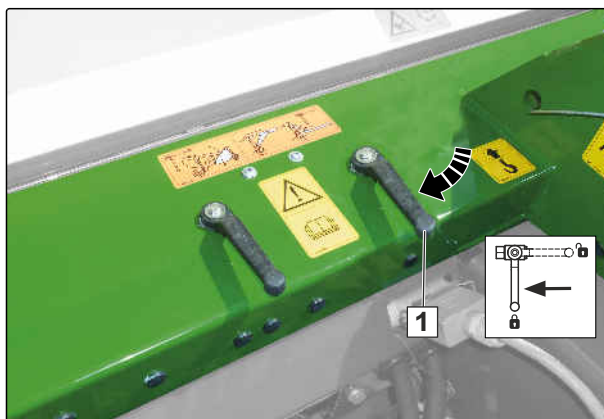
CMS-I-00003354

10. サポートホイールを設定するのに十分な地上高を確保できるまで、牽引バー **1** を用いて機械を上げ続けます。



CMS-I-00003353

11. 牽引バー **1** の油圧バルブを閉じます。



CMS-I-00003735

12. リンチピン **1** を取り外します。

13. サポートホイールを引き出します。

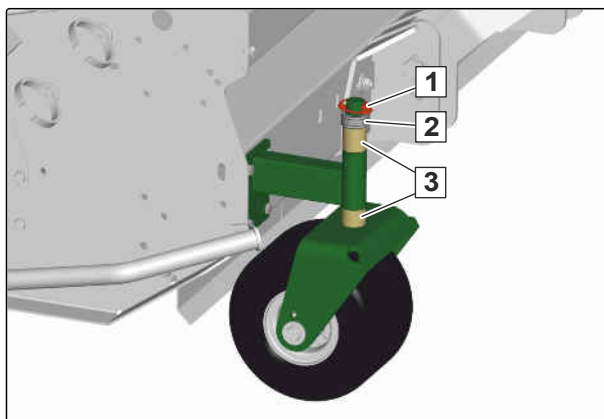
14. サポートホイールの高さを設定するには :
スペーサーディスク **2** とスペーサースリーブ **3** を、ホルダーの上または下に配置します。

15. サポートホイールをホルダーに押し込みます。

16. リンチピンを取り付けて、固定します。

17. 2 つ目のサポートホイールでも、このプロセスを繰り返します。

18. サポートホイールは、同じ設定にします。



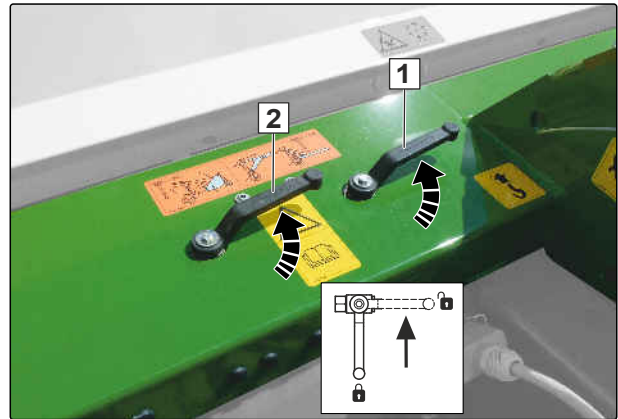
CMS-I-00003733

19. 牽引バー **1** の油圧バルブを開きます。

20. 草刈機 **2** の油圧バルブを開きます。

i 注記

牽引バーの油圧シリンダーと草刈機の油圧シリンダーは、並列に接続されています。両方の油圧バルブが開くと、牽引バーと草刈機の油圧シリンダーが同時に作動します。



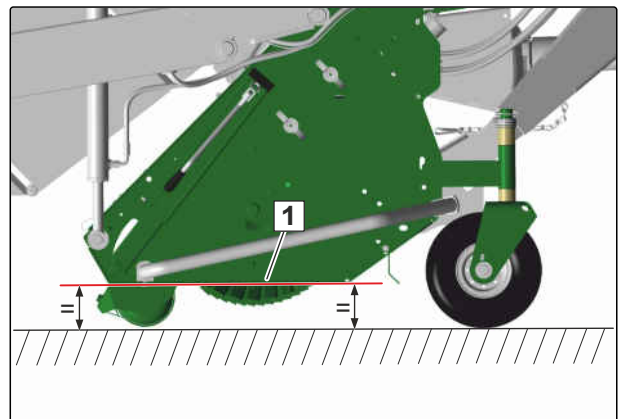
CMS-I-00003367

21. 機械を降下させてください。

22. 草刈機を下げます。

23. 草刈機の下端 **1** が地面と平行になっているか点検します。

24. 必要に応じて、サポートホイールの高さ設定を調整します。



CMS-I-00003734

6.8.8 フロントローラーを設定する

CMS-T-00005896-B.1

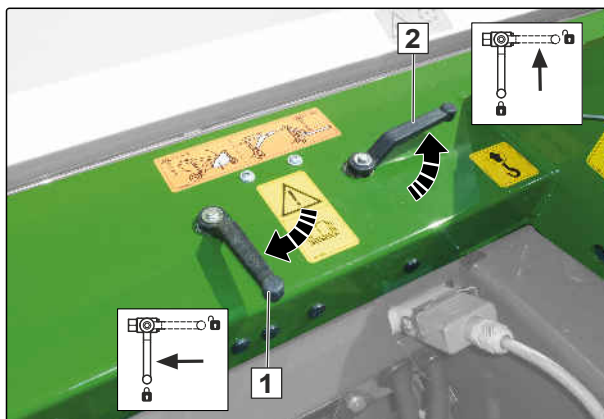
フロントローラーを使用してスカリファイを行う場合は、刈高さに合わせてフロントローラーを設定する必要があります。



必要条件

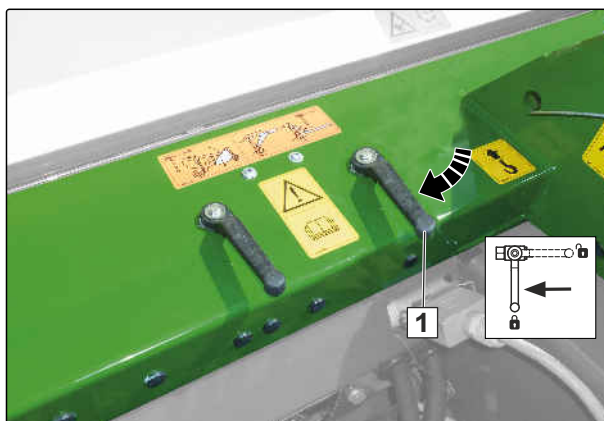
☑ PTO ドライブが OFF になっています。

1. レバーで刈高さを設定します、以下のページを参照 80。
2. 草刈機 **1** の油圧バルブを閉じます。
3. 牽引バー **2** の油圧バルブを開きます。
4. フロントローラーが調整に十分な地上高を確保できるまで、牽引バー **1** を用いて機械を持ち上げます。



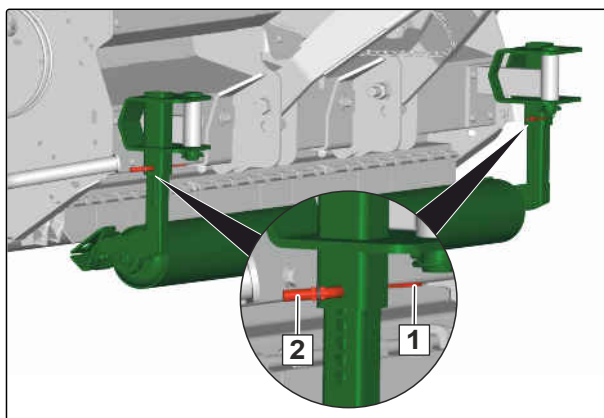
CMS-I-00003354

5. 牽引バー **1** の油圧バルブを閉じます。



CMS-I-00003735

6. コッターピン **1** を引き出します。
7. ロックピン **2** を引き出します。
8. ロックピンを用いて、フロントローラーを希望の高さに固定します。
9. ロックピンをコッターピンで固定します。
10. フロントローラーの両側を同じ設定にします。



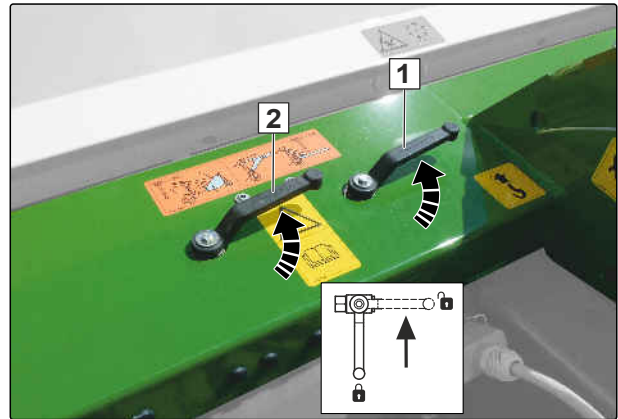
CMS-I-00003732

11. 牽引バー **1** の油圧バルブを開きます。

12. 草刈機 **2** の油圧バルブを開きます。

i 注記

牽引バーの油圧シリンダーと草刈機の油圧シリンダーは、並列に接続されています。両方の油圧バルブが開くと、牽引バーと草刈機の油圧シリンダーが同時に作動します。



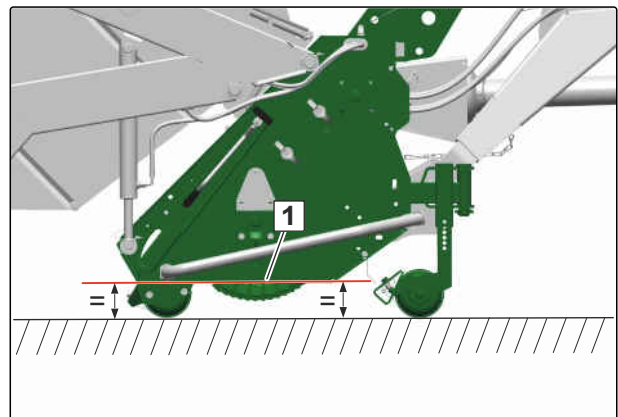
CMS-I-00003367

13. 機械を降下させてください。

14. 草刈機を下げます。

15. 草刈機の下端 **1** が地面と平行になっているか点検します。

16. 必要に応じて、フロントローラーの高さ設定を調整します。



CMS-I-00004245

i 注記

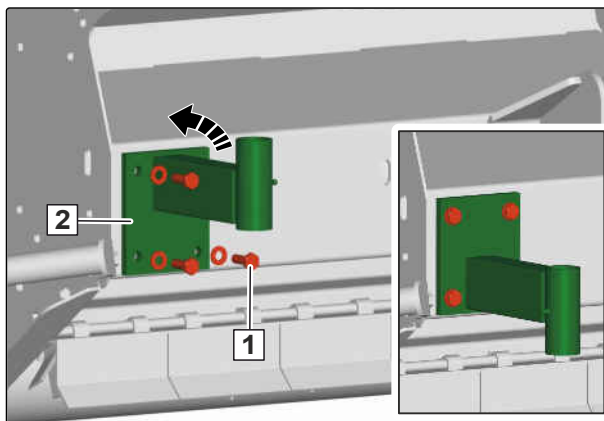
下方への高さ調整をさらに大きくするために、フロントローラーのホルダーを 180°回転して取り付けることができます。

17. フロントローラー設定時のように、機械を上げます。

18. 牽引バーの油圧バルブを閉じます。

19. 取り付け説明書に従って、フロントローラーを取り外します。

20. 4本のねじ **1** をすべてを、ワッシャーと共に外します。
- 21.ホルダー **2** を 180°回転します。
22. 4本のねじとワッシャーで、ホルダーを固定します。
23. 他のホルダーでも、この変更を繰り返します。両方のホルダーを、同じように取り付けなければなりません。



CMS-I-00004244

6.8.9 マルチングのために機械を設定する

CMS-T-00004771-B.1



必要条件

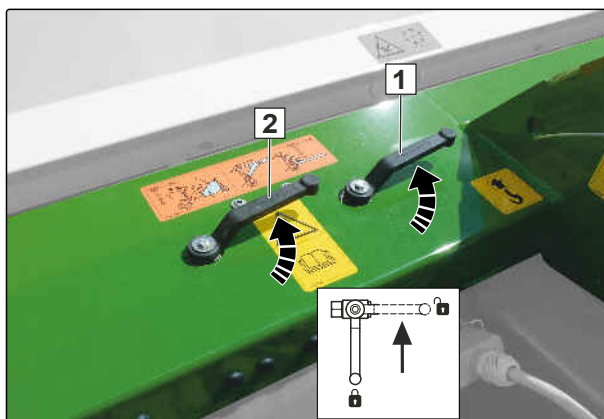
- ☑ PTO ドライブが OFF になっています。
- ☑ 集草タンクは、完全に空になっています。

1. 牽引バー **1** の油圧バルブを開きます。
2. 牽引バー **2** の油圧バルブを開きます。



注記

牽引バーの油圧シリンダーと草刈機の油圧シリンダーは、並列に接続されています。両方の油圧バルブが開くと、牽引バーと草刈機の油圧シリンダーが同時に作動します。



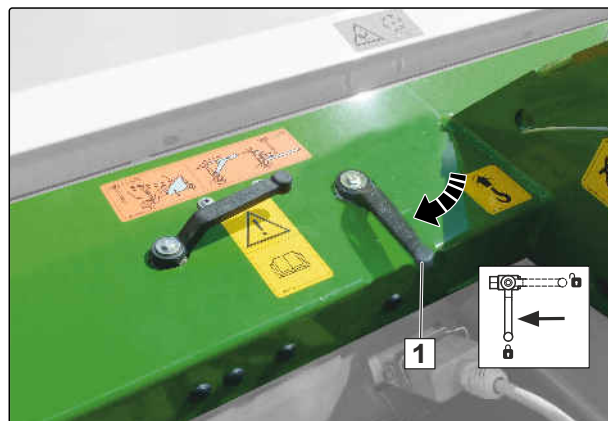
CMS-I-00003367

3. 機械前部を、草刈機と共に、完全に上げます。



CMS-I-00004258

4. 牽引バー **1** の油圧バルブを閉じます。

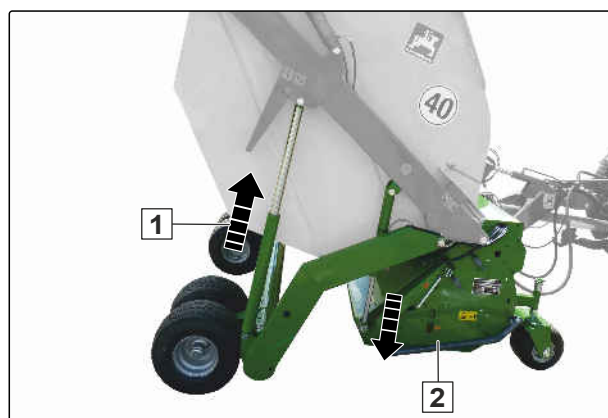


CMS-I-00004243

通常、ローターのカバーフラップは、集草タンクを下
げると自動的に開きます。ただし、マルチングの際に
は、カバーフラップを閉じておかなければなりませ
ん。

5. 機械後部 **1** を完全に上げます。

6. 草刈機 **2** を完全に下げます。



CMS-I-00003372

7. 集草タンク **1** を完全に上げます。

8. 集草タンクを、再び完全に下げます。

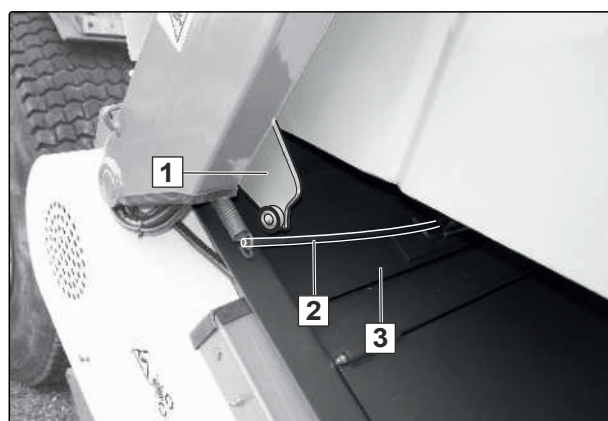


CMS-I-00003370

9. 機械後部を完全に下げます。

➡ その際、タベット **1** はフラップレバー **2** の上
をスライドします。

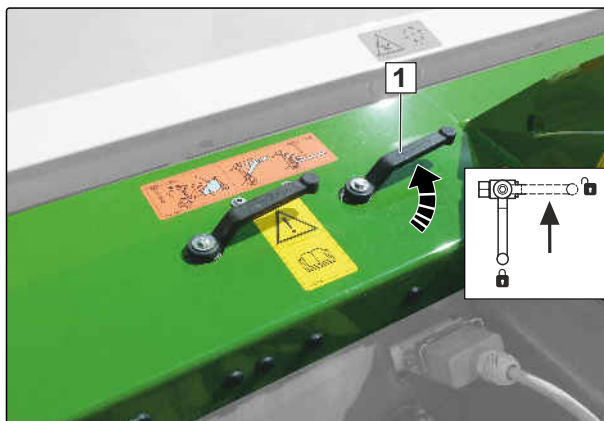
➡ ローターのカバーフラップ **3** は閉じたままで、
刈った植物は集草タンク内に送られなくなりま
す。



CMS-I-00003371

10. 牽引バー **1** の油圧バルブを開きます。

➡ 機械は、マルチングの準備ができています。



CMS-I-00004257

11. マルチングを終了するには：
集草タンクを完全に上げます。

12. 集草タンクを、再び完全に下げます。

➡ マルチングフラップが再び開かれ、刈った植物が再び集草タンク内に送られるようになります。

6.8.10 硬い地面で収集するために、機械を設定する

CMS-T-00005900-B.1

この特別設定は、アスファルトや舗装、コンクリートの地面で、落ち葉や枝、ゴミを収集するのに適しています。

その際、刈高さ設定用のサポートローラーは、地面と接触しません。



必要条件

- ☑ PTO ドライブが OFF になっています。

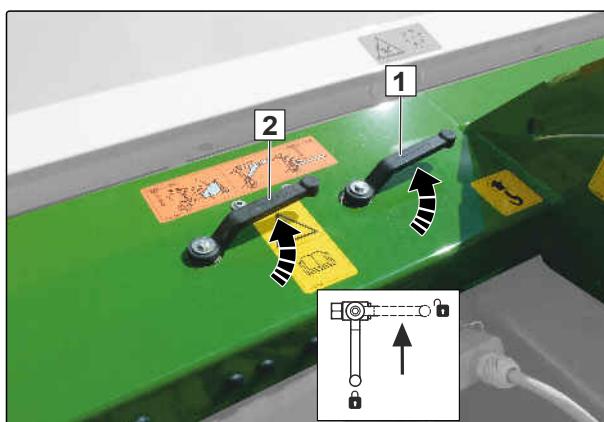
1. 牽引バー **1** の油圧バルブを開きます。

2. 草刈機 **2** の油圧バルブを開きます。



注記

牽引バーの油圧シリンダーと草刈機の油圧シリンダーは、並列に接続されています。両方の油圧バルブが開くと、牽引バーと草刈機の油圧シリンダーが同時に作動します。



CMS-I-00003367

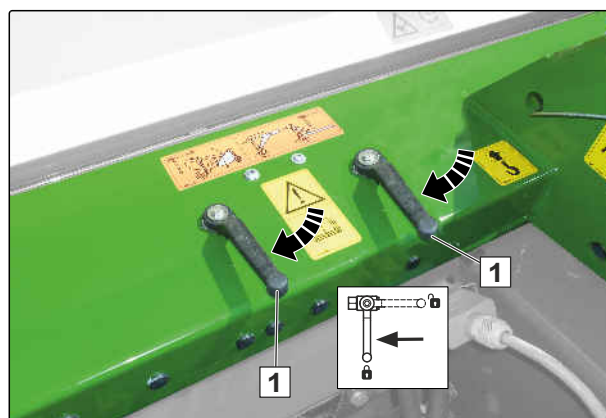
3. 牽引バー **1** を用いて、機械を持ち上げます。

➡ 草刈機も同時に上昇します。



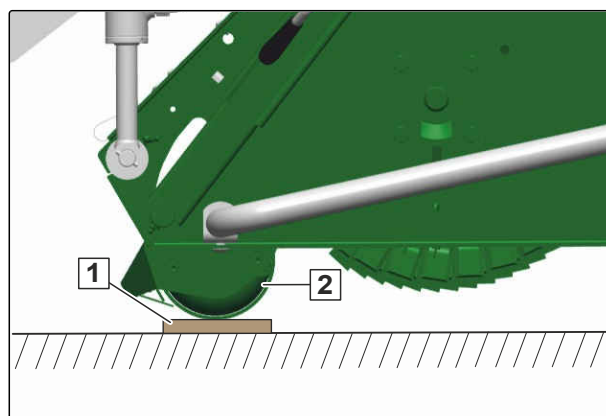
CMS-I-00003353

4. 油圧バルブ **1** を閉じます。



CMS-I-00004259

5. 適切な木の板 **1** (厚さ 20 mm - 30 mm) を、サポートローラー **2** の下に敷きます。

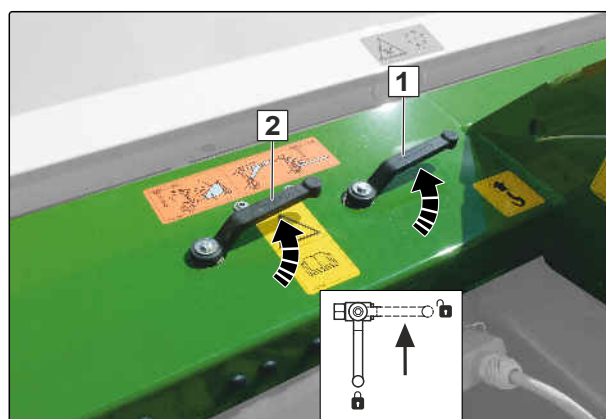


CMS-I-00004254

6. 牽引バー **1** の油圧バルブを開きます。

7. 草刈機 **2** の油圧バルブを開きます。

8. サポートローラーが木の板に接するまで、機械前部を草刈機と共に下げます

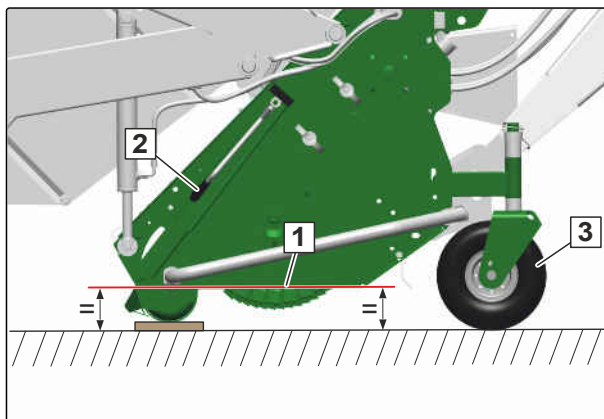


CMS-I-00003367

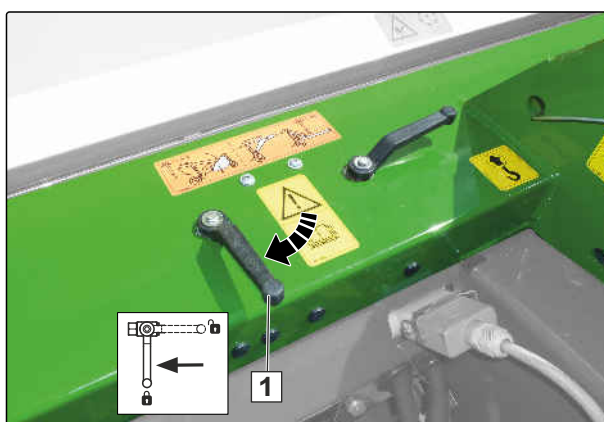
6 | 機械の準備

道路走行用に機械を準備

9. 草刈機の下端 **1** が地面と平行になっているか点検します。
 10. 必要に応じて、機械を草刈機と共に持ち上げ、クランク **2** を使用してサポートローラーの高さを調整します。
 11. 機械前部を、草刈機と共に、再び木の板の上に戻します。
 12. 草刈機が平行になっているか再び点検します。
 13. サポートホイール **3** の高さを、刈高さ設定時と同様に調整します、以下のページを参照 80。
 14. 草刈機 **1** の油圧バルブを閉じます。
- ➔ 草刈機は、この設定で固定されています。サポートホイールのみが、草刈機をガイドします。



CMS-I-00004255



CMS-I-00004251

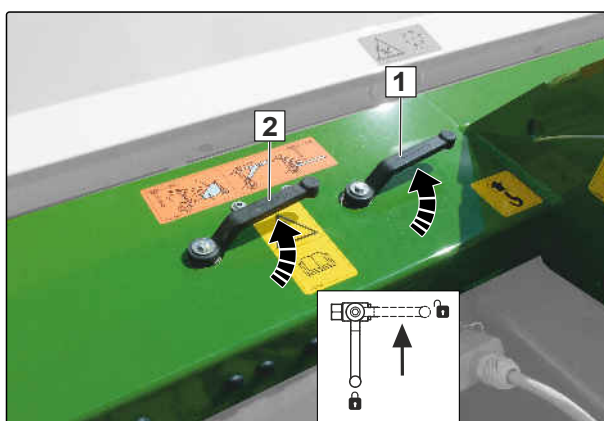
6.9 道路走行用に機械を準備

CMS-T-00004722-A.1

1. トラクターの PTO ドライブを OFF にします。
2. 集草タンクを完全に空にします。
3. 草刈機から、刈草の残留物を取り除きます。
4. 牽引バー **1** の油圧バルブを開きます。
5. 牽引バー **2** の油圧バルブを開きます。

注記

牽引バーの油圧シリンダーと草刈機の油圧シリンダーは、並列に接続されています。両方の油圧バルブが開くと、牽引バーと草刈機の油圧シリンダーが同時に作動します。



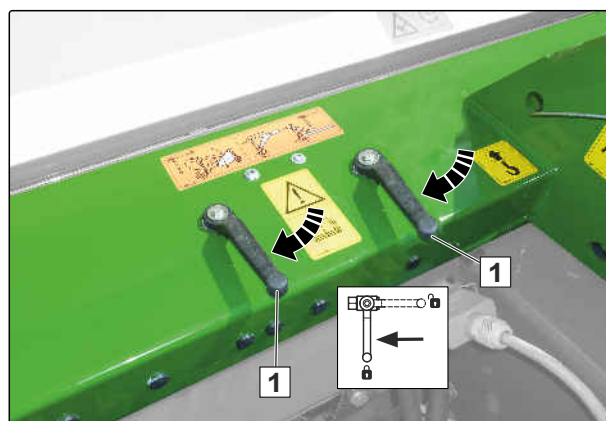
CMS-I-00003367

6. 集草タンク **1** を完全に下げます。
7. 機械後部 **2** を完全に下げます。
8. 機械前部を、草刈機 **3** と共に、完全に上げます。



CMS-I-00003355

9. 油圧バルブ **1** を閉じます。



CMS-I-00004259

機械を使用

7

CMS-T-00001162-C.1

7.1 機械を、標準油圧系統で使用する

CMS-T-00004762-C.1

7.1.1 草刈りを開始する

CMS-T-00004709-B.1



危険

回転しているモーターと飛散する物体

- ▶ 草刈機は、電源を入れる前に、完全に下げてください。
- ▶ 草刈機は、すべての保護カバーが閉じられ、しっかりとロックされている場合にのみ、電源を入れてください。



必要条件

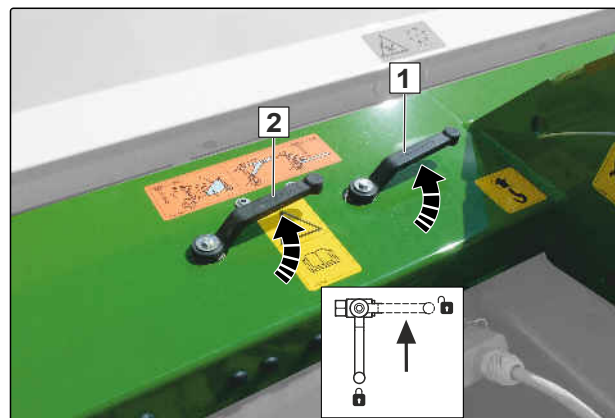
- ☑ 集草タンクは、閉じられ、完全に下げられています。
- ☑ 集草タンクは、いっぱいになっていません。

1. 牽引バー **1** の油圧バルブを開きます。
2. 草刈機 **2** の油圧バルブを開きます。



注記

牽引バーの油圧シリンダーと草刈機の油圧シリンダーは、並列に接続されています。両方の油圧バルブが開くと、牽引バーと草刈機の油圧シリンダーが同時に作動します。



CMS-I-00003367

3. トラクター制御で、サポートローラー **2** とサポートホイール **3** が緑地に接するまで、機械前部を草刈機 **1** と共に下げます。
 4. 牽引バーと草刈機の油圧系統を、フロート位置にします。
- ➡ サポートローラーとサポートホイールは、地面上で草刈機をガイドします。
- ➡ 後輪が行うのは、左右ホイールの地面凹凸の補正とサポート機能のみです。
5. トラクターの PTO ドライブを始動します。
 6. 最大駆動回転数に注意します。



CMS-I-00003366

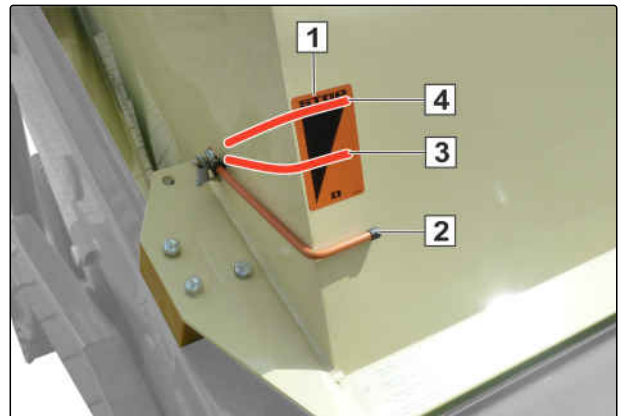


CMS-I-00000433

注記

集草タンクの充填レベルインジケータの感度は、刈る植物によって異なります。

7. 集草タンクの充填レベルを、インジケータ **1** で確認します。
8. ポインターが下の位置 **2** にある限り：
刈った植物を、まだ収容できます。
9. ポインター **3** が動き始めた場合：
集草タンクを空にすべきです。
10. ポインター **4** が上の位置にある場合：
集草タンクを空にしなければなりません。



CMS-I-00003365

7.1.2 草刈りを終了する

CMS-T-00004763-B.1



危険

動き続けるローターと飛散する物体

- ▶ 草刈機は、ローターが静止しているときのみ上げてください。



重要

ローター損傷の危険

- ▶ 草刈機が下がって、OFF になっている場合は、機械を動かさないでください。

1. トラクターの PTO ドライブを OFF にします。
2. トラクター制御によって、機械前部を草刈機と共に持ち上げます。

7.1.3 マルチング

CMS-T-00004710-A.1



必要条件

- ☑ マルチングの設定が行われました。
- ▶ 草刈り同様に、マルチングを開始および終了します。

7.1.4 スカリファイ（かき起こし）

CMS-T-00004770-A.1



必要条件

- ☑ スカリファイブレードが取り付けられています。



重要

土の割合が多いことによる機械の損傷

- ▶ スカリファイの際に、土の割合が多ければ、集草タンクの半分まで満たしてください。
- ▶ 技術データの許容総重量に注意してください。

- ▶ 草刈りと同様に、スカリファイを開始および終了します。

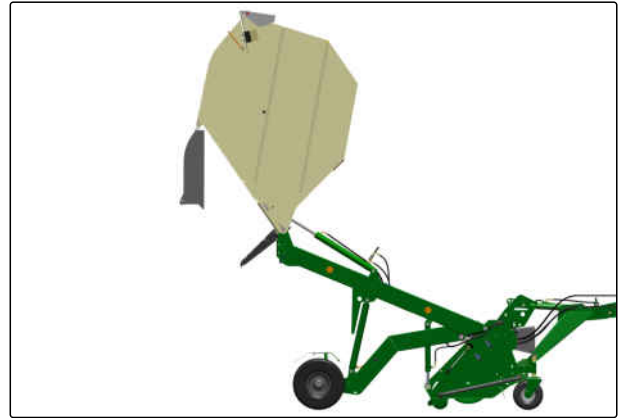
7.1.5 標準油圧系統で集草タンクを空にする

CMS-T-00004711-C.1

7.1.5.1 集草タンクを地面近くで空にする

CMS-T-00004712-C.1

1. トラクターの PTO ドライブを OFF にします。
2. 機械を、バックで荷降ろし場所に近づけます。
3. トラクター制御で、集草タンクを上げます。
4. 集草タンクを完全に空にします。
5. トラクター制御で、集草タンクを完全に下げます。



CMS-I-00004263

7.1.5.2 集草タンクをハイリフトで空にする

CMS-T-00004713-C.1



警告

集草タンクを上げると、転倒の危険があります

- ▶ 集草タンクは、固くて平らな場所でのみ上げてください。
- ▶ 決して傾斜地や傾いた状態で、集草タンクを上げないでください。

1. トラクターの PTO ドライブを OFF にします。
2. 機械を、バックで、荷降ろし場所の 1 m 前まで動かします。



注記

ハイリフト排出の最大高さは 2.3 m です。

3. トラクター制御で、機械後部を完全に上げます。
4. トラクター制御で、集草タンクを上げます。
5. 集草タンクを完全に空にします。



CMS-I-00003324

7 | 機械を使用

機械を、電気油圧制御で使用する

6. トラクター制御で、集草タンクを完全に下げます。
7. トラクター制御で、機械後部を完全に下げます。

7.2 機械を、電気油圧制御で使用する

CMS-T-00004777-C.1

7.2.1 草刈りを開始する

CMS-T-00004780-B.1



危険

回転しているモーターと飛散する物体

- ▶ 草刈機は、電源を入れる前に、完全に下げてください。
- ▶ 草刈機は、すべての保護カバーが閉じられ、しっかりとロックされている場合にのみ、電源を入れてください。

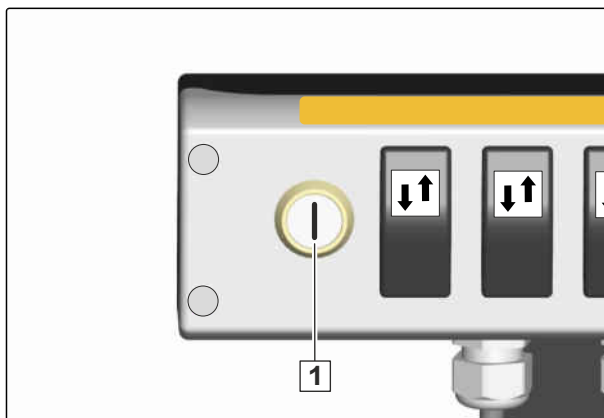


必要条件

- ☑ 集草タンクは、閉じられ、完全に下げられています。
- ☑ 集草タンクは、いっぱいになっていません。

1. 電気油圧制御をONにするには：
操作ボタン **1** を押します。

➡ リモコンによる制御がアクティブです。



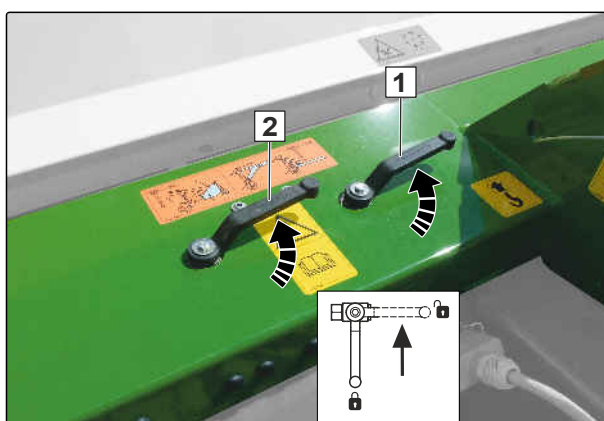
CMS-I-00003384

2. 牽引バー **1** の油圧バルブを開きます。
3. 草刈機 **2** の油圧バルブを開きます。



注記

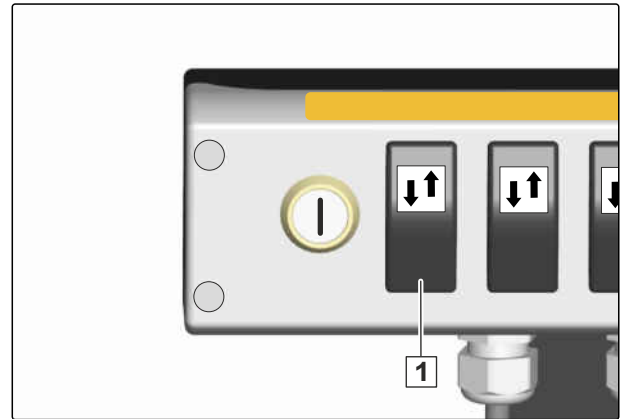
牽引バーの油圧シリンダーと草刈機の油圧シリンダーは、並列に接続されています。両方の油圧バルブが開くと、牽引バーと草刈機の油圧シリンダーが同時に作動します。



CMS-I-00003367

4. 草刈機と機械前部を下げるには：
操作ボタン **1** の下部を押します。

5. サポートローラーとサポートホイールが緑地に接するまで、草刈機と機械前部を下げます。

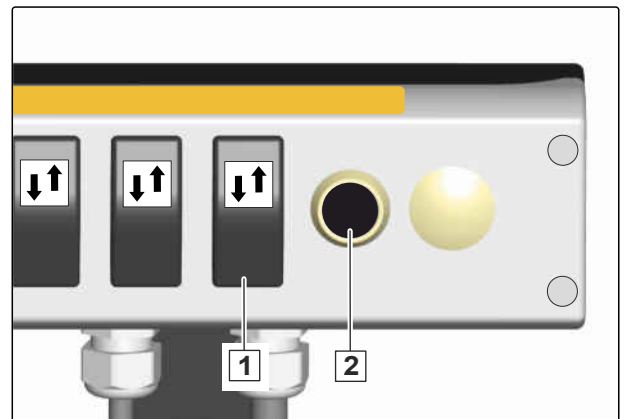


CMS-I-00003383

6. 牽引バーと草刈機のフローティング位置をアクティブにするには：
操作ボタン **1** および **2** を、同時に押します。

➡ サポートローラーとサポートホイールは、地面上で草刈機をガイドします。

➡ 後輪が行うのは、左右ホイールの地面凹凸の補正とサポート機能のみです。



CMS-I-00003382

7. トラクターの PTO ドライブを始動します。

8. 最大駆動回転数に注意します。



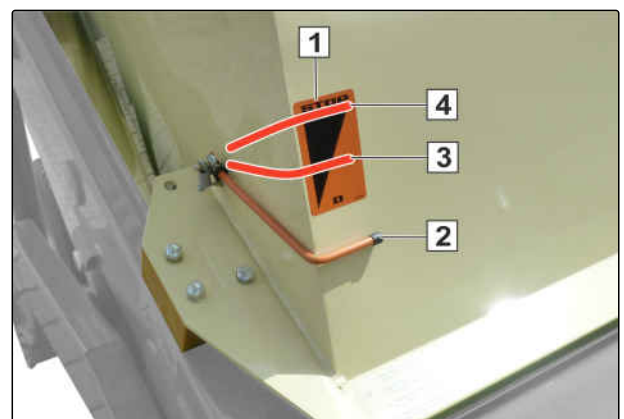
CMS-I-00000433

i 注記

集草タンクの充填レベルインジケータの感度は、刈る植物によって異なります。

9. 集草タンクの充填レベルを、インジケータ **1** で確認します。

10. ポインターが下の位置 **2** にある限り：
刈った植物を、まだ収納できます。



CMS-I-00003365

7 | 機械を使用

機械を、電気油圧制御で使用する

11. ポインター **3** が動き始めた場合 :
集草タンクを空にすべきです。
12. ポインター **4** が上の位置にある場合 :
集草タンクを空にしなればなりません。

7.2.2 草刈りを終了する

CMS-T-00004781-B.1



危険

動き続けるローターと飛散する物体

- ▶ 草刈機は、ローターが静止しているときにのみ上げてください。

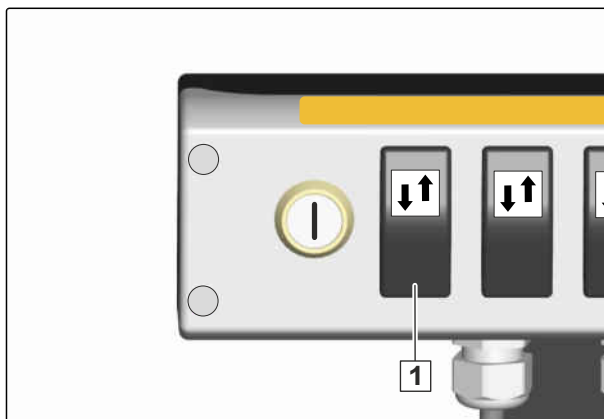


重要

ローター損傷の危険

- ▶ 草刈機が下がって、OFF になっている場合は、機械を動かさないでください。

1. トラクターの PTO ドライブを OFF にします。
2. 草刈機と機械前部を上げるには :
操作ボタン **1** の上部を押します。



CMS-I-00003383

7.2.3 マルチング

CMS-T-00005903-A.1



必要条件

- ☑ マルチングの設定が行われました。
- ▶ 草刈り同様に、マルチングを開始および終了します。

7.2.4 スカリファイ（かき起こし）

CMS-T-00005904-A.1



必要条件

- ◎ スカリファイブレードが取り付けられています。



重要

土の割合が多いことによる機械の損傷

- ▶ スカリファイの際に、土の割合が多ければ、集草タンクの半分まで満たしてください。
 - ▶ 技術データの許容総重量に注意してください。
- ▶ 草刈りと同様に、スカリファイを開始および終了します。

7.2.5 集草タンクを、電気油圧制御で空にする

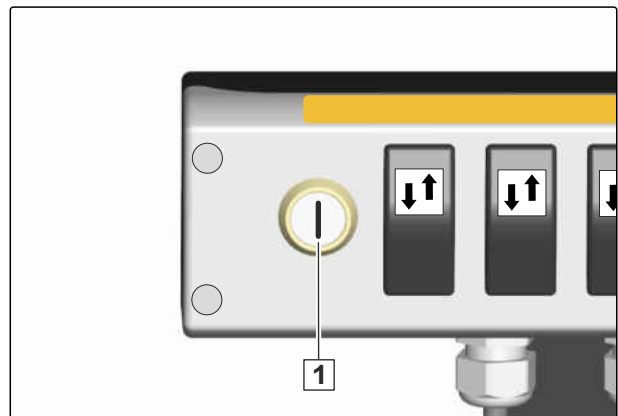
CMS-T-00004778-C.1

7.2.5.1 集草タンクを地面近くで空にする

CMS-T-00004782-C.1

1. PTO ドライブを OFF にします。
2. 機械を、バックで荷降ろし場所に近づけます。
3. 電気油圧制御を ON にするには :
操作ボタン **1** を押します。

➡ リモコンによる制御がアクティブです。

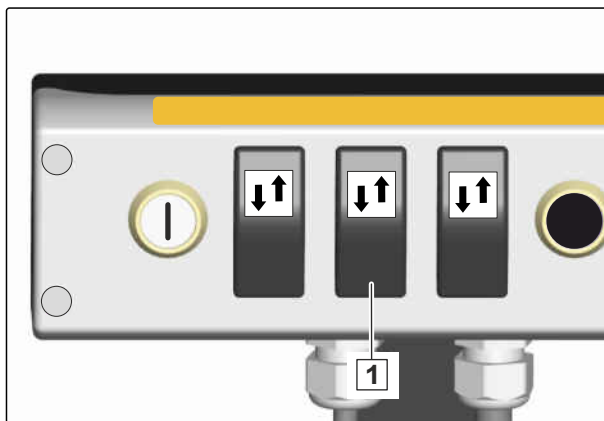


CMS-I-00003384

7 | 機械を使用

機械を、電気油圧制御で使用する

4. 集草タンクを上げるには :
ボタン **1** 上部を押します。
5. 集草タンクを完全に空にします。
6. 集草タンクを下げるには :
ボタン **1** 下部を押します。
7. 集草タンクを完全に下げます。



CMS-I-00003381

7.2.5.2 集草タンクをハイリフトで空にする

CMS-T-00004783-C.1



警告

集草タンクを上げると、転倒の危険があります

- ▶ 集草タンクは、固くて平らな場所でのみ上げてください。
- ▶ 決して傾斜地や傾いた状態で、集草タンクを上げないでください。

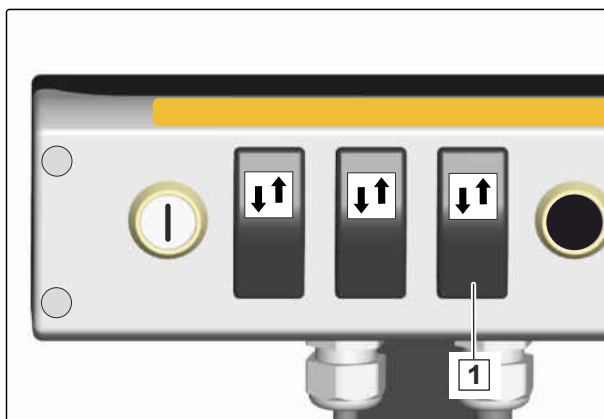
1. PTO ドライブを OFF にします。
2. 機械を、バックで、荷降ろし場所の 1 m 前まで動かします。



注記

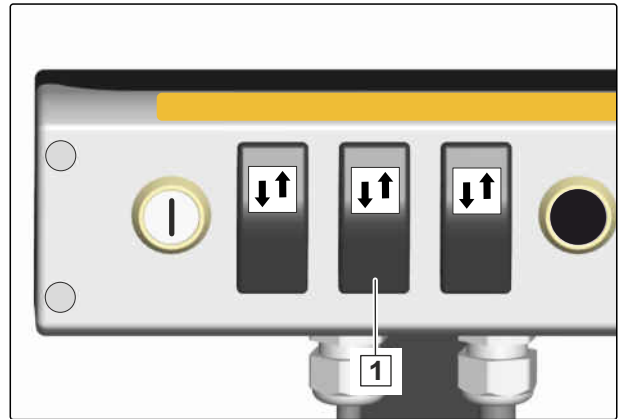
ハイリフト排出の最大高さは 2.3 m です。

3. ボタン **1** 上部を押して、後部シャーシを完全に伸長します。



CMS-I-00003380

4. 集草タンクを上げるには :
ボタン **1** 上部を押します。
5. 集草タンクを完全に空にします。
6. 集草タンクを下げるには :
ボタン **1** 下部を押します。
7. 集草タンクを完全に下げます。



CMS-I-00003381

8. ボタン **1** 下部を押して、後部シャシーを完全に下げます。



CMS-I-00003380

機械の使用停止

8

CMS-T-00004708-E.1

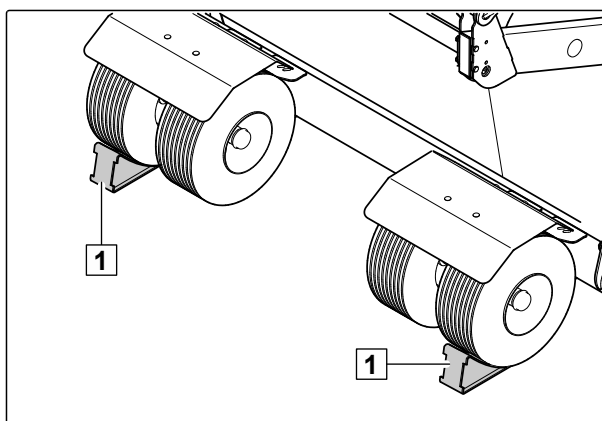
8.1 使用後に機械を置く

CMS-T-00004790-D.1

8.1.1 輪止めを取り付ける

1. 輪止めをホルダーから取り外します。
2. 輪止め **1** を用いて、機械の外側後輪を固定します。

CMS-T-00004830-A.1

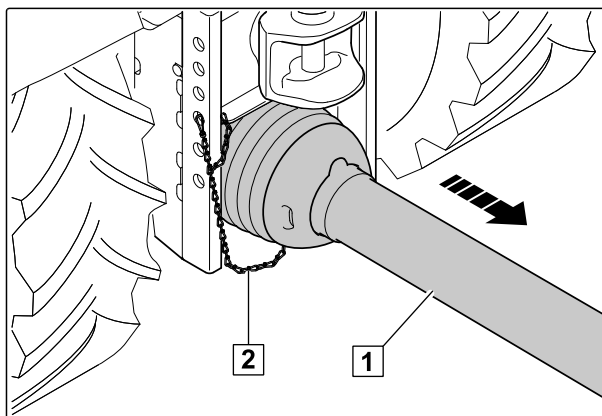


CMS-I-00001046

8.1.2 プロペラシャフトの連結解除

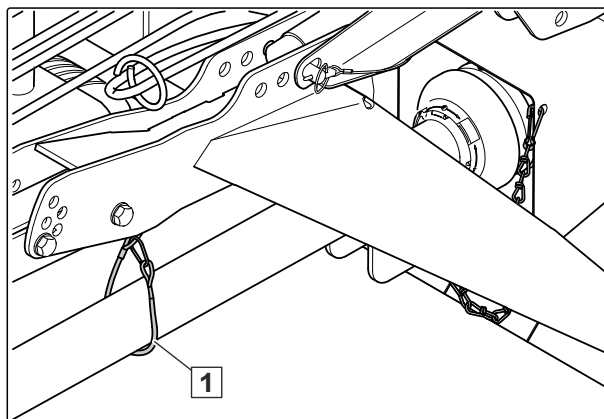
1. トラクターと機械を固定します。
2. トラクターの安全チェーン **2** を取り外します。
3. プロペラシャフトのロック **1** を引きます。プロペラシャフト **1** を、トラクター PTO から引き抜きます。

CMS-T-00001716-A.1



CMS-I-00001069

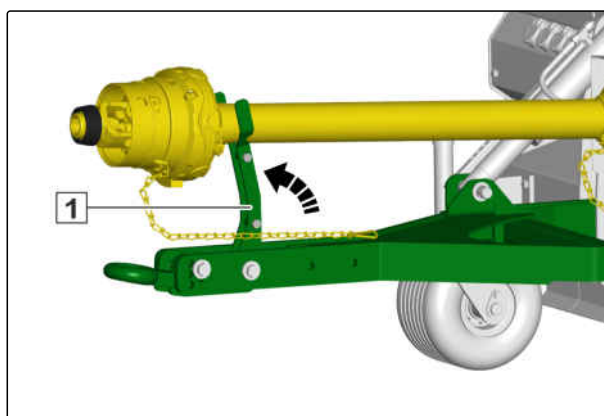
4. プロペラシャフトを、保持ロープ **1** で牽引バーに固定します。



CMS-I-00003423

下部に牽引バーがある機械の場合：

5. プロペラシャフトを持ち上げて、保持します。
6. サポート **1** を上に起こします。
7. プロペラシャフトをサポートに載せます。

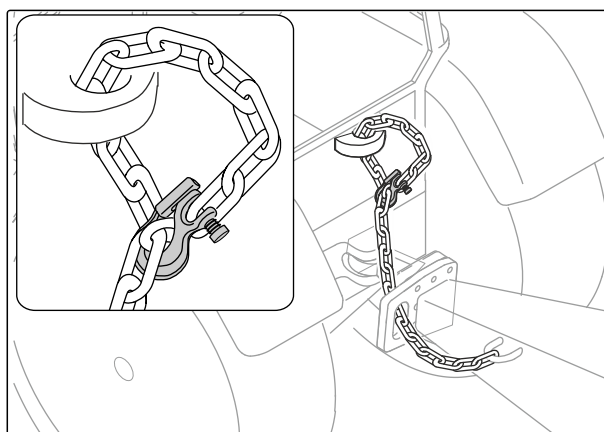


CMS-I-00003701

8.1.3 安全チェーンを外す

CMS-T-00004315-C.1

- ▶ トラクターから安全チェーンを外します。



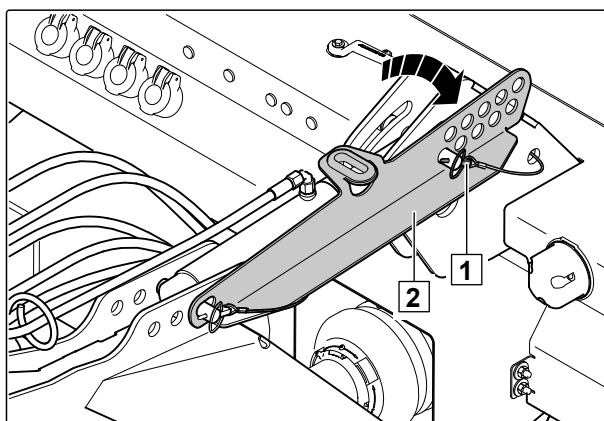
CMS-I-00007814

8.1.4 機械と上部牽引バーを連結解除する

CMS-T-00001703-A.1

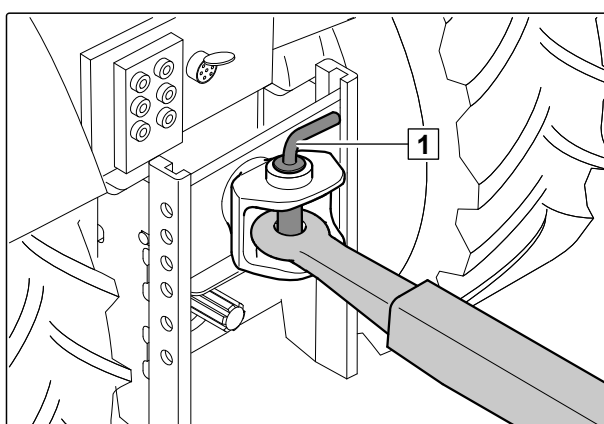
1. リンチピン **1** を抜きます。
2. 安全バー **2** を、後方に倒します。
3. 安全バーを、ピンに押し込みます。
4. ピンにリンチピンを差し込んで、固定します。

➡ 牽引バーが固定されました。



CMS-I-00001066

5. トラクターのカップリングボルト **1** を抜きます。
6. トラクターを機械から離します。
7. トラクターを固定して、イグニッションキーを抜きます。
8. トラクターにカップリングボルトを取り付けます。



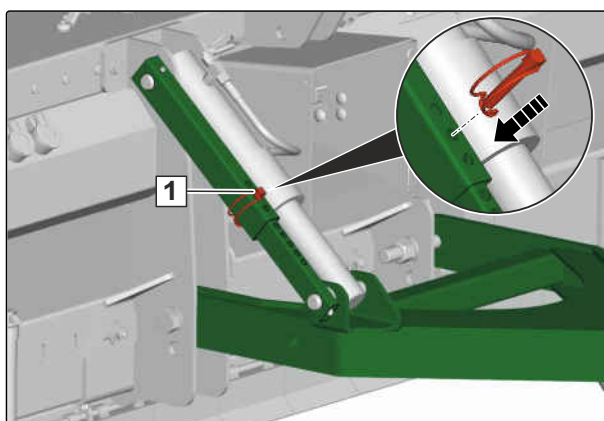
CMS-I-00004260

8.1.5 機械と下部牽引バーを連結解除する

CMS-T-00005906-A.1

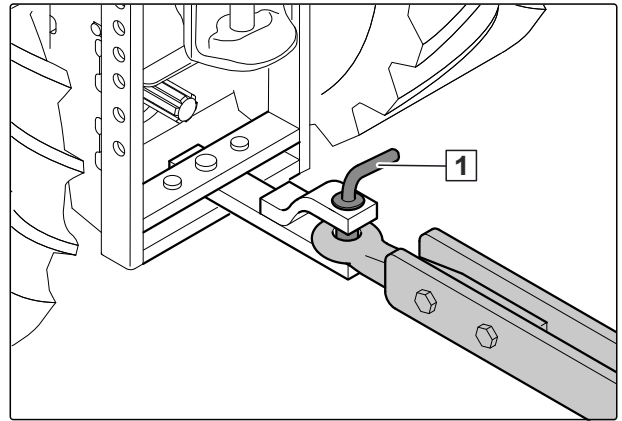
1. リンチピン **1** を安全パイプに差し込んで、固定します。

➡ 牽引バーが固定されました。



CMS-I-00003745

2. トラクターのカップリングボルト **1** を抜き取ります。
3. トラクターを機械から離します。
4. トラクターを固定して、イグニッションキーを抜きます。
5. トラクターにカップリングボルトを取り付けます。

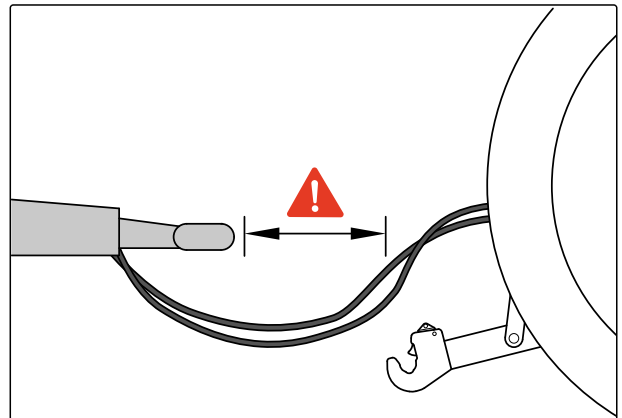


CMS-I-00004261

8.1.6 トラクターを機械から離します

供給ラインを問題なく接続解除できるように、トラクターと機械の間に十分なスペースを確保する必要があります。

1. 十分な距離を確保できる位置まで、トラクターを機械から遠ざけます。
2. トラクターを固定します。イグニッションキーを抜きます。



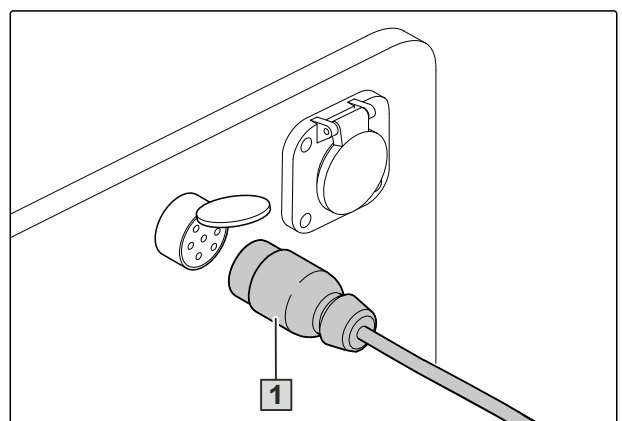
CMS-I-00004118

8.1.7 照明の電圧供給を連結解除する

1. トラクターと機械を固定します。
2. 電圧供給用のプラグ **1** を抜きます。
3. ケーブルを巻き取り、牽引バーに固定します。

i 注記

機械を長期間使用しない場合、または屋外に停める場合は、機械からもケーブルを抜くようにお勧めします。

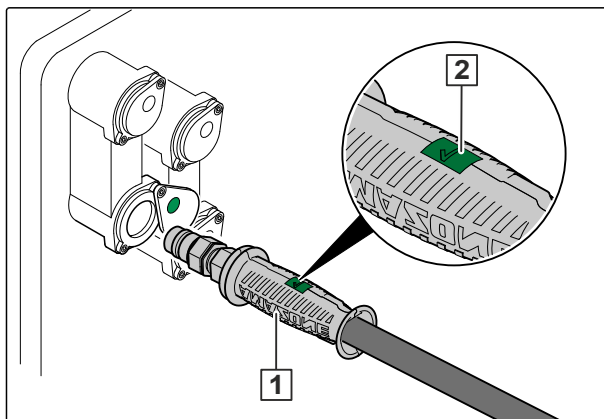


CMS-I-00001048

8.1.8 油圧ホースラインの連結解除

CMS-T-00001706-B.1

1. トラクターと機械を固定します。
2. トラクター制御装置の操作レバーをフロート位置にします。
3. 油圧ホースライン **1** を連結解除します。
4. ちり除けキャップを油圧システムのソケットに取り付けます。
5. 油圧プラグを清掃します。



CMS-I-00001045

6. 油圧ホースラインを、機械のホルダー **1** に挿入します。



CMS-I-00001068

8.1.9 電気油圧制御を連結解除する

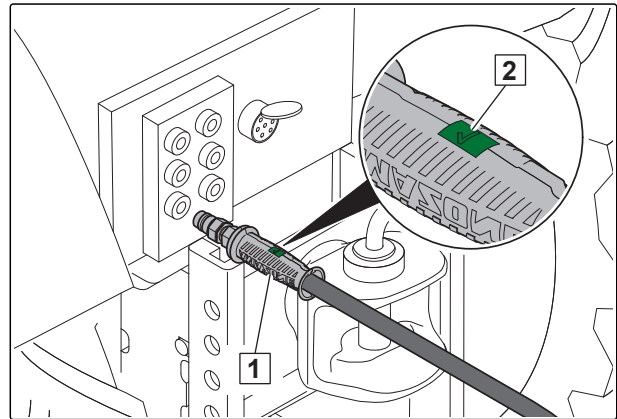
CMS-T-00004787-A.1

8.1.9.1 油圧ホースラインの連結解除

CMS-T-00004788-A.1

1. トラクターと機械を固定します。
2. トラクター制御装置の操作レバーをフロート位置にします。

3. 油圧ホースライン **1** を連結解除します。
4. ちり除けキャップを油圧系統のソケットに取り付けます。
5. 油圧プラグを清掃します。



CMS-I-00001045

6. 油圧ホースラインを、機械のホルダー **1** に挿入します。

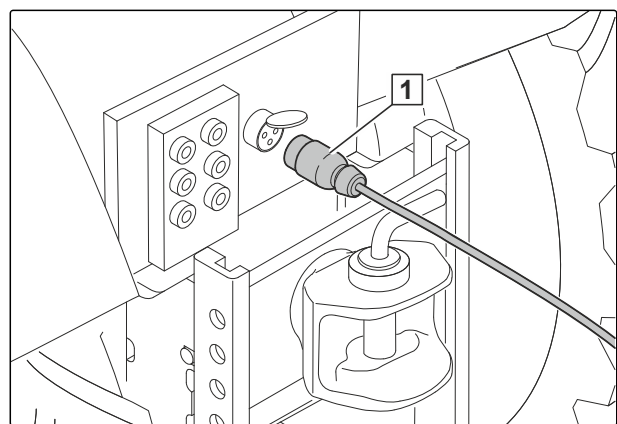


CMS-I-00003387

8.1.9.2 リモコンを連結解除する

1. トラクターと機械を固定します。
2. トラクターの 3 極プラグ **1** を抜きます。

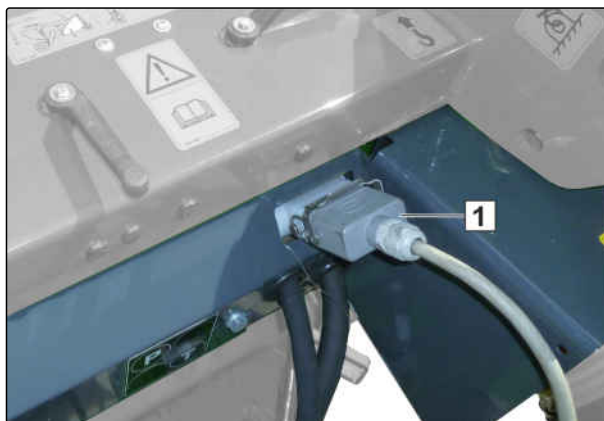
CMS-T-00004789-A.1



CMS-I-00003724

8 | 機械の使用停止 使用後に機械を置く

3. 機械のプラグ **1** を抜きます。



CMS-I-00003359

4. 保護キャップ **1** をソケットに取り付けます。

5. リモコンは、乾燥した部屋に保管します。

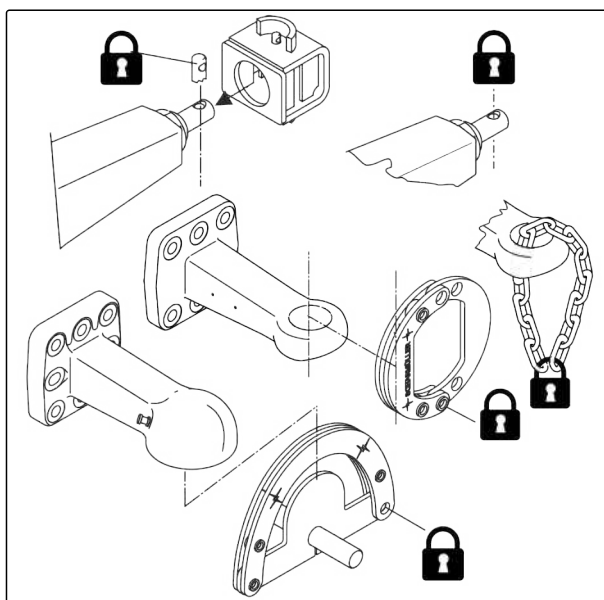


CMS-I-00003386

8.1.10 不正使用に対する保護を取り付ける

CMS-T-00005090-B.1

1. 不正使用に対する保護を、牽引装置に取り付けます。
2. 南京錠を取り付けます。



CMS-I-00003534

8.2 機械の長期間停止や冬季保管の準備をする

CMS-T-00004791-B.1

1. 集草タンクを完全に空にします。
2. 機械が動き出さないように、輪止めで固定します。
3. 機械を清掃します、以下のページを参照 117。
4. 6本のタイヤすべてのタイヤ空気圧を点検します。必要に応じて、タイヤ空気圧を修正します。
5. すべての潤滑ポイントを潤滑します、以下のページを参照 113。
6. ドライブベルトの状態を点検します、以下のページを参照 111。
7. 機械を乾いた場所に保管します。

機械の修理

9

CMS-T-00001164-C.1

9.1 機械のメンテナンス

CMS-T-00004794-B.1

9.1.1 メンテナンススケジュール

初回使用後	
油圧ホースラインの点検	以下のページを参照 111
12 ヶ月ごと	
ギアボックスのオイルレベルを点検する	以下のページを参照 112
50 運転時間ごと / 毎週	
ドライブベルトを点検する	以下のページを参照 111
油圧ホースラインの点検	以下のページを参照 111

9.1.2 ドライブベルトを点検する

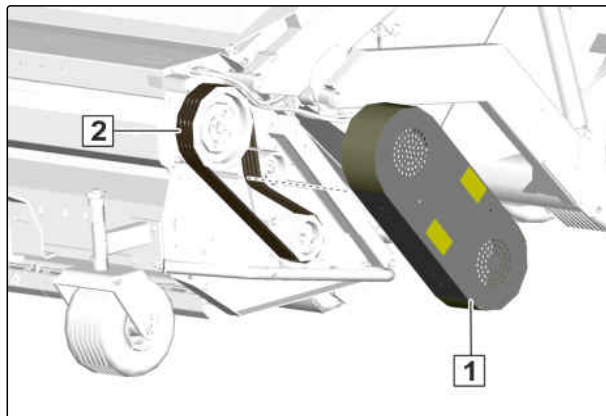
CMS-T-00004795-B.1



間隔

- 50 運転時間ごと
または
毎週

1. 保護カバー **1** を取り外します。
2. 損傷や摩耗がないか、4 本のドライブベルトをすべて点検します。
3. 4 本のドライブベルト **2** すべてで、ベルトの張りを点検します。
4. 保護カバーを取り付けます。



CMS-I-00003415



工場での作業

5. ドライブベルトを張り直します。
6. 損傷および磨耗しているドライブベルトは交換します。

9.1.3 油圧ホースラインの点検

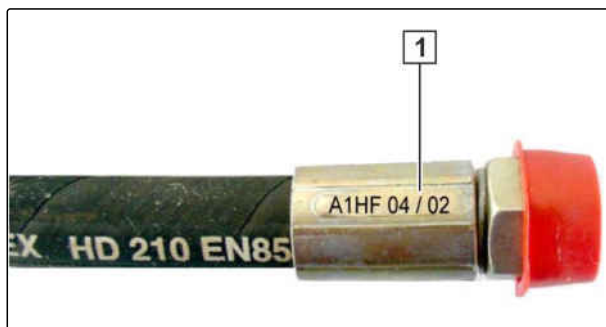
CMS-T-00004796-B.1



間隔

- 初回使用後
- 50 運転時間ごと
または
毎週

1. 油圧ホースラインに、擦れ跡や切断、亀裂、変形などの損傷がないか点検します。
2. 油圧ホースラインに漏れがないか点検します。
3. 緩んだねじ接続部を締め直します。
4. 製造日 **1** を点検します。



CMS-I-00000532



注記

油圧ホースラインは、最大で 6 年間使用できます。



工場での作業

5. 損傷したり、古くなった油圧ホースラインを交換します。

9.1.4 ギアボックスのオイルレベルを点検する

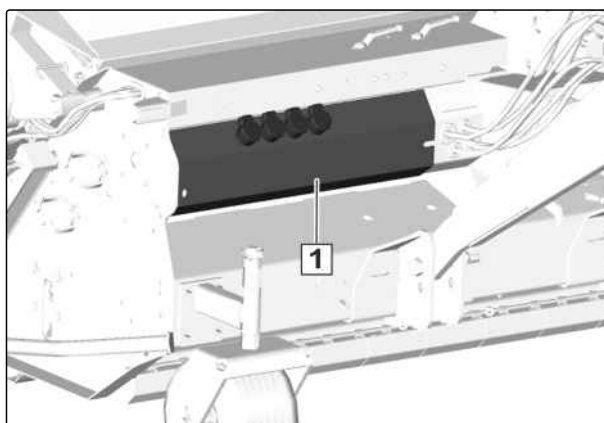
CMS-T-00005210-B.1



間隔

- 12 ヶ月ごと

1. カバー **1** を取り外します。



CMS-I-00003421

2. 制御ねじ **2** を緩めます。
3. オイルレベルが、穴の下端に到達しているか点検します。
4. 必要に応じて、ギアボックス **1** にギアオイル SAE 90 または SAE 85W90 を補充します。



CMS-I-00003739



注記

ギアボックス内の最大充填量は 0.85 l です。

5. 制御ねじをねじ込みます。
6. カバーを取り付けます。

9.2 機械の潤滑

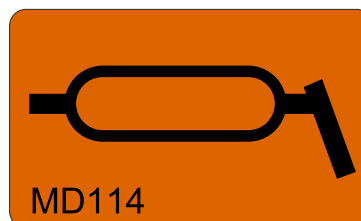
CMS-T-00004797-B.1



重要

不適切な潤滑による機械損傷

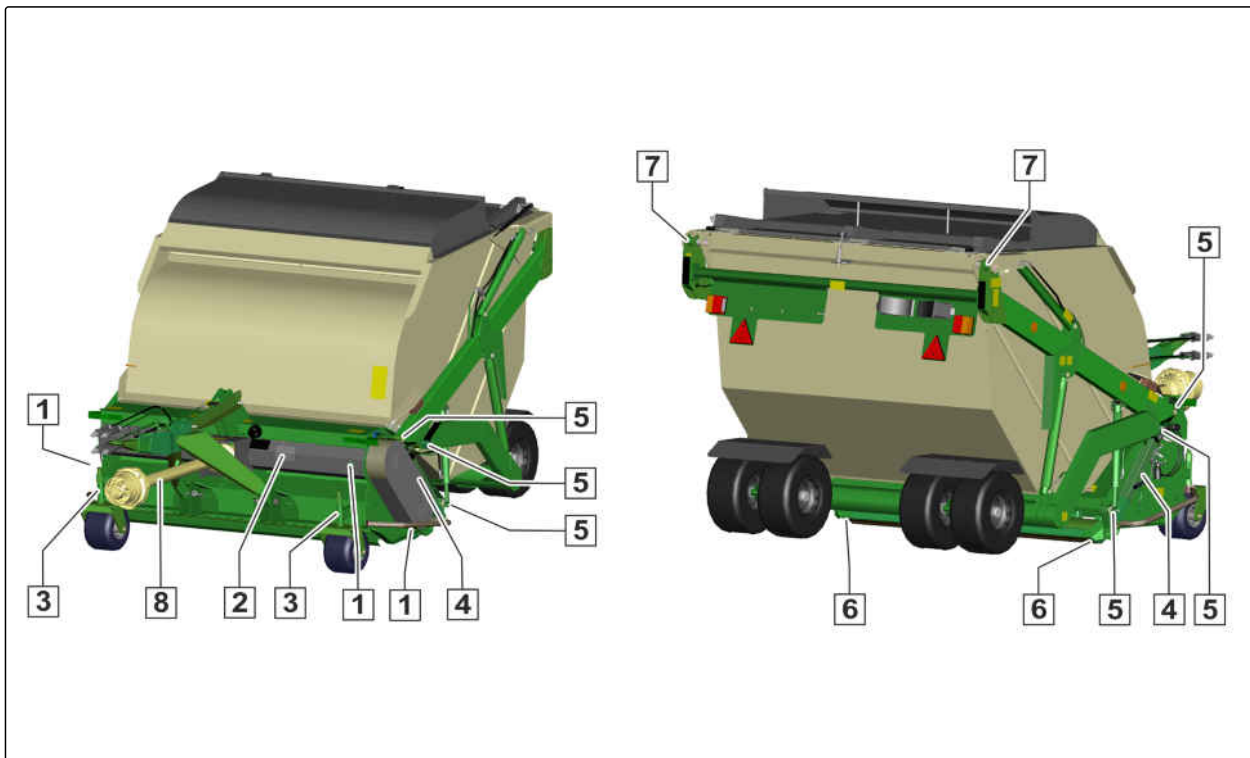
- ▶ 潤滑計画に従って、マークされた潤滑ポイントで、機械を潤滑します。
- ▶ 汚れが潤滑ポイントに入り込まないように、グリースニップルとグリースガンを丁寧に清掃してください。
- ▶ 技術データに記載されている潤滑剤のみを用いて、機械を潤滑してください。
- ▶ 汚れたグリースは、軸受から完全に押し出してください。



CMS-I-00002270

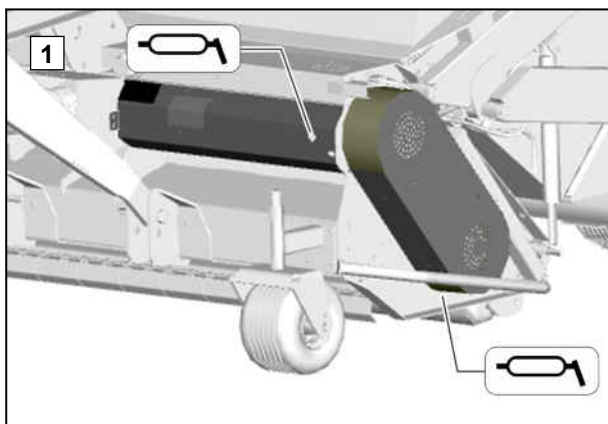
9.2.1 潤滑ポイント概要

CMS-T-00004798-B.1



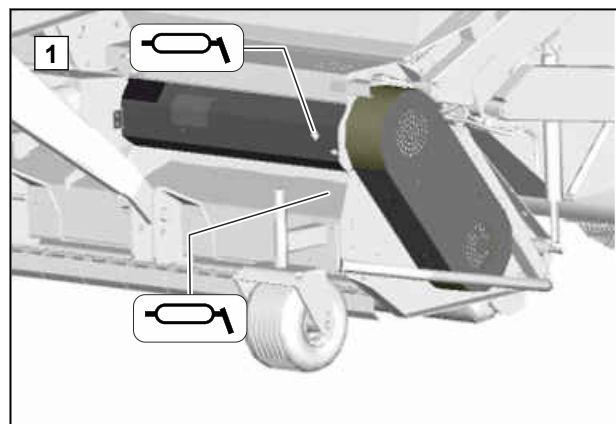
CMS-I-00003404

10 運転時間ごと / 毎日



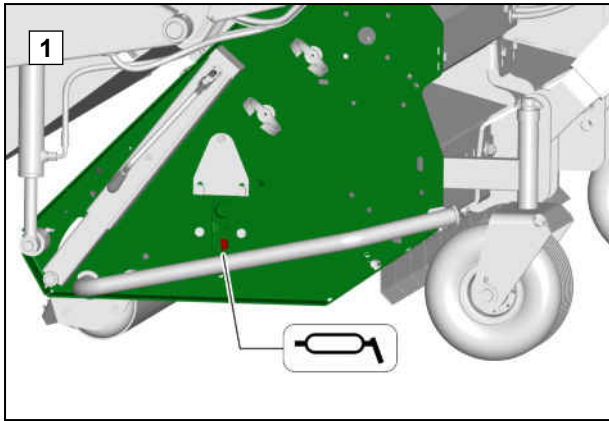
CMS-I-00003414

機械番号 GHS0003327 まで



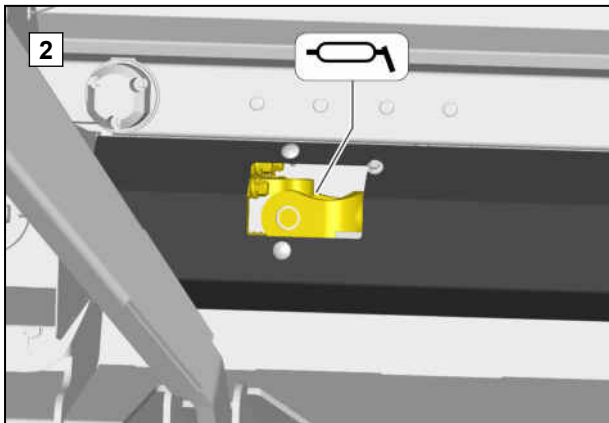
CMS-I-00006967

機械番号 GHS0003328 以降

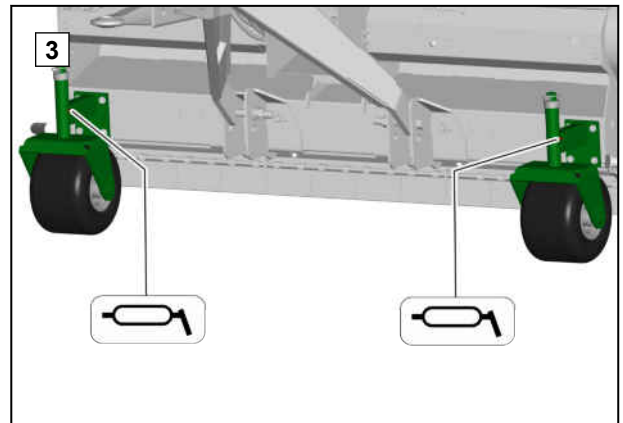


CMS-I-00003413

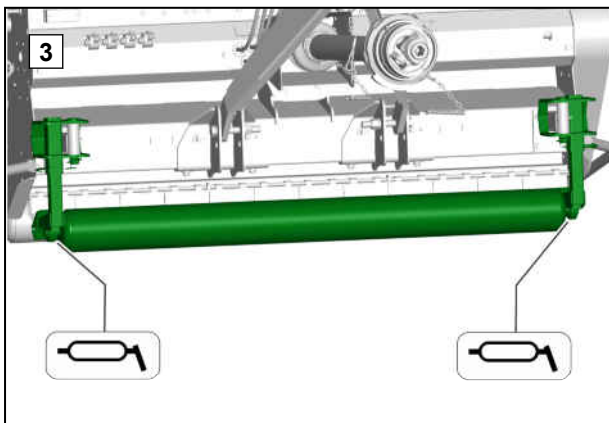
50 運転時間ごと / 毎週



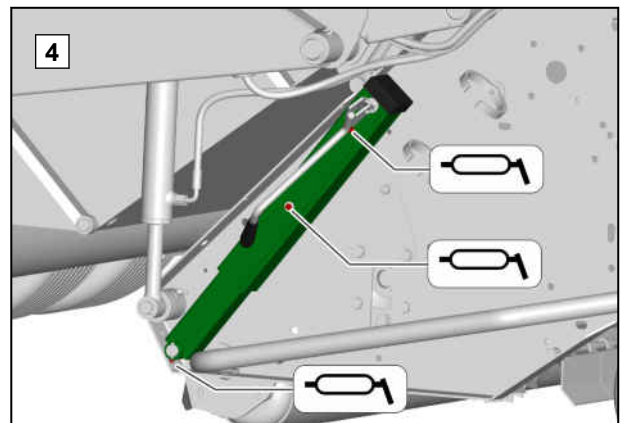
CMS-I-00003411



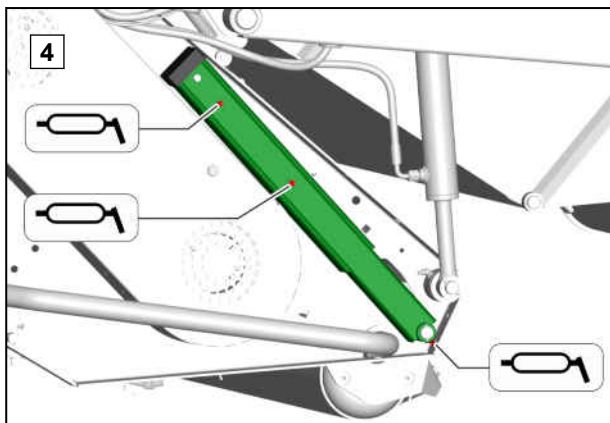
CMS-I-00003412



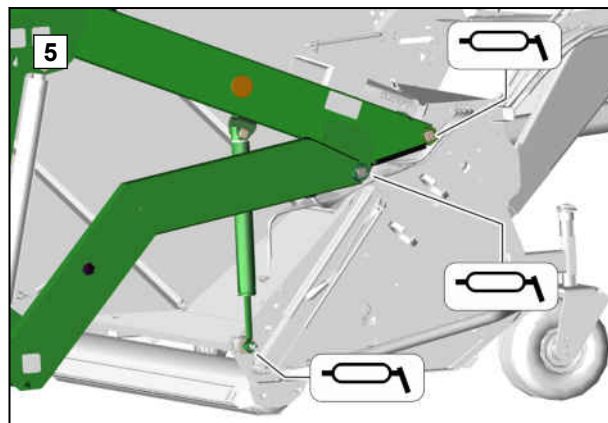
CMS-I-00003738



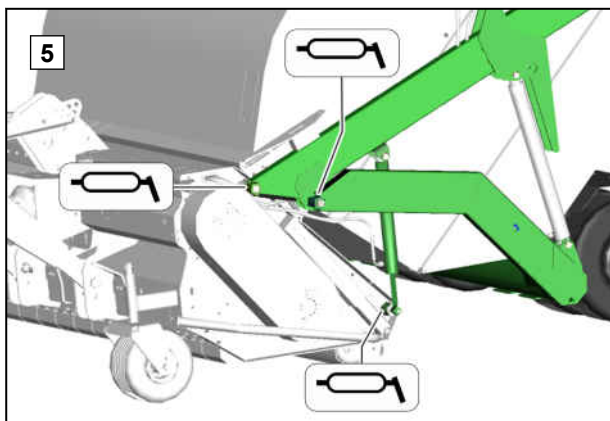
CMS-I-00003410



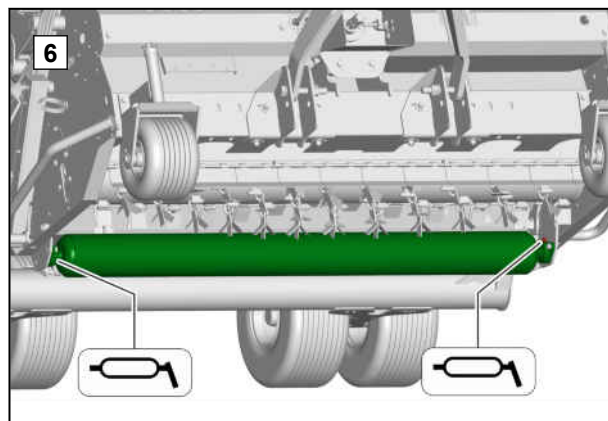
CMS-I-00003409



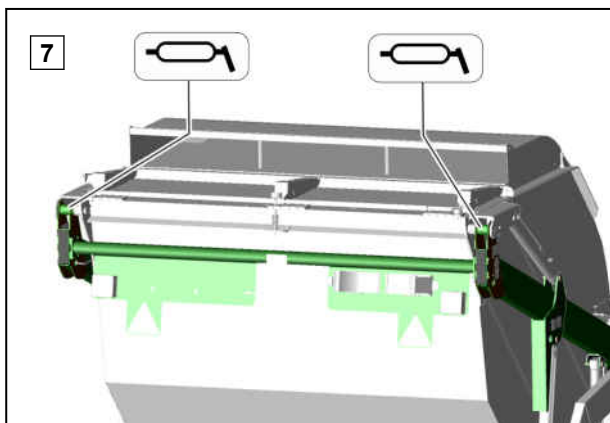
CMS-I-00003408



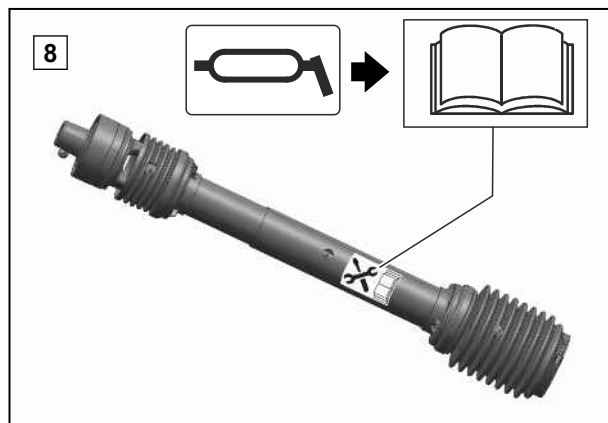
CMS-I-00003407



CMS-I-00003406



CMS-I-00003405



CMS-I-00004267

9.3 機械の清掃

CMS-T-00000593-F.1



重要

高圧ノズルの噴流により機械が破損する危険

- ▶ 高圧洗浄機または熱水式高圧洗浄機の噴流は、マークされたコンポーネントに決して向けないでください。
- ▶ 高圧洗浄機または熱水式高圧洗浄機の噴流は、絶対に電気部品や電子部品に向けないでください。
- ▶ 噴流を、決して潤滑ポイントやベアリング、銘板、警告マーク、接着フィルムに直接向けないでください。
- ▶ 高圧ノズルと機械の間隔は、必ず 30 cm 以上に保ってください。
- ▶ 水圧は 120 bar 以下に設定してください。



CMS-I-00002692

- ▶ 機械を高圧洗浄機または熱水式高圧洗浄機で清掃します。

機械輸送の準備をする

10

CMS-T-00013732-B.1

10.1 機械の積載

CMS-T-00001160-C.1

10.1.1 クレーンで機械を積載する

CMS-T-00004829-B.1

機械には、固定箇所が 4 つあります。



警告

不適切に取り付けたリフト固定具による事故の危険

マークされていない固定箇所に固定具を取り付けると、リフト時に機械が損傷したり、安全性が損なわれる恐れがあります。

- ▶ リフト固定具は、必ずマークされている固定位置に取り付けてください。



CMS-I-00003419

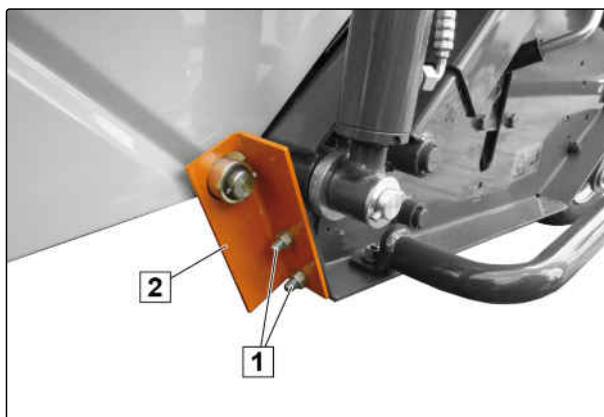
必要耐荷重	1,000 kg
-------	----------



必要条件

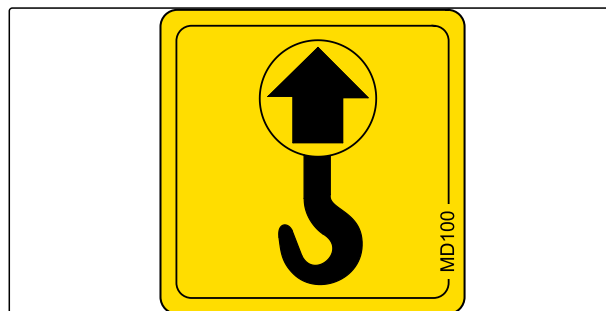
- ☑ 集草タンクは、完全に空になっています。
- ☑ 集草タンクは、完全に下がっています。

1. 走行安全用留め具 **2** を、左側と右側に配置します。
2. 左側と右側のねじ **1** を締めます。



CMS-I-00001032

3. 固定具は、マークが付いている位置にのみ取り付けてください。
4. クロスバーを使用して、固定具をクレーンに吊り下げます。
5. クレーンで機械を積載します。



CMS-I-000089

10.1.2 機械をラッシング

CMS-T-00005211-C.1

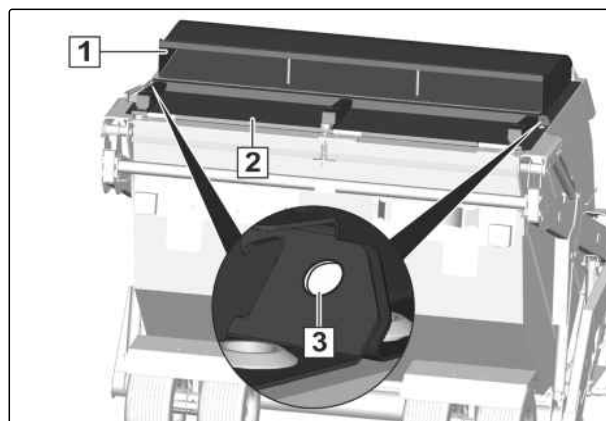
機械には、物を固定するためのラッシングポイントがあります。



CMS-I-00003740

1. 適切なねじまたは結束バンドを用いて、カバーフラップ **1** とハスプフラップ **2** を両側の穴 **3** で固定します。

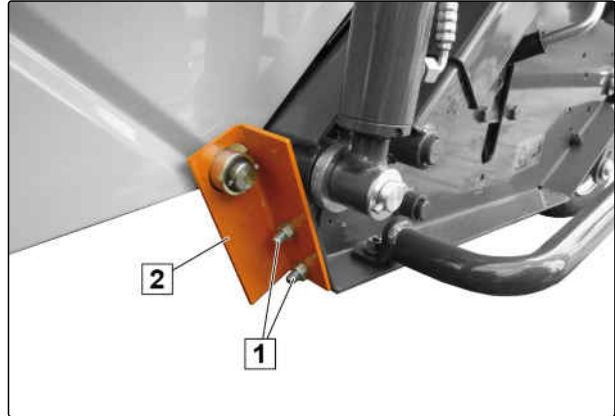
➡ これにより、輸送中にフラップが意図せず開くのを防ぎます。



CMS-I-00003741

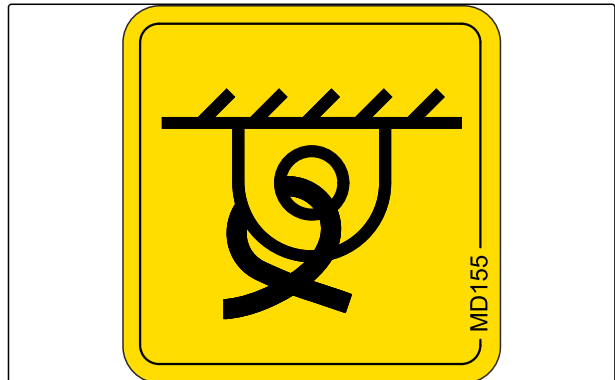
10 | 機械輸送の準備をする 機械の積載

2. 走行安全用留め具 **2** が、左側と右側に取り付けられているか点検します。
3. 走行安全用留め具が取り付けられていない場合：
走行安全用留め具 **2** を、左側と右側に配置します。
4. 左側と右側のねじ **1** を締めます。



CMS-I-00001032

5. ラッシングストラップは、マークが付いている位置にのみ取り付けてください。
6. 機械を運搬車両の上に、規則に従って固定します。



CMS-I-00000450

機械の廃棄

11

CMS-T-00010906-B.1

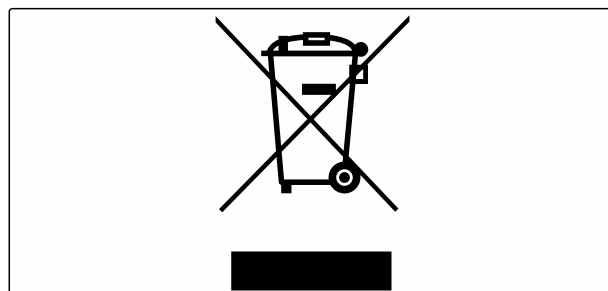


環境に関する注記

不適切な廃棄による環境破壊

- ▶ 地元当局の規定を遵守してください。
- ▶ 機械の廃棄マークに注意してください。
- ▶ 次の指示に従ってください。

1. このマークが付いたコンポーネントは、家庭ごみとして廃棄しないでください。



CMS-I-00007999

2. バッテリーは、販売店に引き渡します

または

バッテリーは、回収場所に持ち込みます。
3. リサイクル可能な材料は、リサイクルに出します。
4. 作業用資材は、有害廃棄物として取り扱います。



工場での作業

5. 冷媒は、廃棄します。

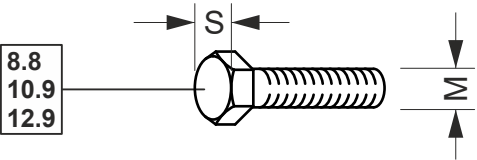
付録

12

CMS-T-00001155-B.1

12.1 ねじの締め付けトルク

CMS-T-00000373-E.1



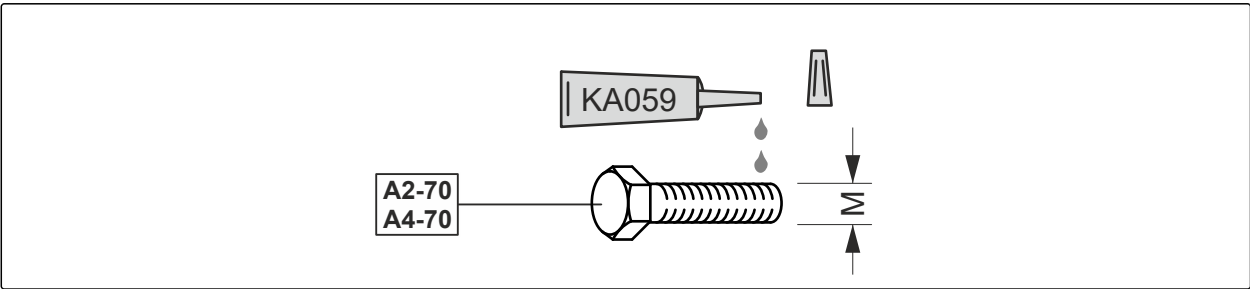
CMS-I-000260

 注記

他に指示がない場合、表に記載されたねじの締め付けモーメントが適用されます。

M	S	強度区分		
		8.8	10.9	12.9
M8	13 mm	25 Nm	35 Nm	41 Nm
M8x1		27 Nm	38 Nm	41 Nm
M10	16(17) mm	49 Nm	69 Nm	83 Nm
M10x1		52 Nm	73 Nm	88 Nm
M12	18(19) mm	86 Nm	120 Nm	145 Nm
M12x1.5		90 Nm	125 Nm	150 Nm
M14	22 mm	135 Nm	190 Nm	230 Nm
M 14x1.5		150 Nm	210 Nm	250 Nm
M16	24 mm	210 Nm	300 Nm	355 Nm
M16x1.5		225 Nm	315 Nm	380 Nm
M18	27 mm	290 Nm	405 Nm	485 Nm
M18x1.5		325 Nm	460 Nm	550 Nm
M20	30 mm	410 Nm	580 Nm	690 Nm
M20x1.5		460 Nm	640 Nm	770 Nm

M	S	強度区分		
		8.8	10.9	12.9
M22	32 mm	550 Nm	780 Nm	930 Nm
M22x1.5		610 Nm	860 Nm	1,050 Nm
M24	36 mm	710 Nm	1,000 Nm	1,200 Nm
M24x2		780 Nm	1,100 Nm	1,300 Nm
M27	41 mm	1,050 Nm	1,500 Nm	1,800 Nm
M27x2		1,150 Nm	1,600 Nm	1,950 Nm
M30	46 mm	1,450 Nm	2,000 Nm	2,400 Nm
M30x2		1,600 Nm	2,250 Nm	2,700 Nm



CMS-I-00000065

M	締め付けトルク	M	締め付けトルク
M4	2.4 Nm	M14	112 Nm
M5	4.9 Nm	M16	174 Nm
M6	8.4 Nm	M18	242 Nm
M8	20.4 Nm	M20	342 Nm
M10	40.7 Nm	M22	470 Nm
M12	70.5 Nm	M24	589 Nm

12.2 関連文書

CMS-T-00004832-A.1

- トラクターの取扱説明書
- プロペラシャフト取扱説明書
- 特別装備の取り付け説明書

索引

13

13.1 用語集

CMS-T-00001154-A.1

ス

スカリファイ（かき起こし）

スカリファイにより、芝生から茅や苔が除去されます。芝生がきれいになり、通気性が高まります。

ト

トラクター

本取扱説明書では、他の農作業用トラクターについても一貫してトラクターと呼びます。トラクターには、機械を取り付けるか、牽引します。

マ

マルチング

マルチングでは、植物を根元から切り取って、複数回切り刻んだ後、地面に戻します。その際、収集はしません。

作

作業物質

作業物質は運転準備を整えるために必要です。作業物質には、潤滑オイルや潤滑グリース、あるいは洗浄剤などの、洗剤や潤滑剤が含まれます。

機

機械

取り付けられた機械はトラクターの付属品です。しかし本取扱説明書においては、取り付けられた機械は一貫して機械と呼びます。

草

草刈り

草刈りとは、切断装置を用いて、草の葉を切り取ることです。その目的は、草の成長を制限することです。したがって、この作業は定期的に行う必要があります。

13.2 インデックス

ね		ト	
ねじの締め付けトルク	122	トラクター PTO の保護装置を点検する	50
う		トラクター	
ウィングブレード		必要なトラクター特性を計算	47
使用範囲	38	トラクター要件	
オ		エンジン出力	44
オプション装備	19	電気接続	44
フェンダー	38	油圧出力	44
フロントローラー	36	ド	
運転時間カウンタ	36	ドキュメント	34
下部牽引バー	36	フ	
通気フード	37	フロントバラスト	
電気油圧制御	37	計算	47
ス		ブ	
スカリファイブレード		ブレード	
使用範囲	39	ブレードとブレードホルダーを点検する	71
スカリファイ（かき起こし）		変更または交換する	76
ブレードを挿入または交換する	76	プ	
ブレード装備	75	プロペラシャフト	
フロントローラーを設定する	83	取り付け	54
狭スカリファイ	75	取り付ける	55
広スカリファイ	75	準備	54
スレッドパック		連結	66
説明	34	連結解除	102
タ		マ	
タイヤ		マルチング	
タイヤ空気圧	43	マルチングのための設定	86
タイヤ空気圧を点検する	71	マルチングを終了する	86
寸法	43	メ	
タイヤ負荷能力		メンテナンス	
計算	47	ギアボックスのオイルレベルを点検する	112
ツ		ドライブベルトを交換する	111
ツール	34	ドライブベルトを張り直す	111
テ		ドライブベルトを点検する	111
デジタル版の取扱説明書	4	油圧ホースラインの点検	111

リ		工	
リフレクター	35	工場での作業	3
上		後	
上部牽引バーを調整する		後輪軸荷重	
上部牽引バーの高さを調整する	52	計算	47
必要な牽引バーの高さを調べる	51		
下		技	
下部牽引バー		技術データ	
高さを調整する	53	タイヤ空気圧	43
		タイヤ寸法	43
		許容接続カテゴリー	44
		走行可能な斜面	45
		騒音発生データ	45
不		操	
不正使用に対する保護		操作エレメント	
取り外す	56	刈高さ設定用クランク	39
取り付け	108	電気油圧制御用の操作ボタン	40
		油圧バルブ	40
住		標	
住所		標準油圧系統で、機械を使用する	
技術編集部	4	スカリファイ（かき起こし）	94
		マルチング	94
保		機	
保護装置		機械の概要	18
デフレクターブラケット	20	機械の機能	19
ベルトドライブ保護カバー	21	機械の使用準備	
安全チェーン	20, 22	カバーフラップとハスプフラップの走行安	
牽引バー固定装置	19	全用留め具を取り外す	71
集草タンクの安全装置	21	機械の修理	
振り子フラップ	21	機械の潤滑	113
修		機械の準備	
修理作業	110	ブレードとブレードホルダーを点検する	71
		プロペラシャフトの取り付け	55
刈		機械の連結	56
刈高さを設定する	80	集草タンクの下降時間を設定する	69
		走行安全用留め具	46
前		道路走行用に機械を準備	90
前輪軸荷重			
計算	47		
安			
安全チェーン			
外す	103		
固定する	66		
説明	20, 22		

機械の詳細情報		照	
クラッチ滑り点検	32		
ローター状態点検	31	照明	
許容最高速度	32	ウインカー、ターンインジケータ	35
集草タンクの充填レベルインジケータ	30	テールライト	35
油圧バルブの機能	32	ブレーキライト	35
油圧ホースラインの割り当て	31		
機械の銘板と CE マーク	33	牽	
機械の輸送		牽引バーの銘板	34
クレーンで機械を積載する	118	硬	
走行安全用留め具	119		
機械の連結		硬い地面で収集するために、機械を設定する	88
プロペラシャフトの連結	66	積	
機械を下部牽引バーと連結する	65		
機械を上部牽引バーと連結する	64	積載重量	
照明の電圧供給を連結する	59	計算	50
電気油圧制御を連結する	61		
標準油圧系統の油圧ホースラインを連結する	57	総	
輪止めを取り外す	67		
輪止めを取り付ける	57	総重量	
機械を置く		計算	47
プロペラシャフトの連結解除	102	草	
機械と下部牽引バーを連結解除する	104		
機械と上部牽引バーを連結解除する	104	草刈ツール	
使用後に機械を置く	102	ツール数量	43
照明の電圧供給を連結解除する	105	草刈りブレード	
長期間停止する場合	109	使用範囲	38
電圧供給ケーブルを固定する	105	草刈りを開始する	
電気油圧制御を連結解除する	106	電気油圧制御で	96
冬季保管のために	109	標準油圧系統で	92
油圧ホースラインを固定する	106	草刈りを終了する	
油圧ホースラインを連結解除する	106	電気油圧制御で	98
輪止めを取り付ける	102	標準油圧系統で	93
機械		草刈機	
使用準備	50	刈高さ	43
修理	110	刈幅	43
		製	
油			
油圧系統		製品の説明	18
電気油圧制御	37	警	
清			
清掃		警告マーク	23
機械	117	機械の位置	23
		構成	24
		説明	25

負

負荷	
計算	47

走

走行安全用留め具を取り外す	46
---------------	----

連

連絡先	
技術編集部	4

道

道路走行用に機械を準備	90
-------------	----

集

集草タンクの下降時間	
工場設定	68
点検する	68
集草タンクをハイリフトで空にする	
電気油圧制御で	100
標準油圧系統で	95
集草タンクを空にする	
電気油圧制御で	99
標準油圧系統で	95

電

電気油圧制御で、機械を使用する	
スカリファイ（かき起こし）	99
マルチング	98
電気油圧制御	
リモコンを取り付ける	63
リモコンを連結する	63
リモコンを連結解除する	107
油圧ホースラインを連結する	61
油圧ホースラインを連結解除する	106

AMAZONE S.A. FORBACH

17, rue de la Verrerie
BP 90106
57602 Forbach Cedex
France

+33 (0)3 87 84 65 70
forbach@amazone.fr
www.amazone.fr